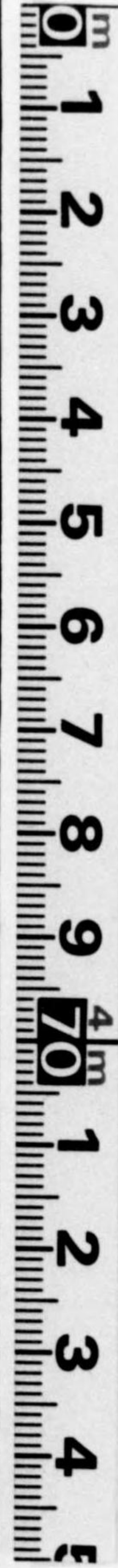


97-392



1200501340509



始



97  
392

昭和十七年

帝國學士院一覽

(昭和十七年四月調)

帝國學士院一覽

目次

發行所寄贈本



第十	恩賜賞ニ關スル決議	五
第九	帝國學士院學術研究獎勵金運用委員會規則	五
第八	紙投票用封筒及投票函ノ様式ニ關スル閣令	五
第七	貴族院帝國學士院會員議員ノ互選ニ用フル投票用	四
第六	貴族院帝國學士院會員互選規則	四
第五	帝國學士院學術研究獎勵金委任經理ニ關スル法律	四
第四	帝國學士院授賞規則	四
第三	帝國學士院長職務規程	三
第二	帝國學士院會則	三
第一	帝國學士院規定	三
第一	沿革略	一



第十一	寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議	六
第十二	條件附寄附金ニ關スル決議	六
第十三	藤田男爵獎學費給與ニ關スル決議	六
第十四	末松子爵夫人寄附羅馬法獎勵資金ノ使途ニ關スル決議	六
第十五	松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ニ關スル決議	六
第十六	大阪毎日新聞社々長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術獎勵資金ノ使途ニ關スル決議	六
第十七	小池厚之助寄附獎學資金ノ使途ニ關スル決議	六
第十八	メンデンホール寄附獎學資金ノ使途ニ關スル決議	六
第十九	學術研究費補助ニ關スル決議	六
第二十	高松宮へ推薦スヘキ有栖川宮記念學術獎勵資金受領候補者選定ニ關スル決議	七
第二十一	學術研究費補助推薦ニ關スル決議	七

第二十二	出版ニ關スル決議	七
第二十三	帝國學關院紀事及別冊ノ出版ニ關スル決議	七
第二十四	學術研究獎勵金	七
第二十五	出版物	九
第二十六	學術報告	九
第二十七	授賞事項及受賞者	一三
第二十八	補助研究事項	一三
第二十九	有栖川宮記念獎學資金受領候補者トシテ高松宮へ推薦ノ研究事項	一五
第三十	東照宮三百年祭記念會へ推薦ノ補助研究事項	一五
第三十一	末延財團へ推薦ノ補助研究事項	一五
第三十二	近藤記念海事財團へ推薦ノ補助研究事項	一五
第三十三	財團法人海防義會へ推薦ノ補助研究事項	一五
第三十四	藤田男爵獎學費受賞者	一六

第三十五	子爵夫人末松生子羅馬法獎學品受品者	一六
第三十六	事業	一六
第三十七	役員	一六
第三十八	會員	一八
第三十九	貴族院帝國學士院會員議員	一八
第四十	各部分科並ニ定員	一九
第四十一	委員及事業擔當會員、囑託員	一九
第四十二	事務職員	二〇
第四十三	帝國學士院前役員	二〇
第四十四	帝國學士院前會員及客員	二二
第四十五	元東京學士會院役員	二三
第四十六	元東京學士會院會員及客員	二三
第四十七	昭和十六年五月十三日第三十一回授賞式ニ於ケル 長岡院長ノ演說	三六

# 帝國學士院一覽

(昭和十七年四月調)

## 第一 沿革略



帝國學士院元東京學士會院ト稱ス其ノ起源沿革左ノ如シ  
 明治十一年(七八) ○十二月 文部卿西郷從道當時文部省履顧問タリ  
 シ米人マレー氏ノ建議ニ由リ學士會院ノ必要ヲ認メ乃チ東京學士  
 會院規則大意及選舉案ヲ西周、加藤弘之、神田孝平、津田真道、中村正直、  
 福澤諭吉、箕作秋坪ノ七名ニ諮詢シ其ノ協贊ヲ得テ之カ創設ヲ決定  
 ス

同十二年 ○一月 文部大輔田中不二麿(文部卿) 右西周以下ノ七名  
 ヲ東京學士會院ノ會員ニ選舉シ其ノ報帖ヲ交付シ文部省内修文館  
 ヲ假用シテ東京學士會院ヲ置ク ○四月 東京學士會院規則ヲ定ム  
 其ノ要項ハ教育ノ事ヲ討議シ學術技藝ヲ評論スルヲ目的トシ會員  
 ハ四十名ヲ限リ會院ニ於テ選舉シ文部卿ノ認可ヲ經ルノ制ナリ ○

五月 東京學士會院雜誌ヲ發行ス  
 明治十三年 ○九月 會院ヲ湯島昌平館ニ移ス  
 同 十四年 ○四月 會院ヲ修文館ニ移ス  
 同 十五年 ○一月 會院ヲ再ヒ昌平館ニ移ス○十二月 昌平館類  
 燒ニ罹リ本院會場器具及藏書百七十部ヲ燒失ス尋テ本院ヲ修文館  
 ニ假設ス  
 同 十七年 ○十月 會院ヲ東京教育博物館(上野)ニ移ス  
 同 十八年 ○二月 文部卿大木喬任東京學士會院組織大綱ヲ示ス  
 其ノ要旨ハ學藝ノ品位ヲ高クシ以テ教化ノ裨補ヲ圖ルニ在リ會員  
 ハ帝室ノ御選ニ係ル者十五名會員ノ推選ニ係ル者二十五名ヨリ成  
 ル○四月 更ニ右大綱ニ基キ新ニ會則ヲ定メ同年九月ヨリ實施ス  
 同 十九年 ○一月 會員ノ講演ヲ公開ス○十一月 會院ヲ東京教  
 育博物館構内新築館(上野)ニ移ス  
 同 二十三年 ○十月 勅令第二百六十四號東京學士會院規程發布

○十一月 會則ヲ定ム  
 同 二十五年 ○十二月 廣ク公衆ノ覽ニ供スルノ目的ヲ以テ會員  
 西周寄贈ノ先哲遺墨帖及群鳥蹟ヲ帝國博物館(後東京帝室博物館)ト  
 改稱ニ寄託ス  
 同 二十八年 ○三月 勅令第十七號東京學士會院規程補則發布  
 同 三十三年 ○五月 皇太子殿下御婚儀奉賀ノ爲賀表ヲ捧呈ス  
 同 三十四年 ○六月 定期刊行ノ東京學士會院雜誌ヲ廢シ同年七  
 月ヨリ東洋學藝社ト契約シ毎月講演ノ論說及記事等ハ同社ノ雜誌  
 ニ掲載スルコト、ス(後五年ニシテ之ヲ解ク)  
 同 三十九年 ○六月 勅令第四百四十九號帝國學士院規程發布○七  
 月 會則ヲ改正ス○役員ノ選舉ヲ行ヒ院長加藤弘之幹事重野安釋、  
 第一部々長穗積陳重、第二部々長男爵菊池大麓當選就任ス○和算史  
 調査ノ件ヲ議決シ同月ヨリ着手ス○十二月 會則ヲ改正ス○萬國  
 學士院聯合會ニ加入ス

明治四十年 ○四月 會員重野安釋同男爵菊池大麓奧國キエナニ於ケル第三回萬國學士院聯合會へ委員トシテ參列被仰付○七月 出版ニ關スル決議及學術研究費補助ニ關スル決議ヲ議定ス○十一月 會則ヲ追加ス○出版ニ關スル決議ヲ修正ス○十二月 帝國學士院紀事出版ニ關スル第二部決議ヲ議定ス

同 四十一年 ○六月 伊能忠敬測地事蹟ヲ調査スルコトヲ決議シ同年八月着手

同 四十二年 ○一月 燃黎室記述調査ノ件ヲ決議シ同月ヨリ着手ス○羅馬法ニ關スル書籍ノ翻譯出版ノ件ヲ決議ス○三月 前年着手シタル假名遣及假名字體沿革史料ノ出版成ル○四月 哲學字彙刊行ノ件ヲ議決ス○六月 會員中島力造本院代表者トシテライプチヒ大學創立五百年祝賀式ニ參列ノ件ヲ議決ス○役員ノ改選ヲ行ヒ院長菊池大麓幹事宮崎道三郎第一部々長穗積陳重第二部々長古市公威當選七月就任ス

同 四十三年 ○四月 會員櫻井錠二ヲ伊國ローマニ於ケル第四回萬國學士院聯合大會へ本院代表者トシテ參列ノ件ヲ議決ス○五月 會員三浦謹之助へ本院代表者トシテヘルリン大學創立百年祝賀式ニ參列ヲ委囑ス○七月 左ノ御沙汰書ヲ拜受ス

帝國學士院

其院ノ目的ヲ遂行スル爲メ普ク學術ノ研究ヲ獎勵スル旨趣ヲ以テ授賞ノ制ヲ定メントスルノ計畫有之候趣被聞食特ニ賞典資トシテ本年ヨリ十箇年間年々金貳千圓下賜候事

明治四十三年七月五日

宮 内 省

○十月 本院授賞規則ヲ定ム

同 四十四年 ○二月 恩賜賞ニ關スル決議ヲ議定ス(四月追加議決) ○三月 法律第三十八號帝國學士院學術獎勵金特別會計法發布○勅令第六十九號帝國學士院學術獎勵金特別會計規則發布○五月 恩賜賞々

牌及同賞記ニ菊花御紋章附着ノ儀ヲ允許セラルル○六月 會員大森房吉へ本院代表者トシテ獨逸ブレスラウ大學創立百年祝賀式ニ參列ヲ委囑ス○七月 初メテ授賞式ヲ行フ(受賞者等別項ニ記ス以下同シ)○十月 男爵三井八郎右衛門及男爵岩崎久彌寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(寄附金第一號第二號)○十一月 出版ニ關スル決議ヲ修正ス○寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議ヲ議定ス○十二月 紀事出版ニ關スル第二部決議ヲ廢シ更ニ紀事及別冊ノ出版ニ關スル決議ヲ議定ス

明治四十五年(二一九) ○五月 第二回授賞式舉行○寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議ヲ修正ス○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長菊池大麓幹事宮崎道三郎第一部々長穗積陳重第二部々長古市公威當選七月就任ス○十月 工學博士藥學博士高峰讓吉寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第三號)○十二月 男爵住友吉左衛門寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第四號)

大正二年 ○四月 會員坪井正五郎ヲ露國聖彼堡得ニ於ケル第五回萬國學士院聯合大會へ本院代表者トシテ參列ノ件ヲ議決ス○五月 本年度學術研究費補助ノ件ヲ議決ス(以下毎年ノ議決ヲ省略シ補助事項ハ別項ニ掲ク)○七月 第三回授賞式舉行○幹事宮崎道三郎辭任ニ付補缺選舉ヲ行ヒ櫻井錠二當選同月就任ス○十二月 男爵古河虎之助寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第五號)

同 三年 ○三月 萬國學士院聯合會評議員改選ニ付院長男爵菊池大麓第一部々長穗積陳重ヲ評議員ニ選定ス○七月 第四回授賞式舉行○十一月 著者名ノ書方ニ關スル件ヲ議決ス○十二月 勅令第二百五十八號ヲ以テ帝國學士院會員ハ勅任官ヲ以テ待遇セララルヘキ旨公布セララル

同 四年 ○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長菊池大麓幹事櫻井錠二第一部々長穗積陳重第二部々長古市公威當選七月就任ス○法律第十二號帝國學士院學術獎勵金特別會計法ヲ廢止シ學術研究獎勵ノ爲



ニ要スル金額ハ之ヲ院長ニ經理ヲ委任スルコトヲ得ヘキ旨公布  
(施行期大正五年四月一日) ○七月 第五回授賞式舉行 ○十月 男爵藤田平太郎寄附申出ニ係ル學術研究獎勵金並ニ羅馬法學書出版費受領ノ件ヲ議決ス(第六號) ○十一月 御即位奉賀ノ爲賀表ヲ捧呈ス ○院長菊池大麓本院會員總代幹事櫻井錠二御即位ノ大禮式ニ參列ス ○十二月 東照宮三百年祭記念會ヨリ學術研究資金補助ヲ要スヘキモノ、推薦方ノ依頼アリ之カ受諾ヲ議決ス(以下毎年推薦ノ事項ハ別項ニ議ル)  
 大正五年 ○四月 會則及授賞規則ヲ修正ス ○六月 三井合名會社社長男爵三井八郎右衛門寄附申出ノ出版費受領ノ件ヲ議決ス(第七號) ○山下龜三郎寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第八號) ○七月 第六回授賞式舉行 ○十月 立太子式奉賀ノ爲賀表ヲ捧呈ス  
 同 六年 ○二月 故桂公爵記念事業會總代男爵澁澤榮一寄附申出ノ桂學術獎勵基金受領ノ件ヲ議決ス(第十號) ○藤田男爵獎學費給與ニ關スル決議ヲ議定ス ○六月 「伊能忠敬」ノ編纂ヲ終ヘ出版ス ○七月

第七回授賞式舉行 ○十月 院長理學博士男爵菊池大麓薨去ニ因ル補缺選舉ヲ行ヒ法學博士男爵穗積陳重當選同月就任ス ○故菊池大麓ノ擔當セシ和算史ノ調査ヲ藤澤利喜太郎ヘ委囑スルコトヲ議決ス ○十一月 第一部々長穗積陳重院長ニ就任ニ因ル補缺選舉ヲ行ヒ井上哲次郎當選同月就任ス ○大正六年度羅馬法學獎學費(藤田男爵獎學費給與ノ件ヲ議決ス(以下毎年同事項省略ス))  
 同 七年 ○四月 子爵夫人末松生子寄附申出ノ羅馬法獎勵資金受領ノ件ヲ議決ス(第十號) ○ロンドンニ於ケル聯合諸國「サイエンティフィック・アカデミー」代表者會議ニ本院代表者トシテ會員櫻井錠二並ニ田中館愛橋參列ノ件ヲ議決ス ○五月 第八回授賞式舉行續イテ會員及受賞者一同ニ午餐下賜ノ御沙汰アリ爾來年々此ノ恩命ニ浴ス ○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長穗積陳重幹事櫻井錠二第一部々長井上哲次郎第二部々長古市公威當選七月就任ス ○七月 子爵夫人末松生子寄附羅馬法獎勵資金ノ使途ニ關スル決議ヲ議定ス ○十

月 大正七年度採鑛冶金學及關係學科獎學費(藤田男爵獎學費)給與ノ件ヲ議決ス○大正七年度子爵夫人末松生子羅馬法獎學品贈與ノ件ヲ議決ス(以上二項以下毎年ノ議決ヲ省略ス)○會則ヲ修正ス

大正八年 ○三月 寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議及學術研究費補助ニ關スル決議ヲ修正ス○五月 皇太子殿下御成年式奉賀ノ爲天皇陛下並ニ皇太子殿下ニ賀表ヲ捧呈ス○萬國學術研究會議第一回總會ニ本院代表者トシテ會員田中館愛橘參列ノ件ヲ議決ス○第九回授賞式舉行○六月 學術研究會議設立ニ關スル建議書ヲ內閣總理大臣並ニ文部大臣ニ提出ス○バリニ於ケル學士院聯合會ノ組織變更ニ關スル會議ニ本院代表者トシテ會員高楠順次郎並ニ小野塚喜平次參列ノ件ヲ議決ス  
同 九年 ○一月 次ノ御沙汰書ヲ拜受ス

帝國學士院

其院去ル明治四十三年授賞ノ制設定ニ際シ賞典資トシテ十

ケ年間年々金貳千圓下賜ノ處成績顯著ニ付大正九年度以降引續十ケ年間年々下賜候事

大正九年一月七日

宮 内 省

帝國學士院

其院學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜候事

大正九年一月七日

宮 内 省

○一月 組織變更後ノ第一回學士院聯合會々議ニ本院代表者トシテ會員服部宇之吉並ニ織田萬參列ノ件ヲ議定ス○二月 帝室制度ノ歴史的研究ヲ本院ノ事業トシテ遂行スル件ヲ議決シ會員岡野敬次郎(主任)三上參次、美濃部達吉ヲ擔當委員ニ選定シ後更ニ服部宇之吉ヲ追加選定ス○五月 第十回授賞式舉行○八月 曩ニ建議セル學術研究會議設立ノ件ハ政府ノ容ルル所トナリ勅令第二百九十七

號ヲ以テ同會議ノ官制公布セララル○十一月 帝室制度ノ歴史的研究事業ヲ開始シ第一回協議會ヲ開ク○十二月 學術研究會議第一回總會ヲ文部省内ニ招集シ會長副會長ノ選舉ヲ行ヒ會長ニ古市公威、副會長ニ櫻井錠二當選ス仍テ院長穂積陳重ハ會長古市公威ニ對シ學術研究會議ニ關スル事務ノ引繼ヲ了ス

大正十年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル

○第二回學士院聯合會々議へ本院代表者トシテ會員岡松參太郎並ニ三上參次參列ノ件ヲ議決ス○五月 第十一回授賞式舉行○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長穂積陳重、幹事櫻井錠二、第一部々長井上哲次郎、第二部々長藤澤利喜太郎當選七月就任ス○九月 皇太子殿下海外ヨリ御歸還奉賀ノ爲賀表ヲ捧呈ス○十月 三井家總代男爵三井八郎右衛門及三菱合資會社社長男爵岩崎小彌太寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第一號及第二號)

同 十一年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル

○第三回學士院聯合會々議へ本院代表者トシテ會員井上哲次郎並ニ美濃部達吉參列ノ件ヲ議決ス○二月 白耳義學士院創立百五十年祝賀式へ本院代表者トシテ會員井上哲次郎、中村精男、平山信並ニ美濃部達吉參列ノ件ヲ議決ス○三月 我邦ト歐洲諸國トノ交通史料交換方ヲ學士院聯合會へ提出スヘキコトヲ議決ス○白耳義學士院創立百五十年式ニ贈呈スヘキ祝賀文ヲ議決ス○四月 松方公爵米壽祝賀會發起人總代法學博士男爵阪谷芳郎並ニ平山成信寄附申出ノ松方公爵米壽祝賀記念獎學資金受領ノ件ヲ議決ス(第十號)○松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ノ使途ニ關スル決議條項ヲ議決ス○五月 第十二回授賞式舉行○七月 財團法人原田積善會理事原田二郎寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第十號)○十月 男爵住友吉左衛門寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第十四號)○十一月 來朝中ノ獨逸理學者アインシュタイン博士歡迎會ヲ植物園ニ於テ舉行シ歡迎ノ辭ヲ呈ス○十二月 第四回學士院聯合會々

議並ニ第五回萬國史學會々議へ本院代表者トシテ會員上田萬年並ニ立作太郎參列ノ件ヲ議決ス

大正十二年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル

○高峯保全株式會社取締役鹽原又策寄附申出ノ學術研究ノ賞又ハ資ノ基金(第十號)及三共株式會社取締役鹽原又策寄附申出ノ上記資金補充金受領ノ件ヲ議決ス(第十號) ○二月 我邦ト歐洲諸國トノ交通史料調査事業ヲ開始ス ○男爵古河虎之助寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第五號) ○三月 寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ニ關スル決議及學術研究費補助ニ關スル決議ヲ修正ス ○四月 會員細川潤次郎九十歲祝賀會ヲ催シ「十洲細川先生九十初度ヲ賀スルノ序及肖像額面ヲ贈呈ス ○松方公爵米壽祝賀會發起人總代平山成信寄附申出ノ松方公爵米壽祝賀記念獎學資金利子ニ加フヘキ獎學金受領ノ件ヲ議決ス(第十二號) ○山下龜三郎寄附申出ノ國際關係ノ學事費受領ノ件ヲ議決ス(第九號) ○五

月 第十三回授賞式舉行 ○松方公爵米壽祝賀會殘務整理委員男爵

阪谷芳郎寄附申出ノ同祝賀記念獎學資金受領ノ件ヲ議決ス(第十二號)

○九月 大震火災ノ爲本院會議室ノ一部ヲ日本赤十字社福島支

部救護班ニ提供シ尙罹災者收容ニ充ツ ○十一月 大阪毎日新聞社

社長本山彦一寄附申出ノ東宮御成婚記念學術研究獎勵金受領ノ件

ヲ議決ス(第十號) ○十二月 寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議ヲ修正

ス ○大阪毎日新聞社々長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術研究獎

勵資金ノ使途ニ關スル條項ヲ議決ス ○第五回學士院聯合會々議へ

本院代表者トシテ會員松本亦太郎並ニ織田萬參列ノ件ヲ議決ス

同 十三年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル

○第五回學士院聯合會々議本院代表者織田萬ノ後任トシテ在白大

使安達峰一郎ニ參列委囑ノ件ヲ議決ス ○一月 東宮殿下御慶事奉

祝ノ爲賀表ヲ捧呈ス ○五月 第十四回授賞式舉行 ○六月 役員ノ

改選ヲ行ヒ院長穗積陳重幹事櫻井錠二第一部々長井上哲次郎第二

部々長佐藤三吉當選七月就任ス○十二月 米國人メンデンホール  
寄附申出ノ學術獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第十號)

大正十四年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル

○第六回學士院聯合會々議へ本院代表者トシテ會員福田德三並ニ  
織田萬參列ノ件及在白大使安達峰一郎ニ參列委囑ノ件ヲ議決ス○  
會員推選ニ關スル臨時手續ノ件ヲ議決ス○歐文紀事出版ノ新計畫  
ニ關スル件ヲ議決ス○五月 各部ニ分科設置並ニ其ノ定員ノ件ヲ  
議決ス○會員推選ニ關スル臨時手續法改正ノ件ヲ議決ス○小池厚  
之助寄附申出ノ學術獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第十號)○勅令第二百號  
帝國學士院規程改正ノ件公布○會則ヲ改正ス○第十五回授賞式舉  
行○勅令第二百三十三號貴族院帝國學士院會員議員互選規則公布  
○七月 紀事及別冊出版ニ關スル決議ヲ修正ス○八月 閣令第五  
號ヲ以テ貴族院帝國學士員會員議員ノ互選投票用紙投票用封筒及  
投票函ノ様式ニ關スル件公布○勅令第二百七十三號帝國學士院規

程改正ノ件公布○九月 露國學士院創立二百年記念式へ本院代表  
者トシテ會員福田德三派遣ノ件及祝文贈呈ノ件ヲ議決ス○小池厚  
之助寄附學術獎勵金ノ使途ニ關スル條項ヲ議決ス○貴族院帝國學  
士院會員議員ノ第一回互選ヲ行ヒ第一部會員井上哲次郎、小野塚喜  
平次、第二部會員藤澤利喜太郎、田中館愛橋ノ四名當選、十月十日各右  
議員ニ勅任セララル○十月 極東熱帶醫學會第六回總會海外參列者  
歡迎ノ爲午餐會ヲ開ク○院長穂積陳重辭任ニ付キ同會員多年在職  
中ノ功勞ニ對シ感謝狀ヲ贈呈スヘキコトヲ議決ス○十一月 院長  
辭任ニ因ル補缺選舉ヲ行ヒ會員岡野敬次郎當選同月就任ス○十二  
月 第七回學士院聯合會々議へ本院代表者トシテ會員瀧精一派遣  
ノ件ヲ議決ス○學術研究費補助ニ關スル決議松方公爵米壽祝賀記  
念、獎學資金ニ關スル決議及大阪毎日新聞社々長本山彦一寄附東宮  
御成婚記念學術獎勵資金ノ使途ニ關スル決議ヲ修正ス○サー・チャ  
ーレス・エリオットヲ客員ニ推舉ス

大正十五年(二九)  
昭和元年(二六)

○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル  
○第七回學士院聯合會々議へ本院代表者トシテ會員在白安達峰一  
郎ヲ參列セシムヘキ件ヲ更ニ議決ス○二月 院長岡野敬次郎薨去  
ニ付キ補缺選舉ヲ行ヒ會員幹事櫻井錠二當選シ同月就任ス○岡野  
節寄附申出ノ學術獎勵金及追加寄附金受領ノ件ヲ議決ス(第十號)○三  
月 幹事ノ補缺選舉ヲ行ヒ姉崎正治當選同月就任ス○來朝中ノ佛  
國醫學士院幹事シヤルル・アシヤル博士並ニソルボヌ大學教授フ  
シエ博士歡迎ノ爲晚餐會ヲ開ク○四月 小池厚之助追加寄附申出  
ノ學術獎勵金受領ノ件ヲ議決ス○五月 第十六回授賞式舉行○九  
月 新築會館落成シ之ニ移轉ス○十月 高松宮ヨリ有栖川宮記念  
獎學資金受領候補者選定方ノ御依頼アリ之カ受諾ヲ議決ス○小津  
清左衛門寄附申出ノ學術獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第二號)○十一月  
第三回汎太平洋學術會議海外參會者歡迎ノ爲午餐會ヲ開キ一同新  
會館ヲ參觀ス○第一部々長井上哲次郎會員ヲ辭任ス○十二月 第

一部々長ノ補缺選舉ヲ行ヒ會員富井政章當選同月就任ス○第八回  
學士院聯合會々議へ本院代表者トシテ會員土方寧派遣ノ件及在白  
會員安達峰一郎參列ノ件ヲ議決ス○貴族院帝國學士院會員議員ノ  
補闕選舉ヲ行ヒ會員上田萬年當選同月二十一日同議員ニ勅任セラ  
ル

昭和二年 ○二月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル

○三月 ルヴン大學創立五百年記念式へ本院代表者トシテ會員土  
方寧參列ノ件及祝文贈呈ノ件ヲ議決ス○ロード・リスター誕生百年  
祭ニ祝電ヲ送ルヘキコトヲ議決ス○五月 第十七回授賞式舉行○  
學術研究會議ニ事務所ヲ貸與ス○六月 有栖川宮記念獎學資金受  
領候補者推薦ノ件ヲ議決ス(以下毎年ノ同事項ハ省之)○第十回萬國動物學會ニ本  
院代表者トシテ五島清太郎ニ出席ヲ委囑ス○役員ノ改選ヲ行ヒ院  
長櫻井錠二幹事姉崎正治第一部々長富井政章第二部々長佐藤三吉  
當選七月就任ス○勅令第百八十二號ヲ以テ規程中改正ノ件公布○

學術研究費補助ニ關スル決議ヲ修正ス○八月 西川虎吉ニ本院代表者トシテマルスラン・ベルトロー百年祭ニ參列及祝文贈呈方ヲ委囑ス○十月 中澤つる寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第廿一號)○十二月 有栖川宮記念獎學資金受領候補者推薦ノ件ヲ議決ス(以下毎年ノ同事項ハ省之)○第九回學士院聯合會々議ニ本院代表者トシテ會員安達峰一郎及吉田靜致參列ノ件ヲ議決ス

昭和三年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○學術研究獎勵金運用委員會設置ノ件及同委員會規則ヲ議定ス○四月 第十八回授賞式舉行○五月 コレデ・ド・フランス教授シルバ・ン・レビヲ客員ニ推薦ス○七月 古籙篇刊行會理事長子爵渡邊千冬寄附申出ノ學術獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第廿二號)○十一月 御即位ノ大禮奉賀ノ爲賀表ヲ捧呈ス○院長櫻井錠二會員總代幹事姉崎正治御即位ノ大禮式ニ參列ス○十二月 獨逸物理學者ゾンマーフェルト博士歡迎ノ爲晚餐會ヲ開ク

同 四年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○第十回學士院聯合會々議ニ本院代表者トシテ會員安達峰一郎及山田三良參列ノ件ヲ議決ス○二月 ニューヨーク市學士院創立二十五年祝賀式ニ祝電贈呈ノ件ヲ議決ス○四月 エデンバラ大學總長サー・アルフレッド・イウイングヲ客員ニ推舉ス○第十九回授賞式舉行○五月 元古籙篇刊行會理事服部宇之吉寄附申出ノ學術獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第廿三號)○六月 來朝中ノ米國カーネギー・インストチユウシヨン世界磁力觀測隊指揮者オウルト以下六名ノ學者歡迎ノ爲晚餐會ヲ催ス○十二月 本院創立五十年ニ相當スル趣 被聞食會員ニ御陪食仰付ラル

同 五年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○第十一回學士院聯合會々議ニ本院代表者トシテ會員桑木嚴翼參列ノ件ヲ議決シ後會員立作太郎ニモ參列ヲ委囑ス(當時在巴里)○四月 メンデンホール寄附獎學金ノ使途ニ關スル條項ヲ議決ス○五月

來朝中ノ佛國醫學士院會員ジョルジデユマ博士歡迎ノ爲晚餐會ヲ催ス○第二十回授賞式舉行○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長櫻井錠二幹事姉崎正治第一部々長富井政章第二部々長佐藤三吉當選七月就任ス○藤田男爵獎學費給與ニ關スル決議ヲ修正ス○八月 一般會計中帝國學士院費支出委任トナリ同時ニ院長ニ經理委任ノ學術研究獎勵金ノ出納事務移管トナル○十月 院長職務規程ヲ改正ス○十二月 左ノ御沙汰書ヲ拜受ス

帝國學士院

其院賞典ノ資トシテ尙本年以降引續キ十ヶ年間年々金貳千圓下賜候事

昭和五年十二月六日

宮 内 省

昭和六年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル  
○第十二回學士院聯合會々議ニ本院代表者トシテ會員安達峰一郎

ヲ出席セシムヘキコトヲ議定シ後(二)更ニ會員松波仁一郎ヲ代表者トシテ派遣スヘキコトヲ議定ス○三菱合資會社ヨリ從來ニ引續キ學術研究獎勵金壹萬圓寄附ノ申出アリ之ヲ受領スヘキコトヲ議定ス(第一號)○二月 三井合名會社々長男爵三井八郎右衛門ヨリ從來ニ引續キ學術研究獎勵金壹萬圓寄附ノ申出アリ之ヲ受領スヘキコトヲ議定ス(第二號)○會員和田英松ヲ帝室制度ノ歴史的研究擔當委員ニ選定ス○四月 マックスソエル誕生百年祭アラデー電磁氣發見百年記念祝賀會及ブリテイシユアソシエーション百年記念會ニ本院代表者トシテ會員長岡半太郎ヲ參列セシムヘキコトヲ議定ス○五月 勅令第八十四號ヲ以テ帝國學士院規程(第十條)改正ノ件公布セララル○第二十一回授賞式ヲ舉行ス○六月 ウィン大學名譽教授ウィン學士院會員ハンスモリシヲ客員ニ推舉ス○三井信託株式會社取締役社長米山梅吉ヨリ寄附申出ノ學術研究及發表助成資金受領ノ件ヲ議決ス(第廿三號)○七月 男爵住友吉左衛門ヨリ從來ニ引續キ學術研究



獎勵金壹萬圓寄附ノ申出アリ之ヲ受領スヘキコトヲ議定ス○十一月  
 佛國法律學者カビタン教授歡迎午餐會ヲ催ス○十二月 第十  
 三回學士院聯合會々議並ニアムステルダム大學創立三百年記念祭  
 ニ會員新村出ヲ代表者トシテ參列セシムヘキコトヲ議定シ後會員  
 織田萬ニモ參列ヲ乞フヘキコトヲ議定ス

昭和七年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○三月 鈴木三郎助ヨリ學術研究獎勵金トシテ有價證券額面金參  
 拾萬圓寄附ノ申出アリ之ヲ受領スヘキコトヲ議定ス(第廿四號)○四月  
 アムステルダム大學ニ贈呈スヘキ祝文ヲ議決ス○五月 第二十二  
 回授賞式舉行○九月 貴族院帝國學士院會員議員ノ選舉ヲ行ヒ第  
 一部會員三上參次、小野塚喜平次、第二部會員田中館愛橘、藤澤利喜太  
 郎當選十月十日同議員ニ勅任セララル○十一月 露國北氷洋學術探  
 險隊長シユミット博士以下一行ノ主ナル學者數名及駐日ソヴィエト大  
 使等ヲ例會晚餐會ニ招待ス○十二月 和算史調査事業ハ一先ッ終

結ス

同 八年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○三月 東京帝國大學助教宇野圓空ニ本院代表ヲ委囑シ第十四  
 回學士院聯合會々議ニ參列セシムヘキコトヲ議決ス○五月 第二  
 十三回授賞式舉行○六月 伯爵鹿島晃久後見人侯爵筑波藤麿ヨリ  
 學術研究獎勵金拾萬圓寄附ノ申出アリ之ヲ受領スヘキコトヲ議定  
(第廿五號)○役員ノ改選ヲ行ヒ院長櫻井錠二、幹事姊崎正治、第一部々長  
 富井政章、第二部々長佐藤三吉當選七月就任ス○十一月 佛國上院  
 議員元文部大臣アンドレ・オノラ博士、巴里大學教授ド・ラ・モランデ  
 ール博士招待晚餐會ヲ催ス

同 九年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○會員立作太郎及安達峰一郎ヲ代表者トシテ第十五回學士院聯合  
 會々議ヘ參列セシムヘキコトヲ議決ス○二月 貴族院帝國學士院  
 會員議員ノ補闕選舉ヲ行ヒ長岡半太郎當選同月十九日勅任セララル

○五月 第二十四回授賞式舉行○七月 末延財團へ推薦スヘキ學術研究費補助事項ヲ議決ス○十二月 會員姊崎正治ヲ第十六回學士院聯合會々議へ代表者トシテ參列セシムヘキコトヲ議決ス

昭和十年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○五月 第二十五回授賞式舉行○幹事姊崎正治辭任ニ因ル補缺選舉ヲ行ヒ加藤正治當選同月就任ス○ウイクトル・ユイゴ一五十年祭ニ本院代表者トシテ會員姊崎正治ヲ參列セシムヘキコトヲ議決ス

○十月 第一部々長富井政章薨去ニ因ル補缺選舉ヲ行ヒ小野塚喜平次當選同月就任ス

同 十一年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○會員立作太郎ヲ第十七回學士院聯合會々議へ本院代表者トシテ參列セシムヘキコトヲ議決ス○日伊交換教授ニ關聯シローマ學士院へメッセージ贈呈ノ件ヲ議決ス○服部玄三寄附申出ノ學術研究及其ノ發表助成資金ヲ受領スヘキコトヲ議決ス○二月 ハーヴァド

大學創立三百年祭ニ會員姊崎正治ヲ又ウトレヒト大學創立三百年祭ニ會員立作太郎ヲ本院代表者トシテ參列セシムヘキコト及祝文贈呈ノ件ヲ議決ス○日伊交換教授トシテ來朝ノローマ學士院會員セヴェリ教授歡迎晚餐會ヲ催ス○四月 オスロ一ニ於テ開催ノ國際數學會議ニ本院代表者トシテ會員藤原松三郎ニ參列ヲ委囑スヘキコトヲ議決ス○六月 第二十六回授賞式舉行○皆既日食觀測ノ爲來朝中ノトリニテ大學客員アストン博士歡迎晚餐會ヲ催ス○役員ノ改選ヲ行ヒ院長ニ櫻井錠二、幹事ニ加藤正治、第一部々長ニ小野塚喜平次、第二部々長ニ佐藤三吉當選七月就任ス○十月 ブラジル學士院長ヨリノメッセージヲ同院會員ルシヤノ・ジャック・デ・モラエス齋セルニ由リ櫻井院長ヨリ之ニ答禮ス○十二月 日伊交換教授トシテ來朝ノ伊國王立學士院會員トウッチ博士歡迎晚餐會ヲ催ス

同 十二年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル

○會員桑木嚴翼ヲ第十八回學士院聯合會々議へ本院代表者トシテ

參列セシムヘキコトヲ議決ス○二月 近藤記念海事財團へ推薦ス  
 ヘキ學術研究費補助事項ヲ議決ス○三月 ゲッチンゲン大學創立二  
 百年記念祭ニ會員桑木嚴翼ヲ代表者トシテ參列セシメ併セテ祝文  
 ヲ贈呈スヘキコトヲ議決ス○五月 來朝中ノコーペンハーゲン大  
 學教授ポリア博士ニ歡迎ノ辭ヲ贈呈スヘキコトヲ議決ス○會員三  
 宅秀ニ賀烟波三宅先生九十初度之序ヲ贈呈スヘキコトヲ議決ス○  
 第二十七回授賞式舉行○十月 日獨交換教授トシテ來朝ノシユブ  
 ランガー博士歡迎晩餐會ヲ催ス○十二月 日伊交換教授トシテ渡  
 伊スヘキ石本巳四雄ニ託シ伊國王立學士院ヘメッセージヲ贈呈ス○  
 會員織田萬ヲ第十九回學士院聯合會々議へ本院代表者トシテ派遣  
 スヘキコトヲ議決ス

昭和十三年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○二月 帝國學七院史資料ヲ調査蒐集スヘキコトヲ議決ス○三月  
 會員三宅秀ニ賀烟波三宅先生九十初度之序ヲ贈呈ス○五月 第二

十八回授賞式舉行○十一月 會員姊崎正治ヲ第二十回學士院聯合  
 會々議へ本院代表者トシテ派遣スヘキコトヲ議決ス○十二月 日  
 獨交換教授トシテ來朝ノミュンヘン大學教授ケルロイテル博士歡  
 迎晩餐會ヲ催ス○北畠親房及其ノ子孫ノ事蹟調査ハ一先ツ打切ト  
 ス

同 十四年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○學術研究費補助ニ關スル決議ヲ修正ス○三月 院長ノ補缺選舉  
 ヲ行ヒ長岡半太郎當選シ同月就任ス○五月 田中耕太郎ニ託シ日  
 伯文化協會及日亞文化協會ヘメッセージヲ贈呈ス○日伊交換教授ト  
 シテ來朝ノ伊國王立學士院副院長ローマ大學教授カロール・フォルミッ  
 キ博士同學士院長ノメッセージヲ齎ラシ駐日伊國大使ト共ニ來訪ア  
 リシニヨリ長岡院長ヨリ答辭ヲ贈呈ス○第二十九回授賞式舉行○  
 六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長ニ長岡半太郎幹事ニ加藤正治第一部  
 々長ニ小野塚喜平次第二部々長ニ佐藤三吉當選七月就任ス○七月

貴族院帝國學士院會員議員ノ補闕選舉ヲ行ヒ會員姉崎正治當選同月二十二日同議員ニ勅任セラル

○九月 貴族院帝國學士院會員議員ノ選舉ヲ行ヒ第一部會員小野塚喜平次、姉崎正治、第二部會員田中館愛橘、長岡半太郎當選十月十日同議員ニ勅任セラル ○十一月 第二部々長佐藤三吉辭任ス

昭和十五年 ○一月 左ノ御沙汰書ヲ拜ス

帝國學士院

其院賞典ノ資トシテ尙本年以降引續キ十ケ年間年々金貳千圓下賜候事

昭和十五年一月十六日 宮 内 省

○學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○第二部々長補缺選舉ヲ行ヒ田中館愛橘當選シ同月就任ス ○四月 伯國文學院前院長クラウディオ・デ・ゾウザ博士客年本院ヨリ田中耕太郎ニ託シ贈呈セルメッセージニ對スル答禮トシテ同院ヨリノメッセー

ジヲ齎シ來訪アリシニヨリ長岡院長ヨリ答禮ス ○五月 第三十回授賞式舉行 ○八月 東亞諸民族調査ヲ開始ス ○十二月 日本科學史ノ編纂出版及宸翰英華ノ編纂出版ヲ紀元二千六百年奉祝會ヨリ本院事業トシテ委囑サル  
同 十六年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル  
○五月 第三十一回授賞式舉行 ○七月 邦文紀事編纂ノタメ出版委員會ヲ開催ス

第二 帝國學士院規程

勅令第四百四十九號(明治三十九年六月十二日) (大正十四年五月改正) (昭和二年六月改正) (昭和十二年十二月改正)

帝國學士院規程

第一條 帝國學士院ハ文部大臣ノ管理ニ屬シ學術ノ發達ヲ圖リ教化ヲ裨補スルヲ以テ目的トス

第二條 帝國學士院會員ハ帝國學士院ニ於テ碩學中ヨリ推選シ勅旨ヲ以テ之ヲ命ス

第三條 外國人ニシテ帝國ニ於ケル學術ノ發達ニ關シ特別ノ功勞アル者ハ帝國學士院ニ於テ之ヲ客員ト爲スコトヲ得

第四條 帝國學士院ハ左ノ二部ニ分チ會員ハ各專攻ノ學科ニ依リテ之ニ分屬ス

第一部 文學及社會的諸學科

第二部 理學及其ノ應用諸學科

第五條 帝國學士院會員ノ定員ハ百人トス

第六條 帝國學士院ハ會議ヲ開キ學術及教化ニ關スル事項ヲ審議ス  
一會議ハ總會及部會トス

第七條 帝國學士院會員ハ專攻ノ學科ニ付論文ヲ提出シ又ハ報告ヲ爲スモノトス

第八條 帝國學士院ハ學術ニ關スル論文、考案、資料等ヲ募集スルコト

ヲ得

第九條 帝國學士院ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ外國ニ於ケル學術上ノ團體ト共同シテ研究ヲ爲シ又ハ其ノ會員トナルコトヲ得

第十條 文部大臣ハ學術及教化ニ關スル事項ニ付帝國學士院ニ諮詢スルコトヲ得

第十一條 帝國學士院ハ少クトモ毎年一回院務ニ關スル報告書ヲ文部大臣ニ提出スヘシ

第十二條 帝國學士院ニ院長一人、幹事一人及部長二人ヲ置ク

院長及幹事ハ總會ニ於テ部長ハ部會ニ於テ會員中ヨリ之ヲ互選ス  
院長幹事及部長ノ任期ハ三年トス

第十三條 院長ハ院務ヲ總理シ總會ニ於テ其ノ議長ト爲ル  
院長事故アルトキハ幹事其ノ職務ヲ代理シ院長及幹事共ニ事故アルトキハ院長ノ指名シタル會員其ノ職務ヲ代理ス

幹事ハ院長ノ指揮ヲ承ケ院務ヲ掌理ス

- 部長ハ院長ノ指揮ヲ承ケ部務ヲ掌理シ部會ニ於テ其ノ議長ト爲ル
- 第十四條 院長幹事及部長ニハ手當ヲ支給スルコトヲ得
- 第十五條 滿六十歳以上ノ會員ニハ特ニ年金ヲ給スルコトヲ得
- 第十六條 帝國學士院ニ主事ヲ置ク文部大臣ノ奏請ニ依リ文部部内ノ高等官中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス
- 主事ハ院長幹事及部長ノ指揮ヲ受ケ庶務ヲ整理ス
- 第十六條ノ二 帝國學士院ニ書記專任三人ヲ置ク判任トス
- 書記ハ上司ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ従事ス
- 第十七條 學術上ノ調査ノ爲會員中ニ於テ擔當者ヲ定メタルトキハ手當ヲ支給スルコトヲ得
- 第十八條 帝國學士院ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ會則ヲ定ムルコトヲ得

附 則

第十九條 東京學士會院規程及東京學士會院規程補則ハ之ヲ廢ス

- 第二十條 本令施行ノ際東京學士會院會員及客員タル者ハ本令ノ規定ニ依リ帝國學士院會員及客員タル者トス
- 第二十一條 東京學士會院規程第五條ニ依リテ年金ヲ受クル者ハ本令施行ノ後仍同額ノ年金ヲ受ク
- 第二十二條 本令ノ規定ニ依リ帝國學士院長ノ就任スルニ至ル迄ハ元東京學士會院會長ニ於テ幹事及部長ノ就任スルニ至ル迄ハ元東京學士會院幹事ニ於テ其ノ職務ヲ行フヘシ

(參照)

勅令第二百六十四號 (明治二十三年十月二十五日官報)

東京學士會院規程

- 第一條 東京學士會院ハ學藝ノ品位ヲ高クシ以テ教化ノ裨補ヲ謀ランカ爲ニ設クル所ニシテ文部大臣ノ管轄ニ屬ス
- 第二條 東京學士會院ハ著徳碩學ノ中ヨリ選出セラレタル會員ヲ以テ組織ス其ノ選出ノ方法及人員左ノ如シ
  - 一 帝室ノ特選ニ依ル會員十五名
  - 一 會員ノ推選ニ依ル會員二十五名
 會員ノ推選ニ依ルモノハ文部大臣ノ認可ヲ經ルヲ要ス  
會員ハ終身トス
- 第三條 東京學士會院會員ハ各自專攻ノ學科ニ就キ論說ヲ述ヘ又學藝及教化ニ關スル事項ニ就キ報告スルモノトス
- 第四條 東京學士會院ハ學藝及教化ニ關スル事項ニ就キ文部大臣ヨリ諮問アルトキハ審議復申スルモノトス又會員各自意見アルトキハ會院ニ於テ審議シ文部大臣ニ開陳スルコトヲ得

- 第五條 東京學士會院會員滿六十歲以上ノ者十名以内ヲ限リ特ニ各年金三百圓賜フコトアルヘシ
- 第六條 東京學士會院ニ會長一人幹事二人ヲ置ク  
會長幹事ハ會員ノ互選ヲ以テ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム其任期ハ各一年トス但再選セラルコトヲ得
- 第七條 會長ハ文部大臣ノ監督ヲ受ケ院務ヲ統理シ議事アルトキハ議長ノ任ニ當ルモノトス會長事故アルトキハ幹事ノ内一人ヲ指定シテ其任務ヲ代理セシム  
幹事ハ會長ヲ補佐シテ院務ヲ掌理ス
- 第八條 削除(二十六年勅令第五十九號ヲ以テ削除)
- 第九條 東京學士會院ニ書記二人ヲ置キ文部屬ヲ以テ之ニ兼補ス書記ハ會長幹事ニ屬シテ庶務ニ從事ス
- 第十條 東京學士會院ハ文部大臣ノ許可ヲ得テ會則ヲ設クルコトヲ得

勅令第十七號 (明治二十八年三月八日官報)

東京學士會院規程補則

外國ノ著徳碩學ニシテ特ニ帝國ニ對シ功勞アル者ハ會員ノ推選ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ客員トナスコトヲ得

勅令第二百號 (大正十四年五月二十一日官報)

(參照)

明治三十九年六月十三日勅令第四百四十九號帝國學士院規程抄錄

第五條 帝國學士院會員ノ定員ハ六十人トス

勅令第二百七十三號 (大正十四年九月二日官報)

(參照)

明治三十九年六月十三日勅令第四百四十九號帝國學士院規程抄錄

第十三條 第二項

院長事故アルトキハ幹事其ノ職務ヲ代理ス

勅令第八十二號 (昭和二年六月十六日官報)

(參照)

明治三十九年六月十三日勅令第四百四十九號帝國學士院規程抄錄

第十二條 第一項及第二項

帝國學士院ニ院長一人、幹事一人及部長二人ヲ置ク

院長及幹事ハ總會ニ於テ、部長ハ都會ニ於テ會員中ヨリ之ヲ互選シ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

勅令第八十四號 (昭和六年五月十一日官報)

(參照)

明治三十九年六月十三日勅令第四百四十九號帝國學士院規程抄錄

第十六條 帝國學士院ニ書記四人ヲ置キ文部省所屬ノ判任官ヲ以テ之ニ充ツ  
書記ハ院長幹事及部長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス書記ニハ手當ヲ給スルコトヲ得

勅令第七百四十三號 (昭和十二年十二月廿七日官報)

帝國學士院規程中左ノ修改正ス

第十六條ノ二 第一項中「書記專任二人」ヲ「書記專任三人」ニ改ム

### 第三 帝國學士院會則

同 十 四 年 五 月 三 日 修 正 議 決	同 大 正 七 年 三 月 三 日 修 正 議 決	同 同 大 正 四 年 十 月 三 日 修 正 議 決	同 同 大 正 十 年 十 月 三 日 修 正 議 決	同 同 大 正 十 年 十 月 三 日 修 正 議 決	同 同 大 正 十 年 十 月 三 日 修 正 議 決	同 同 大 正 十 年 十 月 三 日 修 正 議 決	同 同 大 正 十 年 十 月 三 日 修 正 議 決	同 同 大 正 十 年 十 月 三 日 修 正 議 決	同 同 大 正 十 年 十 月 三 日 修 正 議 決
同 月 廿 九 日	同 月 廿 九 日	同 月 廿 九 日	同 月 廿 九 日	同 月 廿 九 日	同 月 廿 九 日	同 月 廿 九 日	同 月 廿 九 日	同 月 廿 九 日	同 月 廿 九 日
同 文 部 大 臣 認 可	同 文 部 大 臣 認 可	同 文 部 大 臣 認 可	同 文 部 大 臣 認 可	同 文 部 大 臣 認 可	同 文 部 大 臣 認 可	同 文 部 大 臣 認 可	同 文 部 大 臣 認 可	同 文 部 大 臣 認 可	同 文 部 大 臣 認 可

第一條 帝國學士院會員ノ定員ハ各部五十人トス

各部ニ分科ヲ設クルコトヲ得

分科ノ種類及其ノ定員ハ各部ニ於テ之ヲ定メ總會ノ承認ヲ經ヘシ

第二條 會員ヲ推選セントスルトキハ當該部會ニ於テ投票ヲ以テ先

ツ候補者ヲ豫選シ其ノ最多數ヲ得タル者三人ヲ以テ候補者トス

候補者ニ缺員ヲ生シタル場合ニ於テハ補缺豫選ヲ行フ

候補者ニ付キ當該部會ニ於テ決選投票ヲ行ヒ外國ニ在リテ投票ヲ

爲サル者ヲ除キタル部會員三分ノ二以上ノ多數ヲ得タル者ヲ當

選者トシテ總會ノ認可ヲ經テ之ヲ會員ニ推選ス

前項ノ多數ヲ得タル者ナキトキハ更ニ決選投票ヲ行ヒ尙ホ當選者

ヲ得ルコト能ハサル場合ニ於テハ候補者ノ改選ヲ行フ

第三條 候補者ノ豫選及會員ノ推選ハ少クトモ三週間以前院長ヨリ

之ヲ會員ニ通知ス

第四條 客員ヲ推舉セントスル者ハ當該部會員五人以上ノ賛成ヲ得

テ部會ニ發議スルコトヲ得

客員ノ選定ニ關シテハ第二條第三項及第三條ノ規定ヲ準用ス

第五條 院長幹事及部長ノ選舉ハ最多數ノ投票ヲ得タル者ヲ以テ當

選者トス

院長幹事及部長ハ六月ニ之ヲ選舉シ七月ニ至リ就任ス但シ六月ニ

選舉ヲ行フコト能ハサルトキハ遞次之ヲ繰延フルコトヲ得此場合

ニ於テハ後任者ノ就任スルニ至ル迄仍前任者ニ於テ其ノ職務ヲ取



扱フ後任者ノ任期ハ其ノ就任ノ時期ニ拘ラス七月ヨリ之ヲ起算ス  
第六條 投票ハ總テ無記名トス  
病氣其ノ他ノ事故ニ依リ出席スルコト能ハサル者ハ封書ヲ以テ投票スルコトヲ得

第七條 第二條第一項及第五條第一項ノ場合ニ於テ投票同數ナルトキハ年長者ヲ以テ當選者トス

第八條 總會ハ院長部會ハ部長之ヲ招集ス

通常總會ハ毎月一回之ヲ開ク但シ八九兩月ハ開會セス  
院長ノ見込ニ依リ又ハ會員五人以上ノ請求アルトキハ臨時總會ヲ開クコトヲ得

第九條 總會及部會ハ在東京會員ノ三分之一以上ニ相當スル出席員アルニアラサレハ議決ヲ爲スコトヲ得ス

議決ハ出席員ノ過半數ニ依ル

第十條 總會及部會ノ議長ハ議決ノ數ニ加ハラス但シ可否同數ナル

トキハ議長之ヲ決ス

第十一條 帝國學士院規程第七條ノ論文ノ提出及報告ハ總會又ハ部會ニ於テ之ヲ爲スヘシ

帝國學士院會員ニ非サル者ノ論文又ハ報告ハ會員之ヲ紹介シテ總會又ハ部會ニ提出スルコトヲ得

論文及報告ハ之ヲ印刷シテ學者學會學校等ニ配付スルコトアルヘシ

論文及報告ノ會議ハ傍聽ヲ許スコトアルヘシ

第十二條 總會又ハ部會ノ議決ニ依リ講演ヲ公開スルコトアルヘシ

第十三條 部ハ總會ノ認可ヲ經テ部則ヲ定ムルコトヲ得

第十四條 部會ノ開會及議決ハ部長ヨリ之ヲ院長ニ報告スヘシ

第十五條 院長ハ毎年一回總會ニ於テ前一年間ノ院務ノ要項ヲ會員ニ報告スヘシ  
部長ハ毎年一回前一年間ノ部務ノ要項ヲ院長ニ報告スヘシ

第十六條 部長事故アルトキハ會員ノ一人ニ其ノ職務ヲ委託スルコトヲ得

附 則

第十七條 各部ニ於ケル會員ノ數四十五人ニ充ツルマテハ第二條及第三條ノ規定ニ依ラス總會ニ於テ會員ニ推選スヘキ者ヲ選定ス

(附)會則第九條第一項ニ關スル決議 (大正元年十月十二日總會議決)

帝國學士院會則第九條第一項ハ總會又ハ部會ヲ開キ諸般ノ報告ヲ受ケ及學術上ノ論文ノ提出アルヲ妨ケス

會則第十一條第二項ニ關スル決議 (大正五年三月十二日總會議決)

會則第十一條第二項ノ場合ニ於テハ本人ヲシテ論文又ハ報告ノ説明ヲ爲サシムルコトヲ得

(參照)

東京學士會院會則 (明治二十三年十一月九日議決同月二十六日文部大臣認可)

第一條 會長幹事ノ選舉並ニ會員ノ推選ハ在京會員ノ投票ヲ以テス但缺席者モ之ヲ加ヘルモノトス

第二條 會長幹事ハ毎年十二月ニ於テ改選シ翌年一月ヨリ就職スルモノトス

第三條 會長幹事ハ發案討論ヲ爲スコト總テ會員ニ同シ

會長幹事議長ノ任ニ當ルトキハ可否ノ數ニ加ハラス但可否同數ノ場合ニ於テハ議長之ヲ決ス

第四條 會長幹事ノ選舉並ニ會員ノ推選ハ在京會員ノ投票ヲ以テス但缺席者モ之ヲ加ヘルモノトス

第五條 會員ノ推選ハ先ツ在京會員ニテ投票シ其ノ投票數多數ノ三名ヲ取ツテ再ヒ投票シ最多數ヲ得タル者

一人ヲ以テ當選者ト定ム但最多數ト雖投票數五點以下ナルトキハ之ヲ棄却シ更ニ改選ヲ爲ス

第六條 會員中右三名共ニ不適任ト認ムルカ若クハ其ノ學力人物等ヲ聞知セサルトキハ投票ヲ辭スル事ヲ得

第七條 投票ヲ辭シタル會員ノ數在京會員ノ三分ノ一以上ニ登ルトキハ選舉ヲ行ハス更ニ改選ヲ爲ス

第八條 當選者會員タルコトヲ辭スル者アルトキハ更ニ改選ヲ爲ス

第九條 議事ノ可否ヲ決スルハ多數ニ依ル但在京會員二分ノ一以上出席セサルトキハ可否ヲ決セズ

第十條 會日ニハ講義ヲ開キ公衆ノ參聽ヲ許スコトアルヘシ

第十一條 毎年一月ノ會日ニ於テ前會長前年ノ院務ノ要項ヲ報告ス

第十二條 會員ノ座順變換ハ年二期(一月、七月)トシ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但新任者ハ該一期間末座トス

第十三條 通常毎月(八、九兩月ヲ除ク)第二日曜日ヲ以テ會日ト定ム但事宜ニヨリ會日ヲ變更シ或ハ臨時

會ヲ開クコトアルヘシ

第十四條 演述ノ筆記並ニ院務ノ要項等ハ時々之ヲ刊行シテ會員ニ頒チ併セテ世ニ公ニス

第四 帝國學士院長職務規程

第一條 院長ハ會員若クハ職員ニ年金若クハ手當給與ヲ必要ナリト認メタルトキハ其ノ旨文部大臣ニ具申スヘシ

- 第二條 院長ハ書記ノ進退ニ關シ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得
- 第三條 院長ハ文部大臣ノ許可ヲ經テ囑託員ヲ置クコトヲ得
- 第四條 左記事項ハ院長之ヲ專行スヘシ但シ第二號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ
- 第一 會員及職員ノ内國各地出張ニ關スルコト
- 第二 囑託員ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト
- 第三 俸給月額八拾五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト
- 第四 經費中ノ目ヲ流用スルコト
- 第五 前各號ノ外輕易ナル事項
- 第五條 前條ニ掲ケタル事項ノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

### 第五 帝國學士院授賞規則

明治四十三年十月十二日議決  
 同大正五年三月十二日修訂  
 同大正四年十一月十二日修訂  
 同昭和二年六月十二日修訂  
 同昭和二年七月九日修訂  
 同昭和二年七月九日修訂

- 第一條 帝國學士院ハ學術ノ研究ヲ獎勵スル爲本則ノ定ムル所ニ依リ賞ヲ授ク
- 第二條 賞ハ特定ノ論文著書其ノ他特種ノ研究ニシテ其ノ成績卓絶ナルモノニ對シテ之ヲ授ク
- 第三條 賞ハ賞牌又ハ賞金トス但シ賞牌及賞金ハ併セテ之ヲ授クルコトヲ得
- 賞牌ノ制式ハ別ニ之ヲ定ム
- 第四條 賞ハ帝國學士院會員ニ非サル者ニ之ヲ授ク
- 第五條 賞ヲ授クルハ推薦又ハ募集ニ依ル
- 第六條 帝國學士院會員授賞ノ推薦ヲ爲サムトスルトキハ毎年十月其ノ所屬ノ部會ニ其ノ提議ヲ爲スヘシ但シ十月部會ヲ開カサルトキハ遞次繰延フルコトヲ得
- 前項ノ提議ニハ當該部會員三人以上ノ賛成アルコトヲ要ス
- 第七條 部會ニ於テ論文等ヲ審査ニ付スヘキモノト議決シタルトキ

ハ審査委員ヲ定ムヘシ  
部會ニ於テ必要ト認ムルトキハ他ノ部ニ屬スル會員ニ審査委員ヲ  
囑託スルコトヲ得

第八條 審査委員ノ議決ハ多數決ニ依ル但シ審査委員ハ部會ニ於テ  
各其ノ意見ヲ述フルコトヲ妨ケス

第九條 審査委員ハ書面ヲ以テ審査ノ經過及結果ヲ部會ニ報告スヘ  
シ

第十條 部會ニ於ケル擬賞ノ議決ニハ投票總數三分ノ二以上ノ賛成  
アルコトヲ要ス

第十一條 前條ノ規定ニ依リ擬賞ノ議決アリタルトキハ部長ハ審査  
報告書其ノ他擬賞ニ關スル一切ノ事項ヲ總會ニ提出シ其ノ議決ヲ  
經ヘシ

第十二條 擬賞ノ議決ヲ爲スニハ部長又ハ院長ニ於テ少クトモ三週  
間以前會議ノ目的ヲ會員ニ通知スヘシ

第十三條 擬賞ノ議決ニ付テハ投票ハ總テ無記名トス  
病氣其ノ他ノ事故ニ因リ出席スルコト能ハサル者ハ封書ヲ以テ投  
票スルコトヲ得

第十四條 論文ヲ募集スル場合ニ於テハ其ノ都度部會ニ於テ募集ニ  
關スル事項ヲ定メ總會ノ議決ヲ經ヘシ

總會ノ議決アリタルトキハ帝國學士院募集ノ條件ヲ公示ス  
第十五條 論文ノ募集了リタルトキハ部會ニ於テ審査委員ヲ定ムヘ  
シ

第十六條 第七條第二項及第八條乃至第十三條ノ規定ハ論文募集ノ  
場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 賞ヲ受ケタル者ハ受賞ノ目的タル論文又ハ著書ニ其ノ旨  
ヲ表示スルコトヲ得

第十八條 賞ヲ授クヘキ者授賞推薦ノ提議アリタル後又ハ論文ノ募  
集ニ應シタル後死亡シタル場合ニ於テハ帝國學士院ハ授賞ノ旨ヲ

公示シ且其ノ者ニ授クヘキ賞ノ處分ヲ定ム

## 第六 帝國學士院學術研究獎勵金委任經理ニ

### 關スル法律 (大正四年五月法律十三號)

帝國學士院ニ於テ學術研究獎勵ノ爲ニ要スル金額ハ之ヲ帝國學士院長ニ交付シ經理ヲ委任スルコトヲ得委任經理ニ係ル會計ノ検査ハ會計検査院法第十六條ノ規定ニ依ル

附 則

本法ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
帝國學士院學術獎勵金特別會計法ニ依リ帝國學士院長ニ經理ヲ委任セラレタル金額ノ支出殘額ハ本法ニ依リ經理ヲ委任セラレタルモノト看做ス

## 第七 貴族院帝國學士院會員議員互選規則

條令第二百三十三號 (大正十四年六月十九日官報)

### 貴族院帝國學士院會員議員互選規則

第一條 貴族院令第五條ノ二ノ規定ニ依ル選舉ハ帝國學士院規程ニ定メタル各部ニ於テ各二人ヲ互選スルモノトス

第二條 貴族院令第五條ノ二ノ規定ニ依ル互選資格ヲ有スル者ハ選舉ノ期日ノ三十日前ヨリ其ノ日迄引續キ帝國學士院會員タル者タルヘシ

第三條 選舉ニ關スル事項ハ內閣總理大臣之ヲ管理ス

第四條 選舉ハ九月二十日東京ニ於テ之ヲ行フ

第五條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

第六條 帝國學士院長ハ選舉管理者ト爲リ選舉ニ關スル事務ヲ擔任ス

第七條 帝國學士院長ハ選舉會場及投票ノ時間ヲ定メ選舉ノ期日ヲ

リ少クトモ二十日前ニ官報ヲ以テ之ヲ公示シ且各互選人ニ其ノ通知書ヲ發スヘシ

第八條 互選人ハ選舉會場ニ於テ選舉管理者ノ交付シタル投票用紙ニ其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數以下ノ被選舉人ノ氏名ヲ自ラ記載シテ投函スヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

第九條 互選人東京府ノ外ニ居住スルニ因リ又ハ公務若クハ疾病傷痍ニ因リ選舉ノ當日選舉會場ニ到ルコト能ハサルトキハ郵便ニ依リ投票ヲ爲スコトヲ得

第十條 前條ノ規定ニ依リ投票ヲ爲サムトスル者ハ選舉ノ期日ヨリ少クトモ十日前ニ選舉管理者ニ理由ヲ具ヘテ其ノ旨ノ届出ヲ爲スヘシ但シ正當ノ理由ニ因リ當該期間内ニ届出ヲ爲スコトヲ得サル場合ニ於テハ選舉ノ期日ノ前日迄ニ届出ヲ爲スコトヲ得前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ選舉管理者ハ直ニ投票用紙及投票用

封筒ヲ當該互選人ニ送付スヘシ

第十一條 前條ノ規定ニ依ル送付ヲ受ケタル互選人ハ投票用紙ニ其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數以下ノ被選舉人ノ氏名ヲ自ラ記載シ之ヲ投票用封筒ニ入レ封緘シ更ニ之ヲ他ノ封筒ニ入レ封緘シ其ノ表面ニ署名捺印シ且投票在中ノ旨ヲ明記シ投票ノ時間ノ終了スル時迄ニ到達スル様書留郵便ヲ以テ選舉管理者ニ之ヲ送付スヘシ

投票用紙及投票用封筒ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

第十二條 選舉管理者ハ前三條ノ規定ニ依ル郵便投票ヲ受領シタルトキハ選舉會場ニ於テ投票ノ時間内ニ互選人ノ面前ニ於テ外部ノ封筒ヲ開披シテ投票用封筒ヲ投函スヘシ

第十三條 天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ帝國學士院長ハ選舉ノ期日、選舉會場及投票ノ時間ヲ定メ選舉ノ期日ヨリ少クトモ二十日前ニ官報ヲ以テ之ヲ告示シ且各互選人ニ其ノ通知書ヲ發シ

更ニ投票ヲ行ハシムヘシ

第十四條 投票終ルノ後選舉管理者ハ互選人ノ面前ニ於テ投票ヲ點檢スヘシ此ノ場合ニ於テ投票用封筒ニ入レタル投票アルトキハ其ノ封筒ヲ開披シタル上總テノ投票ヲ混同シタル後點檢スヘシ

第十五條 投票ノ拒否及效力ハ選舉管理者之ヲ決定ス

第十六條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
- 二 互選人ニ非サル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 三 一投票中其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ超過スル被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 四 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ官位、職業、身分住居又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニアラス
- 五 被選舉人ノ氏名ヲ自書セサルモノ
- 六 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ

七 貴族院帝國學士院會員議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタル

モノ

前項第七號ノ規程ハ第二十四條又ハ第二十五條ノ規定ニ依ル選舉ノ場合ニ限リ之ヲ適用ス

第一號、第二號、第六號又ハ第七號ニ該當スル投票ハ連記投票ノ場合ニ於テハ其ノ該當ノ部分ノミヲ無効トス

第十七條 有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス但シ其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ以テ總被選舉人ノ得票總數ヲ除シテ得タル數ノ四分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス  
當選人ヲ定ムルニ當リ得票數同シキトキハ年齡多キ者ヲ取り年齡モ亦同シキトキハ選舉會場ニ於テ選舉管理者互選人ノ面前ニテ抽籤シテ之ヲ定ム

第十八條 第十四條ノ規定ニ依ル點檢ノ結果ハ其ノ場ニ於テ之ヲ告知スヘシ當選人其ノ場ニ在ラサルトキハ尙直ニ當選ノ旨ヲ本人ニ

告知スヘシ

第十九條 貴族院令第九條ノ規定ニ依ル選舉ニ關ル爭訟ノ結果更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選人ヲ定メ得ル場合ニ於テハ選舉管理者之ヲ定ムヘシ

當選人當選ヲ辭シタルトキ、死亡者ナルトキ又ハ其ノ他ノ理由ニ因リ當選人闕クルニ至リタルトキハ、選舉管理者ハ直ニ第十七條第一項但書ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者ノ中ニ就キ當選人ヲ定ムヘシ

第二項ノ場合ニ於テ選舉管理者ハ直ニ當選人ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ

第二十條 當選人當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヤヲ選舉管理者ニ届出ツヘシ

當選人當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ前項ノ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第二十一條 當選人當選ヲ承諾シタルトキハ帝國學士院長ハ當選人ノ氏名ヲ内閣總理大臣ニ報告スヘシ

第二十二條 選舉管理者ハ選舉錄ヲ作り選舉ニ關スル顛末ヲ記載シ署名シ且其ノ寫ヲ内閣總理大臣ニ送付スヘシ

當選人議員ニ勅任セラレタルトキハ内閣總理大臣ハ選舉錄ノ寫ヲ貴族院議長ニ送付スヘシ

第二十三條 投票ハ有效無效ヲ區別シ郵便投票ニ用ヒタル封筒選舉錄其ノ他ノ關係書類ト共ニ議員ノ任期間帝國學士院ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第二十四條 當選人ナキトキ若クハ當選人其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキ又ハ當選人ナキニ至リ若クハ當選人其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルニ至リタル場合ニ於テ第十九條ノ規定ニ依リ當選人ヲ定ムルコトヲ得サルトキハ帝國學士院長ハ選舉ノ期日、選舉會場及投票ノ時間ヲ定メ選舉ノ期日ヨリ少クトモ二



十日前ニ官報ヲ以テ之ヲ告示シ且各互選人ニ其ノ通知書ヲ發シ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ

第二十五條 議員ニ闕員ヲ生シタルトキハ貴族院議長ヨリ其ノ旨ヲ上奏シ勅旨ヲ以テ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命シ及其ノ期日ヲ指定スヘシ

第二十六條 前二條ノ選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第二十七條 補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第二十八條 貴族院令第九條ノ規定ニ依リ貴族院ニ出訴スルノ期限ハ議院開會ノ後十日以内トス但シ開院中議員ニ勅任セラレタル場合ニ於テハ其ノ後十日以内ヲ以テ出訴期限トス

前項ノ期限ニ滿タスシテ議院閉會セラレ出訴スルコト能ハサルトキハ尙次ノ會期ノ開會後十日以内ニ出訴スルコトヲ得

附 則

本令ハ貴族院令第五條ノ二ノ規定ノ施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參 照)

明治二十二年二月十日 布條令第十一號貴族院令抄錄

第五條ノ二 滿三十歲以上ノ男子ニシテ帝國學士院會員タル者ノ中ヨリ四人ヲ互選シ其ノ選ニ當リ勅任セラレタル者ハ其ノ會員タルノ間七箇年ノ任期ヲ以テ議員タルヘシ其ノ選舉ニ關スル規則ハ別ニ條令ヲ以テ之ヲ定ム  
第九條 貴族院ハ其ノ議員ノ資格及選舉ニ關スル爭訟ヲ判決ス其ノ判決ニ關スル規則ハ貴族院ニ於テ之ヲ議定シ上奏シテ裁可ヲ請フヘシ

### 第八 貴族院帝國學士院會員議員ノ互選ニ用フル投票用紙、投票用封筒及投票函ノ様式ニ關スル閣令

閣令第五號 (大正十四年八月二十一日官報)

貴族院帝國學士院會員議員ノ互選ニ用フル投票用紙、投票用封筒及投票函ノ様式ハ帝國學士院長之ヲ定メ内閣總理大臣ノ認可ヲ受クヘシ

貴族院帝國學士院會員議員ノ互選ニ用フル投票用紙、投票用封筒及投票函ノ様式ニ關スル閣令

### 第九 帝國學士院學術研究獎勵金運用委員會規則

(昭和三年一月十二日總會議決)

第一條 本院ニ學術研究獎勵運用委員會ヲ置ク  
運用委員會ハ院長ノ監督ニ屬シ學術研究獎勵金ノ運用ニ關スル事項ヲ審議ス

第二條 運用委員會ハ委員長一人委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス  
委員長ハ本院幹事ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ本院會員中ヨリ院長之ヲ囑託ス  
院長必要アリト認ムルトキハ文部省會計課長又ハ他ノ文部省高等官ニ委員ヲ囑託スルコトヲ得

第三條 運用委員會ハ委員長臨時之ヲ招集ス

第四條 院長ハ學術研究獎勵金ノ運用方法ヲ運用委員會ニ諮問スヘシ

學術研究獎勵金ノ運用ハ左ノ方法ニ據ル

- 一 國債ノ應募又ハ買入
  - 二 運用委員會ノ適當ト認ムル地方債、社債又ハ産業債券ノ應募又ハ買入
  - 三 大藏省預金部ニ預入レ又ハ運用委員會ノ適當ト認ムル銀行若クハ信託會社ニ定期預金若クハ金錢信託ト爲スコト
- 學術研究獎勵金ハ一時ノ必要アル場合ニ限り之ヲ運用委員會ノ適當ト認ムル銀行ニ特別當座預金ト爲スコトヲ得

第五條 運用委員會ハ毎年度學術研究獎勵金運用報告書ヲ院長ニ提出シ院長ハ之ヲ總會ニ報告スヘシ

### 第十 恩賜賞ニ關スル決議

(明治四十四年二月十二日總會議決)  
同 年四月十二日總會議決

- 一 皇室ノ御下賜金ヲ以テスル賞ハ之ヲ恩賜賞ト稱スルコト
- 二 恩賜賞ノ數ハ毎年第一部第二部各一個トシ場合ニ依リ二個ニ等分スルコトヲ得若シ其ノ年度内ニ授與シ了ラサルモノアルトキハ

- 之ヲ遞次繰越シ授與スルモ差支ナキコト
- 三 恩賜賞ハ賞牌ニ賞記及賞金ヲ添ヘテ之ヲ授クルコト

### 第十一 寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議

(明治四十四年十一月十二日總會議決  
同四十五年五月十二日總會修正議決  
同四十六年四月十二日總會修正議決  
大正八年四月十二日總會修正議決)

同十二年三月十二日總會修正議決  
同十二年十二月十二日總會修正議決

- 一 男爵三井八郎右衛門ヨリノ寄附金ヲ以テセル賞ハ第二部ニ於テ毎年其ノ數ヲ一個トシ男爵岩崎久彌ヨリノ寄附金ヲ以テスル賞ハ第一部第二部各隔年ニ一個トス但シ場合ニ依リテハ部ニ於テ之ヲ分チ二個以上ノ賞トスルコトヲ妨ケス
- 大阪毎日新聞社々長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術獎勵資金ノ内ヲ以テセル賞ハ之ヲ「大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念賞」ト稱シ其ノ數ハ各部ヲ通シテ毎年四個トス

受賞者ナキトキハ之ニ對スル賞金ハ遞次翌年度ニ繰越シテ之ヲ授與スルコトヲ得

- 賞ハ賞牌ニ賞記及賞金ヲ添ヘテ之ヲ授ク
- 二 寄附ノ條件ニ依リ寄附金ヨリ生スル利殖金ヲ賞又ハ研究費補助トシテ使用スルコトヲ得ル場合ニ於テ之ヲ賞トスルトキハ其ノ數及所屬ハ總會ニ於テ之ヲ定ム
- 前項ノ賞ニシテ記念ノ趣旨ヲ表明スルコトヲ要スル場合ニハ之ヲ某記念賞ト稱シ賞金ニ賞記ヲ添ヘテ之ヲ授ク
- 三 二人以上共同ノ事業ニ對シテハ賞記ニ其ノ旨ヲ記シ各自ニ之ヲ授ク但シ賞金ハ分割セサルコトアルヘシ

### 第十二 條件附寄附金ニ關スル決議

(大正五年一月十二日總會議決)

學術研究ノ獎勵ヲ目的トスル寄附金ノ用途ニ關シテハ總會又ハ部會ハ必要ナル審査及決議ヲ爲スヘシ

### 第十三 藤田男爵獎學費給與ニ關スル決議

(大正六年二月十二日總會決議  
昭和五年六月總會修正議決)

- 一 男爵藤田平太郎寄附ノ獎學費ハ其ノ指定セラレタル用途ノ範圍ニ於テ有望ナル研究者ニ之ヲ與フ
- 二 獎學費ヲ受クヘキ者ノ選定ハ部會ノ決議ニ依ル部會ノ決議ハ部長之ヲ總會ニ報告ス
- 三 獎學費ヲ受クヘキ者ノ數ハ各部ニ於テ毎年之ヲ定ム  
獎學費ハ一人一箇年金三百圓以内トス但シ更ニ其ノ支給ヲ繼續スルコトヲ得
- 四 獎學費ヲ受ケタル者ノ氏名ハ寄附者ニ之ヲ報告ス

### 第十四 末松子爵夫人寄附羅馬法獎勵資金ノ

#### 使途ニ關スル決議

(大正七年七月十二日第一部々會議決  
同十年十一月十二日第一部々會議決)

- 一 子爵夫人末松生子寄附羅馬法獎勵資金ハ其ノ利殖金ノ一部ヲ以テ羅馬法律書籍ヲ購入シ獎學品トシテ各官公私立大學中羅馬法ヲ教授セル各大學ノ大學院又ハ法科大學在學中ノ學生ニ與フルモノトス但シ適當ト認ムル他ノ學生ニ與フルコトアルヘシ  
尙ホ場合ニ依リ相當ノ圖書館ヲ選定シ之ニ寄贈スルコトヲ得  
利殖金ノ他ノ一部分ハ之ヲ積立テ羅馬法律書籍ノ出版費トシテ使用スヘキモノトス
- 二 獎學品ヲ受クヘキ者及書籍ヲ寄贈スヘキ圖書館ノ選定ハ第一部部長ノ詮考ニ依ル但シ詮考事項ハ之ヲ部會及總會ニ報告スヘシ  
獎學品ヲ受クヘキ者及書籍ヲ寄贈スヘキ圖書館ノ數並ニ出版費ト

- シテ積立テ置クヘキ金額ハ相當ノ範圍ニ於テ毎年之ヲ定ム
- 三 獎學品ヲ受ケタル者ノ氏名及書籍ヲ寄贈シタル圖書館ノ名ハ之ヲ寄附者ニ報告スヘシ

第十五 松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ニ

關スル決議

(大正十一年四月十二日總會議決  
同十二年五月十二日總會修正議決)

- 一 松方公爵米壽祝賀會寄附ノ獎學資金ハ寄附ノ條件ニ從ヒ元金ハ永ク保存シテ之ヲ利殖シ其ノ利子ヲ獎學費ニ充ツ
- 二 獎學費ハ主トシテ財政經濟農業及漢學ニ關スル學科ノ研究費、褒賞費、講義費、學生費、出版費等ニ充テ其ノ他本院ニ於テ適當ト認ムル事業費ニ之ヲ使用ス
- 三 獎學費使途ノ事項ニハ「松方記念」ノ稱ヲ冠ス
- 四 獎學費ノ使途並ニ其ノ受領者ノ選定ハ當該部會ノ決議ニ依ル部

- 會ノ決議ハ部長之ヲ總會ニ報告ス
- 五 獎學費ヲ以テ施行シタル事項ハ毎年之ヲ松方公爵家ニ報告ス

第十六 大阪毎日新聞社々長本山彦一寄附東宮御成

婚記念學術獎勵資金ノ使途ニ關スル決議

(大正十二年十二月總會議決)

- 一 大阪毎日新聞社々長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術獎勵資金ノ内ヲ以テセル學術研究資金ニハ「大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念」ノ稱ヲ冠シ該資金使途ノ事項ニハ之ニ依リタル旨ヲ表明スルコト
- 二 研究資金ヲ受クヘキ者ノ選定ハ部會ノ議ヲ經テ總會ニ於テ之ヲ決定ス
- 三 研究資金ヲ受ケタル者ノ氏名及研究事項ハ毎年之ヲ大阪毎日新

大以毎日新聞社々長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術獎勵資金ノ使途ニ關スル決議

開東京日日新聞兩社ニ報告ス

### 第十七 小池厚之助寄附獎學資金ノ使途ニ關スル決議

(大正十四年九月十九日臨時總會議決)

- 一 小池厚之助寄附獎學資金ハ寄附ノ條件ニ從ヒ其ノ總額ヲ基金トシテ永久ニ保存利殖シ其ノ利子ヲ研究費補助ニ充ツ
- 二 基金ヨリ生スル利子ノ中毎年度金參千圓ヲ控除シ特別補助資金トシテ之ヲ積立利殖シ殘餘ノ利子ノ一半ハ醫學ノ研究費補助ニ充テ他ノ一半ハ一般研究費補助ニ充ツ
- 三 特別補助資金及其ノ利殖金ハ特別重要事項ノ研究ニシテ特ニ多額ノ補助金ヲ要スルモノニ對シ十分ナル補助ヲ爲サムトスルトキニ限り之ヲ使用ス
- 四 研究費補助ヲ受クヘキ者ノ選定ハ本院總會ノ學術研究費補助ニ關スル決議ニ依リ之ヲ爲ス

- 五 研究費補助ヲ受ケタル者ノ氏名ハ其ノ研究事項ト共ニ毎年之ヲ小池家ニ報告ス

### 第十八 メンデンホール寄附獎學資金ノ

#### 使途ニ關スル決議

(昭和五年四月總會議決)

- 一 米國人故トーマス・メンデンホールノ遺言ニ依リ本邦理學及教育ノ明治初年ニ於ケル發達ト故人トノ關係ヲ記念センカ爲ニ寄附セル獎學資金ノ元金ハ永久ニ保存シテ之ヲ利殖シ其ノ利子ヲ獎學費ニ充ツ
- 二 獎學費ハ大正十四年以降五箇年毎ニ其ノ期間ニ於テ物理學又ハ天文學上顯著ナル貢獻ヲナシタル日本人ヲ褒賞スルカ爲ニ使用ス賞ハ金牌ニ賞記及賞金ヲ添ヘテ之ヲ授ク
- 三 前記期間ニ於テ賞ノ適當ナル目的物ナキトキニ限り利殖金ハ之

メンデンホール寄附獎學資金ノ使途ニ關スル決議

ヲ物理學又ハ天文學上ノ學術研究費補助、講演、出版等ノ費用ニ充ツルコトヲ得

此ノ場合ニ於ケル獎學費ノ使途ハ第二部々會ノ決議ニ依ル部會ノ決議ハ部長之ヲ總會ニ報告ス

四 獎學費使途ノ事項ニハ「メンデンホール記念」ノ稱ヲ冠ス

### 第十九 學術研究費補助ニ關スル決議

明治四十年七月十二日	總會 議決
大正八年三月十二日	總會 修正議決
同十二年三月十二日	總會 修正議決
同十五年一月十二日	總會 修正議決
昭和二年六月十二日	總會 修正議決

一 會員ニシテ學術研究費ノ補助ヲ要スルコトアルトキハ研究ノ目的ヲ明記シ之ニ要スル概算費目ヲ十一月末日マデニ部長ニ申出ツヘシ

會員ニ非サル者ニ對スル學術研究費ノ補助ハ會員又ハ官公私立大

學ノ總長若クハ學長ノ推薦ニ依ル

前項ノ推薦ハ院長ニ宛テ毎年十一月末日迄ニ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

二 決議一ノ申出及推薦ハ研究事項ノ屬スル部ニ於テ之ヲ審査スル爲毎年一月ノ部會ニ於テ部長其ノ部ニ屬スル審査委員若干名ヲ指名ス（一月部會ヲ開カサルモ部長ハ審査委員ヲ指名ス）

部長ハ審査委員會ヲ召集シ其ノ議長ト爲ル審査委員會ノ決議ハ一月末日マデニ部長之ヲ院長ニ報告スヘシ

三 學術研究費補助案ハ部長ノ報告ニ基キ役員會議ニ於テ之ヲ定メ二月ノ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ受クヘシ但シ緊急ノ場合ニ於テハ院長ハ決議一及二ノ手續ニ依ラス部長ノ申請ニ因リ役員會議ニ於テ決定シ次回ノ總會ニ於テ之ヲ報告スヘシ

四 學術研究費ノ補助ヲ受ケタル者ハ研究結了後直ニ其ノ成績ヲ報告スヘシ

研究數年ニ渉ル場合ニ於テハ毎年十二月末日マデニ研究進行ノ狀  
況ヲ記載セル報告書ヲ部長ニ提出スヘシ  
五 補助ヲ受ケタル研究ノ成績報告書ニハ本院ヨリ研究費ノ補助ヲ  
受ケタル旨ヲ明記スルコトヲ要ス

### 第二十 高松宮へ推薦スヘキ有栖川宮記念學術 獎勵資金受領候補者選定ニ關スル決議

(昭和三年一月十二日總會議決)

本院ヨリ高松宮ニ推薦スヘキ有栖川宮記念學術研究獎勵資金受領候  
補者ノ選定ニ關シテハ授賞ノ場合ニハ本院授賞規則ヲ學術研究費補  
助ノ場合ニハ本院學術研究費補助ニ關スル決議ヲ準用ス  
但シ授賞事項又ハ研究費補助事項ノ提出時期ハ左ノ通りトス  
一 授賞事項ノ提出期ハ毎年二月又ハ時宜ニ依リ三月トス

二 學術研究費補助事項ノ提出期ハ本院會員ヨリスルモノハ毎年四  
月末日及十月末日迄ノ二回トシ官公私立大學總長又ハ學長ヨリス  
ルモノハ毎年十月末日迄トス

### 第二十一 學術研究費補助推薦ニ關スル決議

(大正五年一月二十五日總會議決)

學術研究ノ獎勵ヲ目的トスル事業ニ關シ推薦ノ依頼ヲ承諾シタルト  
キハ總會又ハ部會ハ委員ヲ選出シ必要ナル審査ヲ爲サシメ其ノ結果  
ニ依リ決議ヲ爲スヘシ

### 第二十二 出版ニ關スル決議

(明治四十年七月十二日  
同 四十四年十一月十二日  
總會修正議決  
總會修正議決)

一 毎年一回年報ヲ刊行シテ報告ヲ登載スヘシ



- 二 帝國學士院規程第七條第八條及帝國學士院會則第十一條第二項第十二條ニ依ル論文報告講演等ハ帝國學士院紀事又ハ別冊トシテ刊行スルコトヲ得
- 三 圖書又ハ論文ヲ編纂校訂翻譯若クハ謄寫セシメ又ハ之ヲ出版スルコトヲ得
- 四 第二項ニ掲ケタル論文報告及講演ヲ帝國學士院紀事又ハ別冊以外ニ掲載セントスルトキハ院長ノ許可ヲ經ルコトヲ要ス

### 第二十三 帝國學士院紀事別冊ニ關スル決議

（明治四十年十二月十二日  
同四十四年十二月十二日  
大正十四年七月十二日  
總會修正議決  
總會修正議決）

- 一 帝國學士院紀事ハ集會ノ錄事及會員ノ提出セル論文報告書等ヲ掲載ス
- 二 長編ノ論文報告書等ハ別冊トシテ臨時刊行シ其ノ概要ヲ紀事ニ

#### 掲載ス

- 三 會員ニ非サル者ノ論文報告書等ニシテ會員ノ紹介ニ依リ提出セラレタルトキハ之ヲ紀事又ハ別冊ニ掲クルコトアルヘシ
- 四 既ニ他ニ出版セル論文報告書等ハ之ヲ紀事又ハ別冊ニ掲載セス但シ其ノ概要ヲ抄録スルハ此限ニアラス
- 五 出版委員若干名ヲ置キ出版ニ關スル事務ヲ委任ス
- 六 出版委員ハ論文報告書等ノ取捨節略ニ關シ疑アルトキハ之ヲ總會又ハ部會ニ提出スルコトヲ得
- 七 出版委員ハ部ニ於テ之ヲ選出シ幹事ヲ以テ委員長トス
- 八 部選出委員ノ數ハ各部之ヲ定メ其ノ任期ヲ三箇年トス

### 第二十四 學術研究獎勵金

#### 一 御下賜金

#### 皇室御下賜金ノ一

皇室ヨリ學術研究御獎勵ノ思召ヲ以テ明治四十三年以降十箇年間年々金貳千圓ヲ下賜セラレ、引續キ大正九年以降十箇年間年々金貳千圓、昭和五年以降十箇年間年々金貳千圓、昭和十五年以降十箇年間年々金貳千圓ヲ下賜セラレタルモノニシテ賞典資ニ充ツ

**皇室御下賜金ノ二**

皇室ヨリ學術研究御獎勵ノ思召ヲ以テ大正九年一月以降年々金壹萬圓ヲ下賜セララルモノニシテ學術研究ノ資ニ充ツ

一一 寄附金

**(一) 男爵三井八郎右衛門寄附金**

男爵三井八郎右衛門ヨリ明治四十四年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓、大正十年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓、更ニ三井合名會社々長ヨリ昭和六年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓、昭和十六年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、

合計金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ第二部ニ屬スル賞典費ニ充ツ

**(二) 三菱合資會社寄附金**

三菱合資會社々長男爵岩崎久彌ヨリ明治四十四年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓、同會社々長男爵岩崎小彌太ヨリ大正十年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓、更ニ三菱合資會社ヨリ昭和六年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓、昭和十六年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ賞典費ニ充ツ

**(三) 工學博士藥學博士高峰讓吉寄附金**

大正元年工學博士藥學博士高峰讓吉ヨリ金五千圓ヲ寄附シ其ノ使用方法ハ本院ニ一任セルモノニシテ元金ハ之ヲ保存シ之ヨリ生スル利殖金ヲ一般學術研究費補助ニ充ツ

**(四) 男爵住友吉左衛門寄附金**

男爵住友吉左衛門ヨリ大正元年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合

計金壹萬圓、大正十一年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓、更ニ昭和七年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附シ其ノ使用方法ハ本院ニ一任セルモノニシテ之ヲ一般學術研究費補助ニ充ツ

(五) 男爵古河虎之助寄附金

男爵古河虎之助ヨリ大正二年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓、更ニ大正十二年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附シ其ノ使用方法ハ本院ニ一任セルモノニシテ之ヲ一般學術研究費補助ニ充ツ

(六) 男爵藤田平太郎寄附金

男爵藤田平太郎ヨリ大正四年金貳萬貳千圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件ニヨリ金貳千圓ヲ羅馬法學書出版費補助トシテ之ヲ使用シ金壹萬圓ヲ羅馬法學獎勵資金トシ金壹萬圓ヲ採鑛冶金學及關係學科獎學資金トシ各獎學資金ヨリ生スル利殖金ヲ東京帝國大學

及京都帝國大學ノ大學院又ハ分科大學在學中ノ學生ノ獎學費ニ充ツ

(七) 三井合名會社寄附金

大正五年三井合名會社々長男爵三井八郎右衛門ヨリ左ノ出版費トシテ金參千圓ヲ寄附セルモノナリ

金壹千圓 大日本數學史ノ增補出版費

金貳千圓 伊能忠敬測地事蹟調查事項出版費

(八) 山下龜三郎寄附金ノ一

山下龜三郎ヨリ大正五年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ船舶航海其他之ニ關スル學術研究ノ資ニ充ツ

但シ右金額ノ納付方法ハ使途ノ狀況ニ依リ隨時之ヲ變更スルコトヲ得

(九) 山下龜三郎寄附金ノ二

山下龜三郎ヨリ大正十二年以降毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ國際關係ノ學事費ニ之ヲ使用ス

(一〇) 山下龜三郎寄附金ノ三

昭和十六年以降五箇年間毎年金貳千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ國際關係ノ學事費、出版費、研究費補助及其ノ他本院ニ於テ適當ト認メタル事業費ニ之ヲ使用ス

(一一) 故桂公爵記念事業寄附金

故桂公爵記念事業會總代男爵澁澤榮一ヨリ大正六年學術研究獎勵ノ爲金貳萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

寄附金ハ桂學術獎勵基金トシテ保存シ之ヨリ生スル利殖金ノ全部又ハ一部ヲ

- 一 學術研究ニ依リ社會ニ多大ノ貢獻ヲ爲シタリト認メラル者ニ賞トシテ與フルカ又ハ
- 二 學術研究費補助トシテ之ヲ使用シ
- 三 孰レモ桂學術獎勵基金ニ據リタルコトヲ表明スルコト但シ場合ニ依リ(一)若クハ(二)ヲ選行シ又ハ二者ヲ併行スルハ帝國學士院ノ任意タルヘキコト

(一二) 子爵夫人末松生子寄附二

子爵夫人末松生子ヨリ大正七年羅馬法獎勵資金トシテ有價證券額面金五千百圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

資金ノ利殖金ヲ以テ毎年若干宛羅馬法律書ヲ購入シ適宜ノ方法ニ依リ可然學生ニ之ヲ分與シ又ハ場合ニ依リ相當ノ圖書館ヲ選定シテ之ニ寄贈スヘキコト尙ホ必要ノ場合ニハ右法律書ノ印刷費ニ充ツルコト

(一三) 松方公爵米壽祝賀會寄附金

松方公爵米壽祝賀會發起人總代阪谷芳郎、平山成信ヨリ大正十一年松方公爵米壽祝賀記念獎學資金トシテ金拾八萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 寄附金ハ適當ノ方法ヲ以テ利殖スルコト
- 二 元金ハ永ク保存シ其ノ利子ノミヲ使用スルコト
- 三 利子ハ主トシテ財政經濟農業及漢學ニ關スル研究ノ補助褒賞等ニ使用スルコト
- 四 前項以外タリト雖モ帝國學士院ニ於テ適當ト認ムル事業ニ利子ヲ使用スルハ妨ケナキコト
- 五 利子ヲ以テ施行シタル事項ハ毎年之ヲ松方公爵家ニ報告スルコト

同 追加寄附金ノ一

松方公爵米壽祝賀會發起人總代平山成信ヨリ大正十二年四月金五

千四百五拾四圓ヲ寄附セルモノニシテ松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ヨリ生スル利子ニ加ヘ獎學ノ目的ニ使用ス

同 追加寄附金ノ二

松方公爵米壽祝賀會殘務整理委員男爵阪谷芳郎ヨリ大正十二年五月金五百六拾圓ヲ寄附セルモノニシテ松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ノ中ニ加ヘ獎學ノ目的ニ使用ス

(二四) 財團法人原田積善會寄附金

財團法人原田積善會理事原田二郎ヨリ大正十二年以降壹百萬年間毎年金壹萬圓(四月及九月ニ分納)ツ、合計金壹百萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 金壹萬圓ノ内二千圓ハ之ヲ原田二郎獎學基金トシテ積立テ適當ノ方法ヲ以テ永遠ニ利殖スルコト但シ五十年後ニアリテハ右基金ヨリ生スル利子ヲ帝國學士院ニ於テ適宜使用スルモ妨ケナキコト
- 二 金壹萬圓ノ内金八千圓ハ毎年獎學ノ爲使用スルコトトシ其方法ハ總テ帝國學士院ニ一任スルコト
- 三 本寄附金ニヨリ施行シタル事項ハ毎年之ヲ原田積善會ヘ報告スルコト

(二五) 高峰保全株式會社寄附金

故工學博士藥學博士高峰讓吉ノ遺志ニ依リ高峰保全株式會社取締役鹽原又策ヨリ賞又ハ研究費ノ基金トシテ大正十二年以降五箇年間毎年金五千圓(一月及七月ニ分納)ツ、合計金貳萬五千圓ヲ寄附セルモノニシテ其ノ利殖金ヲ學術研究ノ賞又ハ資トシテ使用ス

(二六) 三共株式會社寄附金

三共株式會社取締役鹽原又策ヨリ前記高峰保全株式會社寄附ニ係ル基金ノ利子ヲ大正十三年ヨリ金壹千圓ツ、使用シ得ル爲其ノ不足補充ノ目的ヲ以テ大正十二年ヨリ三箇年ニ涉リ金貳千圓ヲ寄附セルモノナリ

(二七) 大阪毎日新聞社々長本山彦一寄附金

前大阪毎日新聞社々長本山彦一ヨリ東宮御成婚記念學術獎勵資金トシテ大正十三年以降十箇年間毎年金壹萬圓ツ、合計金拾萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 毎年金壹萬圓ノ内金四千圓ハ賞金トシ金六千圓ハ研究資金トシテ之ヲ使用スルコト

二 賞ハ「大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念賞」ト稱シ賞牌及賞記ト共ニ金壹千圓宛四人ニ之ヲ授與スルコト 但シ賞牌ノ制式ハ本院ニ一任スルコトトシ其ノ作製ニ要スル費用ハ別ニ同社ヨリ之ヲ本院ニ納付ス

三 受賞者ナキトキハ賞金ノ一部又ハ全部ヲ遞時翌年ニ繰越シテ使用スルモ妨ケナキコト

四 研究資金ノ使用方法ハ之ヲ本院ニ一任スルモ該資金使途ノ事項ニハ「大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念」ノ稱ヲ冠スルコト

(一八) **メンデンホール寄附金**

米國人元東京大學教師故トーマス・メンデンホールノ遺言ニ因リ同人息チャールス・メンデンホールヨリ大正十四年米貨二千五百弗ヲ寄附セルモノニシテ物理學又ハ天文學ニ關スル獎學費ニ充ツ

(一九) **小池厚之助寄附金**

故小池國三ノ遺志ニ依リ同人息小池厚之助ヨリ大正十四年五月金參拾萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 寄附金總額ハ之ヲ基金トシテ永久ニ保存シ適當ノ方法ヲ以テ之ヲ利殖スルコト
- 二 右基金ヨリ生スル利子ハ本院ノ選定ニ依ル學術研究ノ補助資金ニ充ツルコト
- 三 右基金ヨリ生スル利子ノ中ヨリ毎年金參千圓ヲ控除シ其ノ殘額ノ一半ハ醫學ノ研究補助費ニ充テ他

ノ一半ハ一般研究ノ補助費ニ充ツヘキコト

四 上記控除セル金參千圓ハ特別補助資金トシテ毎年之ヲ積立テ利殖シ特ニ多額ノ資金ヲ投スルニアラサレハ研究ヲナシ得サルカ如キ特別重要ナル事項ノ出現ヲ俟テ之ニ十分ナル補助ヲ與フルコト

同 **追加寄附金**

小池厚之助ヨリ大正十五年三月金壹萬四千七百貳拾圓餘ヲ寄附セルモノニシテ學術研究ノ補助費ニ充ツ

(二〇) **男爵岡野節寄附金**

男爵岡野節ヨリ大正十五年二月金五千圓ヲ寄附セルモノニシテ右基金ハ之ヲ永久ニ保存シ之ヨリ生スル利子ヲ學術研究ノ補助費ニ充ツ

同 **追加寄附金**

男爵岡野節ヨリ大正十五年三月金參拾貳圓餘ヲ寄附セルモノニシテ學術研究ノ補助費ニ充ツ

(二一) **小津清左衛門寄附金**

小津清左衛門ヨリ學術獎勵金トシテ大正十五年九月金五千圓ヲ寄

附セルモノニシテ寄附ノ條件ニ依リ「南朝の柱石北畠親房及びその子孫の事蹟」ノ研究費ニ充ツ

(二二) 中澤つる寄附金

故中澤房則ノ遺志ニ依リ中澤つるヨリ學術獎勵金トシテ昭和二年十月有價證券額面金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ元金ハ之ヲ保存シ之ヨリ生スル利子ヲ一般學術研究費ノ補助ニ充ツ

(二三) 古籀篇刊行會記念寄附金

古籀篇刊行會理事長子爵渡邊千冬ヨリ昭和三年七月金貳萬九千圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 寄附金ハ古籀編刊行會記念獎學資金ト稱スルコト
- 二 古籀編刊行會記念獎學資金ハ、金參萬圓ニ達スルヲ俟テ、其ノ利子ヲ獎學費ニ充ツルコト、隨テ金參萬圓ニ達スルマテノ間、本院ニ於テ据置キ利殖ノ途ヲ講スルコト
- 三 前記獎學費ハ、漢學ニ關スル研究、若クハ著作出版ノ補助ニ使用スルコト

同 追加寄附金

元古籀篇刊行會理事服部宇之吉ヨリ昭和五年五月金七百貳拾五圓

ヲ寄附セルモノニシテ前項寄附金ニ加ヘ其ノ利子ヲ獎學費ニ充ツ

(二四) 三井信託株式會社名義寄附金

三井信託株式會社ニ於テ某篤志家ノ供託ヲ受ケ同社取締役社長米山梅吉名義ヲ以テ昭和六年度以降同十六年迄ニ金六萬參千五百圓ヲ寄附セルモノニシテ學術ノ研究及發表ノ助成費ニ充ツ

(二五) 鈴木三郎助寄附金

故鈴木三郎助ノ遺志ニ依リ同人息鈴木三郎助ヨリ昭和七年三月學術研究獎勵金トシテ有價證券額面金參拾萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 寄附金ハ基金トシテ永ク之ヲ保存シ其ノ利子ノミヲ使用スルコト
- 二 本基金ヨリ生スル利子ノ一半ハ(一)東京帝國大學理學部化學教室ニ屬スル學者ノ研究補助費ニ充テ他ノ一半ハ(二)他ノ化學者ノ研究補助費ニ充ツルコト
- 三 前項(一)ニ割當タル利子ニシテ當該年度内ニ全額使用シ得サリシ場合ニハ其ノ剩餘金ヲ(二)ノ補助費ニ流用シ又利子全額ノ上ニ剩餘ヲ生シタル場合ニハ之ヲ次年度ニ繰越シテ使用スルヲ妨ケサルコト

(二六) 伯爵鹿島萩麿記念寄附金

故伯爵鹿島萩麿ノ遺志ニ依リ伯爵鹿島晃久後見人侯爵筑波藤麿ヨリ昭和九年四月金拾萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如

シ

- 一 寄附金ハ伯爵鹿島萩麿記念獎學基金ト稱スルコト
- 二 本基金ハ永久ニ之ヲ保存スルコト
- 三 本基金ヨリ生スル利殖金ノ内毎年金參千圓ヲ第二部賞金トシテ使用シ殘額ハ五拾箇年之ヲ基金ニ繰入レ爾後利殖金ハ帝國學士院ニ於テ適宜使用スルモ妨ケナキコト
- 但シ適當ナル受賞者ナキカ又ハ賞金額參千圓ニ達セサル場合ニハ其ノ全額又ハ殘餘ヲ第二部ノ學術研究補助費ニ充ツルコトヲ得
- 四 本寄附金ニ依リ施行シタル事項ハ毎年之ヲ伯爵鹿島家ニ報告スルコト

(二七) 服部玄三寄附金

服部玄三ヨリ昭和十一年二月以降五箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金五千圓、更ニ昭和十六年二月以降五箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金五千圓ヲ寄附スルモノニシテ學術ノ研究及其ノ發表助成費ニ充ツ

(二八) 臺灣救濟團長寄附金

臺灣救濟團々長二見直三ヨリ昭和十三年以降三箇年間ニ金四千圓ヲ寄附スルモノニシテ寄附ノ趣旨ニ依リ臺灣ニ於ケルインドネジヤ慣習法辭典編纂費ニ充ツ

(二九) 王子製紙株式會社寄附金

王子製紙株式會社取締役社長高島菊次郎ヨリ昭和十四年九月金參萬圓ヲ寄附セルモノニシテ元金ハ基金トシテ永久ニ保存シ、之ヨリ生スル利子ノ内、毎年金壹千圓ヲ獎學金トシテ使用シ殘餘ノ金額ハ之ヲ基金ニ繰入ルモノトス

(三〇) 財團法人坂本報效會寄附金

財團法人坂本報效會理事長坂本守正ヨリ昭和十四年十一月金五千圓、昭和十五年十月金五千圓、昭和十六年十月金五千圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 金五千圓ノ内金四千圓ハ研究補助費ニ金壹千圓ハ出版費ニ使用スルコト



二 本寄附金ニ依リ施行シタル事項ハ之ヲ坂本報效會ヘ報告スルコト

(三一) 矢野生命保險記念寄附金

第一生命保險相互會社取締役會長矢野恆太本邦生命保險關係五十年記念事業トシテ社長石坂泰三ヨリ昭和十五年一月金拾萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 寄附金ハ矢野生命保險記念基金ト稱シ基金トシテ永久ニ保存スルコト
- 二 右基金ヨリ生スル利益金ハ生命保險事業ニ直接又ハ間接ニ關係セル法律學、經濟學、統計學、醫學、數學等ノ諸學科ノ研究並出版費其ノ他該事業ノ進歩發達ノ爲本院ニ於テ適當ト認ムル費用ニ支出スルコト
- 三 本院ノ各會計年度ニ於テ利益金中殘餘金アルトキハ之ヲ基金ニ繰入ルルコトヲ妨ケサルコト

(三二) 社團法人萬年會寄附金

社團法人萬年會理事吉川祐輝ヨリ昭和十四年十一月有價證券額面金貳萬五百圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 寄附金ハ萬年會獎學資金ト稱シ永久ニ之ヲ保存シ適當ノ方法ヲ以テ利殖スルコト
- 二 毎年利殖金ノ中ヨリ其ノ四分ノ一以上ヲ資金ヘ繰入ルルコト
- 三 前記四分ノ一以上ヲ控除セシ殘餘ノ利子ハ農學及工學ニ關スル學術研究ノ補助若クハ論文發表ノ助成

ニ使用スルコト

四 資金ノ利子使用ノ事項ニハ萬年會獎學資金ニ依リ補助若クハ助成ノ旨ヲ表示スルコト

(三三) 多田齊司寄附金

昭和十五年七月金壹百五拾圓ヲ寄附セルモノニシテ學術研究ノ補助費ニ充ツ

第二十五 出版物

- 帝國學士院紀事(歐文) 第一卷第一號 明治四十五年三月發行
- 帝國學士院紀事(歐文) 第一卷第二號 大正二年三月發行
- 菊地大麓論文 間重新ノ楕圓起源ニ就テ
- 帝國學士院紀事(歐文) 第一卷第三號 大正二年十一月發行
- 帝國學士院紀事(歐文) 第一卷第四號 大正三年十二月發行
- 竹内端三論文 代數的「キヨルベル」ニ於ケル「コングルメント」數ノ「クラス」ニ就キ
- 帝國學士院紀事(歐文) 第一卷第五號 大正七年十月發行

出版物

藤澤利喜太郎論文 代數的平均ニ就テ 大谷亮吉編著

伊能忠敬ノ傳記並ニ其事業概説

帝國學士院紀事(歐文)

自第二卷第一號 至第十號 大正五、昭和二年發行

同 自第三卷第一號 至第十號 昭和二年發行

同 自第四卷第一號 至第十號 昭和三年發行

同 自第五卷第一號 至第十號 昭和四年發行

同 自第六卷第一號 至第十號 昭和五年發行

同 第六卷別冊(歐文)

昭和五年發行

姉崎正治著 A Concorance to the History of Kirishitan Missions.

(Catholic Missions in Japan in the Sixteenth and Seventeenth Centuries.)

帝國學士院紀事(歐文)

自第七卷第一號 至第十號 昭和六年發行

同 自第八卷第一號 至第十號 昭和七年發行

同 自第九卷第一號 至第十號 昭和八年發行

同 自第十卷第一號 至第十號 昭和九年發行

同 自第十一卷第一號 至第十號 昭和十年發行

同 自第十二卷第一號 至第十號 昭和十一年發行

同 自第十三卷第一號 至第十號 昭和十二年發行

同 自第十四卷第一號 至第十號 昭和十三年發行

同 自第十五卷第一號 至第十號 昭和十四年發行

同 自第十六卷第一號 至第十號 昭和十五年發行

同 自第十七卷第一號 至第十號 昭和十六年發行

同 自第十八卷第一號 至第十號 昭和十七年發行

同 自第十八卷第一號 至第十號 昭和十七年發行

同 自第十八卷第一號 至第十號 昭和十七年發行

帝國學士院第一部論文集(邦文) 大正二年六月發行

穗積陳重著 由井正雪事件ト徳川幕府ノ養子法

帝國學士院第一部論文集(邦文) 第二號 大正八年二月發行

穗積陳重著 諱ニ關スル疑

帝國學士院第二部メモアル(英文)

第一卷第一號

大正二年十一月發行

長岡半太郎及高嶺俊夫論文

階段格子及「サムメン」板ヲ用ヒテ調査シタル水銀線ノ構造

假名遣沿革史料

ユ帝欽定羅馬法學提要(末松謙澄譯)

「ウルピア」ヌス「羅馬法範」(末松謙澄譯)

「ガ」イウス「羅馬法解説」(末松謙澄譯)

伊能忠敬(長岡半太郎監修大谷亮吉編著)

和算ノ方陣問題(菊地大麓監修三上義夫編著)

諸外國學士院ノ組織及授賞制(藤澤利喜太郎編)

増修日本數學史(遠藤利貞遺著)

帝室制度史(國體總説)

同 (國體の精華)

同 (皇位繼承の本義及び原因)

明治四十二年三月發行

大正二年十二月發行

同十三年七月四版發行

大正四年三月發行

同十三年七月三版發行

大正四年三月發行

同十三年七月三版發行

大正六年三月發行

大正六年三月發行

明治四十三年八月印刷

大正七年一月再版發行

大正七年九月發行

昭和十二年三月發行

昭和十三年七月發行

昭和十四年七月發行

同

(皇位繼承の儀禮、皇嗣)

第四卷

昭和十五年九月發行

同

(神器總説、神器の奉安及び崇敬)

第五卷

昭和十七年三月發行

帝國學士院邦文紀事

第一卷第一號

昭和十七年三月發行

### 第二十六 學術報告

自昭和十五年四月(自明治四十年四月略之)至同十七年三月(至昭和十五年三月略之)

提出年月

題

目

提出者又ハ講演者

昭和十五年四月

(紹介者 谷津直秀)

鎌田 下 治 武 雄

ウニ卵の細胞膜電位に就て

(紹介者 宮部金吾)

今 井 三 子

日本産塊菌類に關する第二報

會 員

宮 部 金 吾

ラミナリヤ・ジャボニカ・アレツシユ及び

近 藤 孝 一

小 彌 永 昌 邦 彦 吉

ラミナリヤ・アングスタ・キジエルクに就て

群に於ける概週期函數の理論について

小 彌 永 昌 邦 彦 吉

(以上二件)

紹介者 高木貞治

小 彌 永 昌 邦 彦 吉

細胞呼吸に於けるチアアフォーラーセの作用

(紹介者 柴田桂太)

藥 師 貫 寺 英 次 郎 男

新案凝結濕度計

會 員

岡 村 昌 武 進 松

昭和十五年五月

新發田より平に到る水準線の改測結果

浅間山を横ぎる水準線の改測結果

再び朝鮮數學に就て

關孝和手書の稿本

元の買亨の算法全能集に就て

概週期函數の零とならざることに就て

アーベル群の擬似幾何學に就て

連結されたるコンパクトなるアーベル群について

リー群の一パラメーターの部分群の微分可能性について

白金海綿の表面に於ける二酸化硫黄の重酸化による接觸酸化

リーマンの空間 $V_n$ 中の部分空間 $V_m$ 中の部分空間 $V_e$ の共形的性質について

ウロカニン酸の合成

數種の高麗の色素及之等に關係ある化合物の合成に就て

(紹介者 今村明恒)

會員

宮部直己  
藤原松三郎  
河田龍夫  
豊田浩七

(以上二件)

紹介者 藤原松三郎

連結されたるコンパクトなるアーベル群について

紹介者 高木貞治

リー群の一パラメーターの部分群の微分可能性について

紹介者 片山正夫

(以上二件)

紹介者 掛谷宗一

白金海綿の表面に於ける二酸化硫黄の重酸化による接觸酸化

紹介者 矢野健太郎

リーマンの空間 $V_n$ 中の部分空間 $V_m$ 中の部分空間 $V_e$ の共形的性質について

紹介者 小平邦彦

ウロカニン酸の合成

紹介者 小安平邦彦

數種の高麗の色素及之等に關係ある化合物の合成に就て

紹介者 黒田島

(以上二件)

紹介者 眞島利行

白金海綿の表面に於ける二酸化硫黄の重酸化による接觸酸化

紹介者 赤堀眞四郎

リーマンの空間 $V_n$ 中の部分空間 $V_m$ 中の部分空間 $V_e$ の共形的性質について

紹介者 於瀨武夫

ウロカニン酸の合成

紹介者 金瀨武夫

數種の高麗の色素及之等に關係ある化合物の合成に就て

紹介者 黒田島

$\beta$ -フェネチルピリヂニウム鹽に就て(第二報)

迷信の傳播に關する實驗的研究 (講演)

昭和十五年六月

ナマツの黒色素胞に對するアドレナリンの擴散海用について

ザウリムシに於ける纖毛運動の逆轉に就て

エメチン及び類似化合物の合成に關する研究 (豫報)

N- $\beta$ -フェネチル-3-カルボエトキシピリヂニウム鹽の酸化に就て

電波通信の急激なる消滅に附帶する磁氣變動

凝結濕度計の研究

氣體爆發の研究(其の一)酸水素熱爆發反應

水素原子より生じたる水素氣體のオルト-パラ組成 (第二報)

フォルミールフェナセチルトロペインの合成 (豫報)

共圓幾何學 一、共圓變換

伊豆島火山の新活動

迷信の傳播に就ての民族的的研究 (講演)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 姉崎正治)

(紹介者 谷津直秀)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

(紹介者 朝比奈泰彦)

昭和十五年七月

養老令に於ける算書三開、六章に就て  
フーリエ級数及びフーリエ變換式の理論の關係  
確率法則に於ける割算に就て  
演算子の一個パラメター群に就て

(以上三件)

紹介者 藤原松三郎

ヒノン類の痛原性に就て

會 員 長與又郎

太陽黒點最盛時の磁氣嵐と月の位相との關係  
間歇的現象の週期に就て

會 員 長岡半太郎

共形接續空間に於ける超曲面の理論に就て

會 員 藤原咲平

個別エルゴード定理の抽象化

會 員 矢野健太郎

單列環及び廣義の單列環小引

會 員 武野義夫

(3)型空間に於ける射影に就て

會 員 掛谷宗一

低温低壓に於ける酸化窒素と酸素との反應に  
對する水銀薄膜の觸媒能

會 員 高木貞治

キサントン類の一合成法

會 員 吉江琢兒

チトクロームの一新成分及び其作用に就て

會 員 眞島利行

日本苔蘚生育場所の酸性度

會 員 柴田桂太

高麗本の授時歴立成捷法中の「算法」に就て

會 員 池野成一郎

橢圓的、双曲線的及拋物線的共形微分幾何學を共通に論ずる方法

會 員 奥寺英次郎

橢圓的、双曲線的及拋物線的ラゲール微分幾何學の共同處理

會 員 朝比奈泰彦

二次元面積の概念に基く五次元計量空間の幾何學の基礎

會 員 平木洋三郎

K次元體積の概念に基くN次元計量空間の幾何學の基礎

會 員 佐々木申二

偏微分方程式系の幾何學の眞實理論

會 員 朝比奈泰彦

葡萄糖及果糖の交換反應及變旋光

會 員 須鶴三郎

「ルベク」の密度定理の逆

會 員 藤原松三郎

共圓幾何學 I  $MI = \frac{1}{2} MI'$  の積分條件

會 員 藤原松三郎

エチル・アルコールより光化學的一次發生の分子狀水素のバラ・オルト組成

會 員 藤原松三郎

蒸發により結晶面上に作られたる銀薄膜の構造に就て

會 員 藤原松三郎

閃亜鉛鍍の表面酸化の陰極線研究

會 員 藤原松三郎

(以上三件)

紹介者 西川正治

コルキシン處理に依り單爲生殖的に生じたるコマユバチの雌

前胸腺の移植により家蠶の蛹化誘導  
家蠶に於ける脱皮並に蛹化のホルモン支配  
蠶卵及蠶兒のエタノール蒸氣に對する抵抗力

(以上四件 紹介者 谷津直秀)

シノメニンより右旋デヒドロ・コデイン及右旋デヒドロ  
モルフィンの形成

レスヴェラトロール及其誘導體の合成  
ラボンチゲニン(ボンチゲニン)の構造に就て

(以上三件 紹介者 眞島利行)

血液アルカリ豫備と唾液の水素イオン濃度との相關性に  
就て

(紹介者 稲田龍吉)

ブーリング氏の問題に就て

一般ゼタフックシヤン函数について  
ポアンカレ空間の擴張  
スベクトルの理論について

單純系に關する注意

(以上四件 紹介者 高木貞治)

海流々速の絶対計算法  
海流々速の實地計算

(以上二件 紹介者 藤原咲平)

レントゲン處理に依るイネ發芽及生長の生態學的物理學的觀察 第一發芽實驗  
同第二 栽培實驗  
同第三 此等實驗に於けるレントゲン作用の一般論

(以上三件 紹介者 池野成一郎)

昭和十五年十一月

受精による魚卵容積の變化

(紹介者 谷津直秀)

チベンツオピリドコリン誘導體の合成研究(第四報)

(紹介者 朝比奈泰彦)

半順序代数

(紹介者 高木貞治)

4-チメチール4-チメチールアミノアツオベルツォー  
ル及其他ポリメチール誘導體を以ての白鼠飼養實驗

會 員

硅藻土及オルトアミノアツオトルオール併用皮下注射  
に因る白鼠肉腫の實驗的成生

(紹介者 掛谷宗一)

共圓幾何學 III 曲線論

回轉薄板の振動及音響  
(プロペラーフラッターの音響のモデル)

昭和十五年七月十二日三宅島噴火に伴へる地磁氣の變化  
昭和十六年九月二十一日の日食に於る上層大氣電離層に  
於る微粒子日食に就て

- 小室 英夫
- 山本 時男
- 普澤 國重
- 兒玉 垣
- 中野 秀五郎
- 佐々木 直隆
- 長尾 英之助
- 佐々木 直隆
- 長尾 英之助
- 大塚 直隆
- 矢野 健太郎
- 小幡 重平
- 吉田 康雄
- 加藤 愛雄
- 佐藤 隆夫

昭和十六年九月二十一日に日食に於る上層大氣電離層に於る紫外線日食に就て

(以上四件)

花蒲の花色素に就て

紹介者 田中館愛橘

地殻均衡と地震最大エネルギー

紹介者 柴田桂太

生物電氣現象の研究補遺

紹介者 長岡半太郎

十七條憲法の條章と三經義疏との参照(講演三十分)

紹介者 三浦謹之助

昭和十五年十二月

家蠶體液の還元力 第三報

紹介者 谷津直秀

體液黒化及びフェノール類量の變化

錦州省羊山より發見されたる白堊紀(?)恐龍の足痕化石

會 員

滿洲國のデボン紀化石の一產地

會 員

レヴナー氏の一定理に就て

共圓幾何學 IV 曲面論

(以上二件)

紹介者 掛谷宗一

( $Ra+Fe$ )より放出せられる中性子の水中に於ける遅緩に就て

紹介者 大幸勇吉

エタノール、一重水及エタノール及六重水素エタノールのラマン効果

紹介者 片山正夫

佐藤 隆夫

林 孝三

坪井 忠二

勝沼 精一

石森 賢治

矢部 長一

矢部 長一

鹿間 時夫

小松 勇作

矢野 健太郎

萩原 篤太郎

水嶋 三英

水嶋 三英

北里 又三

中村 俊文

會 員

藤原松三郎

泉 信一

泉 信一

中村 信正

豊田 浩七

淺野 啓三

中山 正三

中山 正三

河田 敬義

泉 信一

中村 信正

藤原松三郎

藤原松三郎

原田 敏明

小松 勇作

小平 邦彦

(以上二件)

紹介者 藤原松三郎

(以上二件)

紹介者 藤原松三郎

(以上三件)

紹介者 高木貞治

(以上二件)

紹介者 藤原松三郎

(以上三件)

紹介者 高木貞治

(以上二件)

紹介者 藤原松三郎

(以上三件)

紹介者 高木貞治

(以上二件)

紹介者 藤原松三郎

(以上三件)

紹介者 高木貞治

(以上二件)

紹介者 藤原松三郎

(以上三件)

紹介者 高木貞治

朝鮮算書默思集算法に就て  
桐陵算法と銅陵算法に就て  
圓幾何の格子理論的基礎附けに就て  
抽象積分に就て 第三報  
アーベル群の一次函數について  
部分體に於ける整數論に關する一注意  
歪體の正規底  
フェルバンド及乘法系の一意的表現について

昭和十六年一月  
抽象積分に就て 第四報  
一般のラツチヌに於ける閉鎖  
飛歸除法について  
農村祭祀に於ける神の形態(講演)  
裂けたる範圍の等角描寫に就て  
測度確定の寫像群について

一つの共線變換と交換可能なる共線變換について

(以上二件)

紹介者 高木貞治

黒崎千代子

擬凸領域に就て

(紹介者 藤原松三郎)

岡 潔

昭和十六年二月

イオン顕微鏡

(紹介者 大幸勇吉)

佐々木 雄二

宮古島産象化石の層位に就て

(紹介者 加藤武夫)

大塚 彌之助

西曆千九百三十六年より千九百三十九年迄の四ヶ年に互

り北緯萬國共同観測所に於て観測せる緯度變化の結果

會 員 木 村 榮

に就て

チトクロームαの分離及其性状

(紹介者 柴田桂天)

藥師 寺英次郎

無水酸の分解によりて起るベンタメチルシアニン類の新

合成法に就て

(紹介者 眞島利行)

木 村 恒 行

被子植物に於ける染色體數の表 第七

(紹介者 池野成一郎)

杉 浦 寅之助

昭和十六年三月

エゾアカガヘルの幼生に對する過マンガン酸カリの影響 (紹介者 谷津直秀)

堀 江 秀 光

カリウム原子と種々なる氣體との作用半徑の測定

(紹介者 眞島利行)

佐々木 熊三郎

分子の方位と水素分子の衝擊による分解確率 第三報

(以上二件 紹介者 大幸勇吉)

佐々木 常 世二

生物地理學より見たる宮古島の非海棲軟體動物群  
解析函數の周値  
パリロンの定理と超越特異點に就て

(以上二件)

紹介者 掛谷宗一

大塚 彌之助

正則に凸なる集合について

(紹介者 加藤武夫)

津 村 善 郎

左右のイデヤルのラツチスが逆同型なる代数

(紹介者 高木貞治)

吉 田 政 耕

特殊射影群の單純性について

(以上三件)

紹介者 高木貞治

岩 澤 健 吉

昭和十六年四月

鐵單結晶の極めて低き磁場に於ける磁化  
ヂベンツオピロコリン誘導體の合成研究 (第一報)  
4.5.5.4.1.5.1.テトラメトキシ.3.8.4.4.7.1.テトラ  
ヒドロ.1.2.1.2.5.6.1.1.2.1.チベンツオ  
ピロコリン)の合成

(紹介者 本多光太郎)

清 水 與 三 松

本邦に於けるエンクリニユルスの新發見

(紹介者 朝比奈泰彦)

赤 塚 謙 美 彦

阿波國櫻谷地域の鱗片構造に就て

(紹介者 矢部長克)

杉 山 敏 郎

建部賢弘の孤率に就て

(紹介者 加藤武夫)

小 林 由 貞 一

標準共形接續空間の理論とリーマン空間の共形幾何學

會 員

藤 原 松 三 郎

アインアルチヒなる環に於ける共通分定理について

(紹介者 掛谷宗一)

矢 野 健 太 郎



昭和十六年五月

ニクワメイガの複眼の色素移動を起さすスペクトル範囲に就て  
周波数二一七サイクルの可聴音に對するアカイヘカの反應に定て

(以上二件 紹介者 安藤廣太郎)

細胞内注射によるウニ卵の受精膜上舉

移植法によるミミズ再生の研究

(一) 神経系の影響

移植法によるミミズ再生の研究

(二) 體壁の分化

(以上三件 紹介者 谷津直秀)

支那東部雲南省産一新ストロマトポロイド

一次測度の零なる眞性特異點集合をもつ函數の除外値  
單位を有するベクトル束について

(紹介者 掛谷宗一)

環狀數體の類群の構造の類體論的解釋

交換環に於ける分解律の一つの必要なる條件

交換環に於ける分解律の一つの充分なる條件

(以上四件 紹介者 高木貞治)

八木政誠  
八木誠三  
田口柳三郎

鎌田武雄  
川岡上田逸  
川岡上田逸

矢部敏長  
杉山俊司  
龜谷耕作  
吉田榮次  
稻葉耕次  
小守屋美賀  
小守屋美賀

昭和十六年六月

強磁性結晶の磁化の機構

新發見の珍らしき着生櫛水母

會員 本多光太郎  
谷津直秀 駒井卓

橢圓、拋物線及双曲線的共形平面に於ける曲線及 Horn

橢圓、拋物線、双曲線的不變式、積分不變式の通論

橢圓、拋物線、双曲線的共形平面に於ける曲線の同値問題の通論

橢圓、拋物線、双曲線的ラゲール平面に於ける曲線の同値問題の通論

或るn次元河口空間に於ける封稱接続

二次の或る特殊河口空間に於ける曲線に浴ぶ計量接続に就て

(以上五件 紹介者 藤原松三郎)

關孝和直後に於ける角術の發展

三波川系中にジュラ紀放散蟲を含む燧岩の産出を期待し得ず

(以上二件 紹介者 加藤武夫)

斜方輝石族の光軸の分散に就て

ファイリツピン群島ミンドロ島スマグイ層の單體珊瑚

會員 矢部敏長  
江口元克  
今村明恒

昭和十四年男鹿地震に伴へる陸地變形(十五分)

重鹽酸中に於けるスチロールの二分子重合

(紹介者 片山正夫)  
千田統利  
吉田一三

磁化に伴ふ熱現象に就て

ジャバ新第三紀層の單體珊瑚に就て

一、五ナフチリチン誘導體の合成

新チトクロームC<sub>1</sub>の性状及分布

(以上二件)

柴田桂太

一次函數の公理に就て

紹介者

本

多光太郎

酵母ニユークレイン酸のビタミンL<sub>2</sub>としての作用に就て

紹介者

豊

田浩七

ヴェクトル束と加法的集合函數

紹介者

中

原和郎

一般フツクス群の理論に關する注意

紹介者

吉

田耕一作

(以上二件)

高木貞治

猿に於ける實驗的3-アミノヒドロカルボスチリル中毒に就て

紹介者

和

氣巖

フルオレン、インデン等の著色反應に就て

紹介者

佐々木

隆興

眞空放電管に發生する極超短波

紹介者

長岡

半太郎

磁氣嵐に現はるゝ急激變動の誘導磁力計に依る觀測

紹介者

小松

崎均

昭和十六年十月

Cu-Sb-Ni三元系の状態圖の研究 第一報

右三元系に於ける液相固相間の平衡

同上

右三元系に於ける固相平衡

トマトのリングモザイク、ピルスの化學的研究 第一報

結晶狀トマトリングモザイク、ピルス蛋白の分離に就て

7・ヒドロキシ・チヒドロ・コデイン及7・ヒドロキシ・チヒドロ・チノールの製造及シノメニンより兩者の右

旋形の製法に就て

甲殼類に於けるカーボニク、アンハイドレシスの分布

カーボニク、アンハイドレシスは甲殼類脱皮時に於けるカルシウム移動の原因となるか

超越特異點の近傍に於ける有理型函數の狀況に就て

有理型函數に關するピカール、ネパンリンナ氏の定理の擴張

功力氏の問題に就て

共形的なる弧の長さに就て

(以上二件)

紹介者 本多光太郎

(以上二件)

紹介者 鈴木梅太郎

(以上二件)

紹介者 谷津直秀

(以上四件)

紹介者 掛谷宗一

柴田 仁 作

柴田 仁 作

北川 根 松 之 助

阿久 根 松 之 助

後藤 井 達 格 雄 次

沼野 井 春 雄

沼野 井 春 雄

遠木 幸 成

功力 金 二 郎

津村 善 郎

矢野 健 義 太 郎

武野 健 義 太 郎

橢圓的、双曲的及拋物線的共形微分幾何學の統一理論  
橢圓的、双曲的及拋物線的ラゲール微分幾何學の統一理論  
二元複素變數の函數の統一理論

(以上四件 紹介者 藤原松三郎)

建部賢弘の著と考へらるゝ算曆雜考に就て  
田中由眞の寄收約術に就て

會員 藤原松三郎

反應速度熱解析によるコロイド觸媒作用の研究  
白金ゾルの組成とその接觸作用

(紹介者 大幸勇吉)

水渡英二

一般代數的系に就て  
環の元素に關する注意

(紹介者 大幸勇吉)

正田建次郎

半順線形距離空間に就て  
位相空間に於ける連續函數の全體に就て  
一般C空間の特徴付けに就て

(以上五件 紹介者 高木貞治)

中野秀五郎

日本産アウロポラ狀珊瑚の一新屬

種を一酸化炭素ガスにさらす爲め惹起される刺戟  
或る生長物質で芽生や種を處分しての好結果  
日本産苔類の染色體に就て

(以上三件 紹介者 池野成一郎)

矢野山部長克  
野井邦彦  
野口彌太郎  
菅原友誠  
辰野誠次  
佐佐木信綱

古鈔萬葉集十五種の印行に就て(十五分)

昭和十六年十一月

群の表現のクロネッカー積について

完全體の有限分離代數的擴張の成る性質

(以上二件 紹介者 高木貞治)

大島美智雄  
守屋美智雄

フィリッピン群島セブ島産アストレオポラ科一新化石珊瑚

チベントイソンドリチン誘導體の合成研究 (第二報)

有理型函數の逆函數の眞性特異點に於ける狀態に就て

日本の無機酸性水域に於ける植物群落の生態學的研究

昭和十六年十二月

ブツデ效果の熱解析に依る自由原子再結合反應の研究  
(1)水素原子の再結合

受精卵より生じたる三倍數の蛙

活動してゐる皺曲構造

デスモセラチネー亞科に屬する日本白堊系産菊石類化石に就て

眞性特異點の計量が零なる函數の除外値

パッフ氏の式に關する二三の法則と其應用

K次元面素の集合體に於けるパッフ氏の式に關する法則

共形接續空間に於ける一般化されたるロクソドロームに就て

(以上四件 紹介者 掛谷宗一)

志田正二  
川村智治郎  
大塚彌之助  
松本達郎  
龜谷俊司  
穂刈四三二  
穂刈四三二  
武野健太郎

dl-1-C-1ノルノエメチン(パイマン)の合成に就て

(紹介者 朝比奈泰彦)

菅井重彦

エフエドリン及關聯化合物の一新生成反應

(紹介者 眞島利行)

赤堀嘉四郎

單位を有するヴェクトル束に就て (第二報)

一般化されたるシュワルツの豫備定理

(紹介者 眞島利行)

菅原耕作

一般ポアンカレ空間に於ける變位の解析的特徴付け

(以上三件 紹介者 高木貞治)

森田正夫

正測度の平面點集合の性質に就て

重複素變數函數の統一的理論 第二

(紹介者 高木貞治)

高須鶴三郎

有理型函數の逆函數の超越超越特異點に於ける模様 に就て 第二

ポテンシャル論に於ける最大値原理に就て

(以上四件 紹介者 吉江琢兒)

吉田洋一

(+)1チヒドロコデイン及(+)1チヒドロモルフィンの生理作用に就て

カーボリガーゼの存在に關する問題に就て

(以上二件 紹介者 鈴木梅太郎)

後藤格次

宗教的修行 特に出羽三山に於ける山岳修行 (講演)

蘭領ニューギニアナビレ層産出の上部所生代造礁珊瑚化石

(紹介者 姉崎正治)

富安行雄

昭和十七年一月

蘭領ニューギニアナビレ層産出の上部所生代造礁珊瑚化石

(紹介者 姉崎正治)

岸本英夫

東式賦序の群に就て

チスクレート賦値の完全體上の除法アルゲブラの構造

(以上三件 紹介者 高木貞治)

矢山敏郎

一般フックス群の基礎領域に就て

レプナー補助定理の川上氏による擴張に關する一觀察

(紹介者 掛谷宗一)

菅原正夫

被子植物染色體數の表

方丈記と支那文學との關係に就ての研究

(紹介者 池野成一郎)

魚谷俊正

白樂天詩文との關係 (報告講演)

主として

(紹介者 辻善之助)

金子彦二郎

昭和十七年二月

オキシナフトキノロン類の性質に就て

海膽棘の色素に就て

(以上二件 紹介者 眞島利行)

黒田チカ

乳癌の自然發生に關する實驗的研究 (豫報)

抽象積分 第五報

(紹介者 佐々木隆興)

黒田チカ

抽象積分 第六報

抽象積分 第七報

(以上四件 紹介者 藤原松三郎)

黒田チカ

集合の構造に就て

(以上四件 紹介者 藤原松三郎)

黒田チカ

集合の構造に就て

(以上四件 紹介者 藤原松三郎)

黒田チカ

集合の構造に就て

(以上四件 紹介者 藤原松三郎)

黒田チカ

集合の構造に就て

(以上四件 紹介者 藤原松三郎)

黒田チカ

集合の構造に就て

(以上四件 紹介者 藤原松三郎)

黒田チカ

集合の構造に就て

(以上四件 紹介者 藤原松三郎)

黒田チカ

集合の構造に就て

(以上四件 紹介者 藤原松三郎)

黒田チカ

集合の構造に就て

(以上四件 紹介者 藤原松三郎)

黒田チカ

集合の構造に就て

(以上四件 紹介者 藤原松三郎)

黒田チカ

集合の構造に就て

(以上四件 紹介者 藤原松三郎)

黒田チカ

集合の構造に就て

(以上四件 紹介者 藤原松三郎)

黒田チカ

- 銅陵算法に就て
- H群の誘導能力に就て
- πオキソカンフルのベルオキシダーゼ様作用に就て
- 第二報
- ケシの花梗屈曲につき或る化學的成長素の効果
- ワタの花粉人工發芽の一新法
- ツルギトコムギ及ライムギ雜種第一代及普通コムギの三
- 重雜種研究
- 硅藻の生長を促進する成分としての無機硫化物
- サフラン屬染色體數の表
- (以上五件 紹介者 池野成一郎)
- チスクレイトなる完全體上のアルゲブラの類の群に就て
- チスクレイトなる完全體上の局所類體論 第一報
- (以上二件 紹介者 高木貞治)
- 高知縣高岡郡大桐村横倉山に於ける合化石ゴドランド紀層に就て
- (紹介者 矢部長克)
- 東亞中生代植物群の氣候的變化
- 晋代の遼東 (講演)
- 諸曲に見える艸木國土成佛の理想と日本神國の觀念 (講演)
- 維新前の憲法草案 (講演)
- (紹介者 加藤正治)
- 會 員 藤原松三郎
- 山田常雄
- 石館守三
- 菅原友太
- 二日市貞昌
- 中島吾一
- 松平近義
- 唐澤光太郎
- 守屋美賀雄
- 守屋美賀雄
- 守屋美賀雄
- 矢部長克
- 杉山敏一郎
- 小林貞一
- 池内宏
- 姊崎正治
- 尾佐竹猛

昭和十七年三月

- 電離層の電子發生數の時率
- バナハ空間論其一、抽象函數の微分
- バナハ空間論其二、アーベル半群のエルゴード定理
- (以上二件 紹介者 藤原松三郎)
- 有理型函數の逆函數の其の超越特異點に於ける模様
- 第三
- 單位圓内部にて正則なる函數の或る性質
- (以上二件 紹介者 吉江琢兒)
- 御觸書集成に就て (講演)
- コテイン沃度メチラート及Iプロロム、シノメネイン沃
- 土メチラートのアルカリ分解に就て
- (紹介者 美濃部達吉)
- (紹介者 鈴木梅太郎)
- 會 員 長岡半太郎
- 泉信一
- 中村正弘
- 辻正次
- 清水辰次郎
- 石井良助
- 後藤格次

### 第二十七 授賞事項及受賞者

明治四十四年七月五日

恩賜賞 第一號 地軸變動の研究特にZ項の發見 理學博士 木村 榮

明治四十五年五月十二日

恩賜賞 第二號

授賞事項及受賞者

佛文日清戰役國際法論及佛文日露陸戰國際法論

文學博士

有賀長雄

同 第三號 日本醫學史

富士川游

同 第四號 公孫樹の精蟲の發見

平瀬作五郎

同 第五號 蘇鐵の精蟲の發見

理學博士

池野成一郎

帝國學士院賞 第一號 アドレナリンの發見

工學博士

高峰讓吉

大正二年七月五日

恩賜賞 第六號 續日本後紀纂詰

醫學博士

村岡長弼

同 第七號 腦神經起首の研究

醫學博士

上坂熊勝

帝國學士院賞 第二號 外部寄生性吸蟲類の研究

理學博士

五島清太郎

同 第三號 軍艦の設計殊に巡洋戰艦の設計

近藤基樹

大正三年七月五日

恩賜賞 第八號

醫學博士

田原淳

哺乳動物の心臟に於ける刺戟傳導筋系統の研究

竹添進一郎

帝國學士院賞 第四號 左氏會箋

同 第五號 「岩石の力學的研究」

理學博士

日下部四郎太

大正四年七月五日

恩賜賞 第九號 スピロヘータパリーダノ研究

醫學博士

野口英世

帝國學士院賞 第六號 雲養集

子爵

金允植

同 第七號 蠶の遺傳研究

農學博士

外山龜太郎

大正五年七月二日

恩賜賞 第十號 假名に關する研究

文學博士

大矢透

同 第十一號 周公と其時代

文學博士

林泰輔

同 第十二、十三號

黃疸出血性スピロヘータ病に關する共同研究

醫學博士

稲田龍吉

帝國學士院賞 第八、九、十、十一號

工學博士

鳥井恒太郎

無線電信電話に使用する電氣振動間隙と關する研究

理學博士

北村政次郎

同 第十二號 鐵に關する研究

理學博士

本多光太郎

大正六年七月一日

恩賜賞 第十四號 月本歌學史及和歌史の研究

文學博士 佐佐木信綱

同 第十五號

ラウエ映畫の實驗方法及其説明に關する研究

理學博士 寺田寅彦

帝國學士院賞 第十三號 漆の主成分に關する研究

理學博士 眞島利行

同 第十四號

スピネルの原子配置並に歪を受けたる物體のレントシエン線検査に關する研究

理學博士 西川正治

大正七年五月十二日

恩賜賞 第十六號 宸記集及皇室御撰解題

和田英松

同 第十七號 印度六派哲學

木村泰賢

同 第十八號 植物界に於けるフラヴォン體の研究

理學博士 柴田桂太

帝國學士院賞 第十五、十六號

日本住血吸蟲病の研究

醫學博士 桂田富士郎  
醫學博士 藤浪鑑

桂公傳記念賞 第一號 日本經濟叢書

法學博士 瀧本誠一

大正八年五月二十五日

恩賜賞 第十九號

相對性原理萬有引力論及量子論の研究

理學博士 石原純

帝國學士院賞 第十七號 漢字の研究(古籀篇)

高田忠周

同 第十八、十九號 癌腫の人工的發生の研究

醫學博士 山極勝三郎  
獸醫學博士 市川厚一郎

同 第二十號

滿俺青銅其他の銅合金及鑄鐵の鑄造に關する研究

石川登喜治

大正九年四月三十日

恩賜賞 第二十號 法制史之研究

文學博士 三浦周行

同 第二十一號 脂油の研究

工學博士 辻本滿丸

帝國學士院賞 第二十一號 密教發達志

大村西崖

同 第二十二號 音の異常傳播の研究

理學博士 藤原咲平

桂公傳記念賞 第二號 臺灣植物の研究

理學博士 早田文藏

大正十年五月二十二日

恩賜賞 第二十二號 日本佛教史之研究

文學博士 辻 善之助

同 第二十三號 腦の解剖的研究

醫學博士 布施現之助

帝國學士院賞 第二十三號 クモヒトデの研究

理學博士 松本彦七郎

同 第二十四號 日本刀の研究

工學博士 俵 國一

桂公爵記念賞 第三號 河豚の毒素の研究

藥學博士 田原 良純

大正十一年五月二十一日

恩賜賞 第二十四、二十五號 スタルク效果の共同研究

〔理學博士 高嶺 俊夫  
同 吉田 卯三郎

帝國學士院賞 第二十五號 生體染色法に就ての研究

醫學博士 清野 謙次

同 第二十六號 傳動軸の振れ計の研究

工學博士 末廣 恭二

大正十二年五月二十七日

恩賜賞 第二十六號 近世日本國民史

德富猪一郎

同 第二十七號 本朝文粹註譯

柿村 重松

同 第二十八號 漢藥成分の化學的研究

藥學博士 朝比奈 泰彦

同 第二十九號 放射線に關する化學的研究

理學博士 木下 季吉

大正十三年六月八日

恩賜賞 第三十號 長慶天皇御即位の研究

文學博士 八代 國治

同 第三十一號

蛋白質及之を構成するアミノ酸の細菌に因る分解とアミノ酸の合成に關する研究

醫學博士 佐々木 隆興

帝國學士院賞 第二十七號

貨幣と價值並に經濟法則の論理的性質

法學博士 左右田 喜一郎

同 第二十八號 類脂肪體の研究

醫學博士 川村 麟也

同 第二十九、三十號 副榮養素の研究

〔農學博士 鈴木 梅太郎  
高橋 克己

桂公爵記念賞 第四號 大日本金石史

木崎 愛吉

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第一號  
東京日日新聞

和鏡聚英續和鏡聚英

廣瀬 治兵衛

同 第二號 放射線の研究に使用する膨脹器の研究

清水 武雄



同 第三號

神經組織の炭酸發生並に炭酸の微量測定法の研究

醫學博士 田代四郎助

大正十四年五月三十一日

恩賜賞 第三十二號 三階教の研究

文學博士 矢吹慶輝

同 第三十三號 構造物の振動殊に其の耐震性の研究

工學博士 物部長穂

帝國學士院賞 第三十一號 白鼠に關する研究

畑井新喜司

大阪毎日新聞寄附東宮御成婚記念賞 第四號

氣體の磁氣係數の測定

理學博士 曾禰武

大正十五年五月十六日

恩賜賞 第三十四號 日本紋章學

沼田頼輔

同 第三十五號

中國地方の古生層並に中生層の層位學上の研究

理學博士 小澤儀明

帝國學士院賞 第三十二號

メシア思想を中心としたるイスラエル宗教文化史

文學博士 石橋智信

同 第三十三號 宋末の提舉市舶西城人蒲壽庚の事蹟

文學博士 桑原隲藏

同 第三十四號 元良式船舶動搖制止装置の研究

工學博士 元良信太郎

同 第三十五號 オキシダーゼの組織學的研究

醫學博士 勝沼精藏

同 第三十六號 水銀避雷器の研究

工學博士 密田良太郎

大阪毎日新聞寄附東宮御成婚記念賞 第五號

熱秤分析法の研究

工學博士 齋藤平吉

同 第六、第七號

ヴァイタミンB 缺乏症の實驗的研究

〔醫學博士〕 島方順三郎

同 第八號 數種の日本産植物に關する生物化學的研究

理學博士 小松茂

昭和二年五月二十日

恩賜賞 第三十六號

唐宋時代に於ける金銀の研究（但し其の貨幣的機能を中心として）

文學博士 加藤繁

同 第三十七號 金屬錯鹽の分光化學的研究  
帝國學士院賞 第三十七號

神經に於ける不滅傳導に關する研究

同 第三十八號

本邦石油の成分並に應用に關する研究

桂公爵記念賞 第五號 朝鮮植物の研究

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第九號  
東京日日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第九號

特殊鋼の物理冶金學的研究

同 第十號 微毒の起源に就ての研究

昭和三年四月十四日

恩賜賞 第三十八號 租稅研究

同 第三十九號

聯立積分方程式及び之に關聯せる函數論的研究

帝國學士院賞 第三十九號 日本歌謠史

理學博士 柴田雄次

醫學博士 加藤元一

工學博士 田中芳雄

理學博士 中井猛之進

理學博士 村上武次郎

醫學博士 土肥慶藏

法學博士 神戸正雄

理學博士 掛谷宗一

文學博士 高野辰之

同 第四十號 高速度艦船に關する研究

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第十一號  
東京日日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第十一號

本邦産植物に含まるゝ數種のアルカロイドに關する研究

昭和四年四月二十六日

恩賜賞 第四十號

地球及地殼の剛性並に地震動に關する研究

帝國學士院賞 第四十一號 極東颶風論

同 第四十二號 東洋音樂の研究

桂公爵記念賞 第六號 日本甲冑の新研究

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第十二、十三、十四、十五號  
東京日日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第十二、十三、十四、十五號

鼠咬症の研究

工學博士 平賀讓

藥學博士 近藤平三郎

理學博士 志田順

理學博士 堀口由巳

田邊尚雄  
山上八郎

醫學博士 高木謙  
同 同 木口眞  
同 同 大谷角眞  
同 同 二木八

同 第十六、十七號 鼠咬症の實驗的研究

〔醫學博士 石原喜久太郎  
同 太田原豊一

昭和五年五月十五日

恩賜賞 第四十一號 日本人の動脈系統

醫學博士 足立文太郎

帝國學士院賞 第四十三號

瀬戸内海の潮汐及潮流に關する研究

理學博士 小倉伸吉

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第十八號

小惑星の發見

及川奧一郎

昭和六年五月十四日

恩賜賞 第四十二號

地震波の生成傳播其他に關する理論的研究

工學博士 妹澤克惟

帝國學士院賞 第四十四號 印度哲學研究(全六卷)

文學博士 宇井伯壽

同 第四十五號

強磁性元素及び其の合金の物理冶金學的研究

理學博士 増本量

同 第四十六號 日本に於ける膽石症

醫學博士 三宅速

昭和七年五月十日

恩賜賞 第四十三號 アイヌ 敘事詩 ユーカラの研究

金田一京助

同 第四十四號 深處に發生せる地震に關する研究

理學博士 和達清夫

帝國學士院賞 第四十七號

本邦乳兒に於て屢々見らるゝ腦膜炎様病症の原因に就て

醫學博士 平井毓太郎

同 第四十八號 メダカ體色遺傳の研究

會田龍雄

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第十九號

重力偏差及岩石磁性に關する地球物理學的研究

理學博士 松山基範

同 第二十號 超短波長電波の研究

工學博士 宇田新太郎

メンデシホル記念賞 第一號

電子の廻折に關する研究

菊池正士

昭和八年五月十一日

恩賜賞 第四十五號 光彈性の研究

工學博士 辻二郎

同 第四十六號

脂肪酸及之を含有する生物體成分の研究

帝國學士院賞 第四十九號 地動計測に關する研究

農學博士 鈴木文助  
理學博士 石本巳四雄

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第二十一號

壺狀菌類の生活史に關する研究

理學博士 草野俊助

同 第二十二號 小口氏病の研究

醫學博士 小口忠太

同 第二十三號

トリプトファインの中間代謝に就ての研究

醫學博士 古武彌四郎

同 第二十四號 生薑の辛味成分の研究

理學博士 野村博

昭和九年五月十一日

恩賜賞 第四十七號 唐令拾遺

仁井田陸

同 第四十八號 火成岩の成因に關する研究

理學博士 坪井誠太郎

帝國學士院賞 第五十號 耐火物に關する研究

理學博士 田所芳秋

同 第五十一號 細胞の銀反應に就ての研究

醫學博士 今裕

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第二十五號

湖海の水盆の振動及海流に關する海洋物理學的研究

理學博士 日高孝次

同 第二十六號

デリス根の有効成分ロテノインの化學的構造に關する研究

農學博士 武居三吉

同 第二十七號 日本漆器の研究

澤口悟一

昭和十年五月十三日

恩賜賞 第四十九號 郷歌及び吏讀の研究

文學博士 小倉進平

同 第五十號 聖德太子御製法華義疏の研究

花山信勝

帝國學士院賞 第五十二號

鐵炭素系合金の比熱及び其の諸相の變化に伴ふ熱量に關する研究

理學博士 海野三郎

昭和十一年六月一日

恩賜賞 第五十一號 原語による臺灣高砂族傳説集

小川尙義

同 第五十二號、五十三號

o-Amidogotoluiol の經口的投與による肝臟癌成生の實驗的研究

醫學博士 佐々木隆興  
吉田富三

帝國學士院賞 第五十三號

臺灣高砂族系統所屬の研究

移川子之藏

大阪毎日新聞寄附東宮御成婚記念賞 第二十八號

日本上代の甲冑

末永雅雄

同 第二十九號 胎生化學に就ての研究

醫學博士 富田雅次

同 第三十號 インドール誘導體の合成的研究

理學博士 星野敏雄

同 第三十一號

地衣脂肪酸並にブルグイン酸系色素に關する研究

藥學博士 淺野三千三

昭和十二年五月十三日

恩賜賞 第五十四號 化學反應速度の熱解析

理學博士 堀場信吉

同 第五十五號 寫真電送装置に關する研究

工學博士 丹羽保次郎

伯爵鹿島萩磨記念賞 第一號

南洋委任統治領フロラの研究

林學博士 金平亮三

昭和十三年五月十三日

帝國學士院賞 第五十四號

有機化合物の双極子説の實驗的證明及び之れと分子構造との關係に就ての研究

理學博士 水島三一郎

大阪毎日新聞寄附東宮御成婚記念賞 第三十二號

サボゲニンの構造に關する研究

理學博士 北里善次郎

同 第三十三號

膽汁酸の化學的及生理學的研究

醫學博士 清水多榮

・メンデンホール記念賞 第二號

光波長を規準とする基線測定に關する研究

渡邊襄

昭和十四年五月十一日

恩賜賞 第五十六號 石門心學史之研究

石川謙

同 第五十七號 脊髓副交感神經に關する研究

醫學博士 吳建

帝國學士院賞 第五十五號 日本文學評論史

文學博士 久松潛一

同 第五十六號 抽象空間の研究

功力金二郎

大阪毎日新聞寄附東宮御成婚記念賞 第三十四號

古活字版之研究

昭和十五年五月十四日

恩賜賞 第五十八號 能樂源流考

同 第五十九號

素粒子間の相互作用に關する理論的研究並に宇宙線中の新粒子メソトロン存在に對する豫言

同 第六十號

化學反應速度論の理論及實驗的研究

帝國學士院賞 第五十七號 兵器考

同 第五十八號 柿本人麿

同 第五十九號 俳文學考說

同 第六十號 建築々料の合成に關する研究

同 第六十一號 鑄鐵の研究

昭和十六年五月十三日

川瀨 一馬

能勢 朝次

理學博士 湯川 秀樹

理學博士 堀内 壽郎

工學博士 有坂 紹藏

醫學博士 齋藤 茂吉

石田 元季

工學博士 牧 銳夫

理學博士 菊田 多利男

恩賜賞 第六十一號 燉煌畫ノ研究・圖像篇

同 第六十二號 磁電管ニ關スル研究

同 第六十三號 人體發汗ノ研究

帝國學士院賞 第六十二號 南洋日本町ノ研究

同 第六十三號 色神及色盲ニ關スル研究

同 第六十四號 感光色素合成ニ關スル研究

同 第六十五號 雪ニ關スル研究

昭和十七年五月十三日

恩賜賞 第六十四號 マライシヤに於ける稻米儀禮

帝國學士院賞 第六十七號 強磁性結晶體の磁氣的研究

文學博士 松本 榮一

工學博士 岡部 金治郎

醫學博士 久野 寧

岩生 成一

醫學博士 石原 忍

理學博士 尾形 輝太郎

理學博士 中谷 宇吉郎

文學博士 宇野 圓空

理學博士 茅 誠司

### 第二十八 學術研究費補助及研究事項

自昭和十五年(自明治四十一年略之)至同十七年度(至昭和十四年略之)

皇室御下賜金ノ一部及其ノ他ノ寄附金並ニ同利子等ヲ以テ本院ヨリ

學術研究費補助及研究事項

研究費ヲ補助スルモノニシテソノ規約左ノ如シ

一、研究費補助ハ本院會員タルト否トニ拘ラス一般ニ之ヲ與フ但シ會員ニ非サル者ノ場合ニ於テハ會員又ハ官公私立大學ノ總長若クハ學長ノ推薦ニ依ル

一、研究費補助ノ推薦書ニハ研究者ノ氏名及職名、研究題目、研究事項ノ概要、所要ノ補助金額及其用途細目ヲ明記シ且ツ審査上參考トナルヘキ研究事項ノ論文等ヲ添附スヘシ

一、既ニ研究費補助ヲ受ケタル者ニシテ之カ繼續ヲ要スル場合ニハ其旨ヲ記シ補助ヲ受ケタル研究ノ經過報告及右ニ關スル研究論文等アラハ共ニ推薦書ニ添ヘテ前推薦者經由ノ上毎年新ニ提出スヘシ

一、特別ノ場合ヲ除ク外研究費補助ハ三ヶ年以上ニ互ルコトヲ得ス

一、研究費ノ補助ヲ受ケタル者ハ繼續補助ノ要否ニ拘ラス其年十一月末日迄ニ必ス研究ノ經過報告概要ヲ提出スヘシ

一、研究結了後ハ直ニ其成績報告ヲ提出スルコトヲ要ス

一、前二項ノ報告以外ニ重要ナル學術業績ノ概要ヲ隨時本院總會ニ於テ發表スヘシ 但シ此場合ニハ本院會員ノ紹介ヲ要シ且ツ其概要ハ本院刊行ノ *Proceedings of the Imperial Academy* 又ハ邦文紀要ノ何レカニ掲載スヘシ

一、補助ヲ受ケタル研究ノ成績ヲ發表スルトキハ補助ヲ受ケタル旨ヲ明記シ且ツ本院補助ニヨリ出版セラレタルモノハ必ス本院ヘ其ノ出版物ヲ寄贈スルコトヲ要ス

一、推薦書ハ凡テ院長ニ宛テ左ノ區別ニ依リ必ス期日迄ニ本院ニ到着スル様之ヲ送附スヘシ

本院ヨリ補助ヲ受ケントスル場合 毎年十一月末日

高松宮ヨリ補助ヲ受ケントスル場合 毎年十月末日

東照宮三百年祭、近藤記念海事財團、財團法人海防義會ヨリ補助ヲ

受ケントスル場合 毎年十一月末日

末延財團ヨリ補助ヲ受ケントスル場合 毎年二月末日

有栖川宮獎學費ヲ受ケントスル場合

毎年四月末日及十月末日(但推薦者ハ會員ニ限ル)

藤田男爵獎學費ヲ受ケントスル場合

子爵夫人末松羅馬法獎勵獎學品ヲ受ケントスル場合

毎年五月末日

一、研究補助ノ繼續ヲ要スル場合モ前項ノ期日ニ從ヒ毎年推薦書ヲ提出スルコトヲ要ス

出スルコトヲ要ス

一、補助金請求書ハ院長ニ宛テ直接本院ニ提出セラルヘシ

一、本院ノ推薦ニ依リ高松宮、東照宮三百年祭記念會、近藤記念海事財團、財團法人海防義會等ヨリ研究費ノ補助ヲ受ケタル場合ニモスヘテ

前記各事項ヲ適用ス

一、推薦書ハ申込ニヨリ送付ス

以上

昭和十五年度、昭和十六年度及昭和十七年度ニ於テ本院ヨリ研究費ノ補助ヲ受ケタルモノ左ノ如シ

昭和十五年度

一般資金ニ依ルモノ

- 東洋諸民族の心身特徴に關する比較研究
- 平安朝中期より鎌倉中期に至る日本文學と支那文學との關係に就ての研究
- 東北方言の音聲學的調査研究
- 古訓點の研究
- 勅撰和歌集並に列聖御集及諸家集の研究
- 男鹿地方三角測量に依る地變の研究
- 伊萬里、武雄附近の含炭古第三紀層
- 日本産沸石族のX線的研究
- 日本の無機酸性水域に於ける植物群落の生態學的研究
- 林木種子の發芽機轉に關する研究

松方資金ニ依ルモノ

- 支那兒童の教育心理的研究
- 本邦に於ける宗教的修行訓練の研究
- 第三紀以來の東亞フロラの變化
- 兩棲類に於ける倍數性の研究
- 小笠原諸島産海膽類の研究

學術研究費補助及研究事項

會員

- |       |       |      |      |      |      |      |      |       |       |      |      |     |       |      |
|-------|-------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|-----|-------|------|
| 田中寬一郎 | 金子彦二郎 | 宮良當壯 | 春日政吉 | 久曾神昇 | 今村明恒 | 松根久道 | 高根勝利 | 根來健一郎 | 山口千之助 | 久保良英 | 岸本英夫 | 三木茂 | 川村智治郎 | 池田準人 |
|-------|-------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|-----|-------|------|



學術研究費補助及研究事項

植物の雌雄に關する細胞生理學的研究  
雪菜の發生生理學的研究

日本に於ける溫泉植物の研究

本邦海湖深層の生物學的研究

九州産ナメクジウヲの形態學的研究

北日本森林の植物學的研究

連根の生長狀態に關する研究

本州北部に於ける森林土壤型の研究

馬の腸管に於ける自律神經系統の藥理

脾臓の機能に關する研究

栽培植物に於ける接木の生理學的研究

伊勢灣及び三河灣に於けるアサクサノリの被害の原因に就て

植物性プランクトンの繁殖要因に關する研究

停滯水田に於ける稻の肥料として硝酸化合物の效果に就ての研究

鳥類に於ける性の轉換に關する研究

丹	三	松	國	新	吉	小	松	大	田	川	大	館	吉	小	小	風	米	江	山	篠
下	浦	平	崎	田	田	葉	久	中	島	賀	一	脇	山	久	久	瀬	田	本	根	遠
正	肆	近	盛	鎮	重	義	丑	祿	祿	一	一	一	山	保	保	引	引	義	銀	喜
治	樓	義	萬	敏	雄	清	雄	夫	雄	郎	郎	郎	探	二	治	幸	一	數	郎	人

小池資金ニ依ルモノ

組織培養法による抗體產生の研究

新血液型に關する研究

産婦人科領域に於ける内分泌學的研究

中性子の細胞に對する作用

パンクロフト絲狀蟲及同絲狀蟲病に關する研究

特殊性脱感作に關する實驗的並に臨床的研究及ハアテン學說の實驗的檢討

瀧過性病原體に依る肺炎の研究

我國に於ける肺炎双球菌々型の研究

低酸素血狀態の病態生理

學術研究費補助及研究事項

原	佐	川	山	中	有	早	石	北	吉	小	横	中	藤	藤	白	井	正	古	稻	工
外	田	村	田	原	本	川	渡	村	野	林	川	泉	平	井	木	關	木	畑	塚	藤
七	經	麟	良	哲	忠	真	精	高	英	正	治	正	久	正	尚	信	種	庄	益	村
名	千	一	也	三	夫	典	澄	郎	一	善	一	定	德	夫	郎	博	榮	夫	基	郎
亭	秋	郎	也	三	夫	典	澄	郎	一	善	一	定	德	夫	郎	博	榮	夫	基	郎

フオスファターゼに關する組織化學的研究

神經纖維に於ける働作電流性傳導に關する研究

古籀篇資金ニ依ルモノ

舊鈔本文選集注の校勘

唐代音樂の研究

三井信託名義資金ニ依ルモノ

正現經註釋書研究並に翻譯

中世支那に於ける東亞諸國の山東貿易に關する研究

大氣中に於ける放電の性質の究明を目的とする空氣の電氣化學的實驗

生物色素の赤外線寫眞増感作用に就て

宇宙線中性子の研究

日本産マツタケ科の研究

朝鮮産銹菌類に關する研究

羊齒植物の細胞學的研究

卵巢の雄性ホルモン

久保英久 高松英久 田崎虎一 丸山助二

斯波六郎 岸邊成雄

本尾義海 松野開三 日野開三

小笠原正三 永井正三

河内木修 伊藤末吉

今井三子 平塚直秀

湯淺直秀 湯淺直秀

沼野井春雄 堀川芳治 岩政定雄

圓口類及び兩棲類を材料とする發生生理學的研究

甲殼類に於ける血液凝固作用の研究

日本西南部に於ける蘚苔類の分類學及び生態學的研究

稻種子より分離せる微生物に關する研究

機械的振動傳達の防止方法及振動勢力を吸收する材料と方法の研究

鈴木資金ニ依ルモノ

本邦火山の地球化學的研究

膠質系の安定度及粒子の粘着力に關する研究

スルファターゼの化學的本性に關する研究

熔融鹽の研究

エチレン結合の附加反應の研究(第七年目)

本邦及滿洲國產鑛物、岩石、鑛泉其他に於ける稀有アルカリ金屬の分布に就て

キナアルカロイドの生體內變化に關する研究

ウロン酸の生化學的研究

チベンツオピリドロン誘導體の合成研究

學術研究費補助及研究事項

山田常雄 沼野井春雄 堀川芳治

岩政定雄 鈴木橋一 鈴木橋一

柴田健三 木村喜和 野田喜三

黒野實三 黒野實三 黒野實三

鮫島實三 鮫島實三 鮫島實三

左右田徳郎 左右田徳郎 左右田徳郎

山口與平 山口與平 山口與平

漆原義之 漆原義之 漆原義之

南英一 南英一 南英一

石坂音治 石坂音治 石坂音治

菅澤重彦 菅澤重彦 菅澤重彦

解熱劑としての地龍(ミ、ズ)の成分研究

アスベルギルスオークラシウスの代謝生産物に就て

難溶性磷酸鹽の構造及肥效に關する研究

アラメより分離せる一新ポリペプチドに就て

筋肉蛋白質に關する研究

クロウメモドキ樹皮成分の研究

スペクトルによる化學定量分析の研究

製紙廢液及び廢糖蜜を原料とする各種醱酵試驗

スチルベン誘導體の合成的研究

動物皮脂の成分研究

メタノール接觸分解

特殊薬用植物の有効成分アルカロイド増成に及ぼすカリウム生理化學的機能に關する研究

鹿島資金ニ依ルモノ

支那數學の研究(特に和算との交渉)

海流及び湖流の理論的研究

會員

- 日藤原松三郎
- 高孝次
- 鳥谷居三郎
- 田村幹雄
- 劉村盛烈
- 野副鐵久
- 高岡鐵道
- 清川正光
- 伊藤光武
- 渡瀬武郎
- 二國立
- 神立
- 大平敏彦
- 藤原彰
- 住木諭
- 坂口康
- 森方
- 緒文
- 章苗
- 治介
- 夫彦
- 誠郎
- 郎男
- 治男
- 繼治
- 夫男
- 久男
- 烈男
- 雄烈
- 郎雄
- 松郎

都市氣候に關する研究

霜柱の成生について

腐植草炭の研究と其の利用

矢野生命保險記念資金ニ依ルモノ

李朝時代戶口の統計的研究

昭和十六年度

一般資金ニ依ルモノ

東洋諸民族の心身特徴に關する比較研究

日本に於ける佛蘭西語學史の研究

平安朝中期より鎌倉中期に至る日本文學と支那文學との關係に就ての研究

勅撰和歌集並に列聖御集及諸家集の研究

支那兒童の教育心理的研究

宇和島地方に於ける陸地變形

日本白堊系産菊石類化石の研究

會員

- 福井英一郎
- 三石松
- 藤野松
- 近藤幾
- 小村久
- 林井
- 四方博
- 藤田東一
- 金子彦二
- 金子彦二
- 久保良
- 今村直
- 富部明
- 松本達郎
- 田中寬一
- 藤田東一
- 金子彦二
- 金子彦二
- 久保良
- 今村直
- 富部明
- 松本達郎

伊萬里武雄附近の含炭古第三紀層  
蛤良火山の研究  
球根植物の細胞學的研究

松方資金ニ依ルモノ

中世支那に於ける東亞諸國の山東貿易に關する研究  
羊齒植物の細胞學的研究  
海底群聚の研究  
第三紀以來の東亞フロラの變化  
日本に於ける溫泉植物の研究

日本の無機酸性水域に於ける植物群落の生態學的研究  
精子發生時に於ける絲粒體分裂とゴルヂ體分裂に關する研究  
兩棲類に於ける倍數性的の研究  
植物成長點の細胞生理學研究  
琉球産海膽類  
北日本牧野の植物學的研究  
雪菜の發生生理學的研究  
林木種子發芽機轉に關する研究

松本下久道  
松本唯一  
唐澤光太郎

日野開三郎  
湯淺傳三郎  
宮地茂郎  
三木三郎  
江本義一  
米田弘幸  
廣瀨一  
根來健一  
佐藤井岐郎  
川村智治郎  
小島均  
池田隼人  
館田隼  
山根銀五郎  
山口千之助

日本産マツタケ科の研究  
金龜子類の生態的研究  
脾臓の機能に關する研究  
菊芋の栽培並に品種の調査研究

小池資金ニ依ルモノ

化學物質の癌原性作用に關する實驗的研究

特殊性脱感作に關する實驗的並に臨牀的研究及び「ハプテン學說」の實驗的  
檢討

組織培養法による抗體產生の研究

我國に於ける肺炎双球菌々型の研究

今井三雄  
神谷一  
松葉重  
幡坂博  
小幡博

吉保中里見野田富三  
保内内見野田富三  
高島内見野田富三  
島内見野田富三  
金鶴時秀  
北川村精一  
早川村精一  
木村英益  
工藤村英益  
櫻井村英益  
柴田經一  
佐藤千一  
渡邊千一  
壽谷忠夫

神經纖維に於ける働作電流性傳導に關する研究

南方原始民族の精神病理學的研究(臺灣高砂族の部)

フオスファターゼに關する組織化學的研究

新血液型に關する研究

古籀篇資金ニ依ルモノ

舊鈔本文選集注の校勘

唐を中心とする支那樂器の歴史的研究

三井信託會社資金ニ依ルモノ

本邦に於ける宗教的修行訓練の研究

生物色素の赤外線寫眞増感作用について

人造纖維の紡絲機構の研究

朝鮮所産銹菌類に關する研究

圓口類及び兩棲類を材料とする發生生理學的研究

甲殼類に於ける血液凝固作用の研究

日本西南部に於ける蘚苔類の分類學及び生態學的研究

稻種子より分離せる微生物に關する研究

鈴木資金ニ依ルモノ

セルペローズの研究

ウロン酸の生化學的研究

動物皮脂の成分研究

メタノールの接觸分解

スチルベン誘導體の合成的研究

製紙廢液及び糖蜜を原料とする各種酸酵試驗

エチレン結合の附加反應の研究

アスペルチラスオクランシウスの代謝生産物に就て

クロウメモドキ樹皮成分の研究

アラメより分離せる一新ポリペプチドに就て

學術研究費補助及研究事項

三田 崎 一 守 二

竹内 虎 光 之 洋 助

丸山 口 二 吉 三

坂口 二 衛 二 雄 雄

中村 村 二 吉 三

奥村 村 二 衛 二 雄 雄

高松 保 久 二 雄 雄

古畑 種 英 久 二 雄 雄

正木 種 英 久 二 雄 雄

岸本 種 英 久 二 雄 雄

岸本 種 英 久 二 雄 雄

正木 種 英 久 二 雄 雄

吳保 種 英 久 二 雄 雄

久保 種 英 久 二 雄 雄

山田 種 英 久 二 雄 雄

沼野 井 春 雄  
堀川 定 芳 治 雄  
岩政 定 芳 治 雄  
鈴木 橋 雄

松原 多 摩 喜  
倉澤 宅 文 捷  
野副 鐵 男  
伊東 村 久 謙

松村 幹 雄  
伊藤 道 夫  
野村 道 夫

高岡 道 夫  
田村 道 夫  
伊藤 道 夫

伊藤 道 夫  
清川 正 治  
漆原 正 治

漆原 正 治  
島村 義 之  
住木 義 之

住木 義 之  
二木 義 之  
林國 二 彦

學術研究費補助及研究事項

本邦及び滿洲國產鑛物岩石鑛泉其他に於ける稀有アルカリ金屬の分布に就て  
熔融鹽の研究

本邦火山の地球化學的研究

リゾープス屬による酸類生産に關する研究

難溶性磷酸鹽の構造及び肥效に關する研究

鹿島資金ニ依ルモノ

支那數學の研究

含窒素縮合環類化合物の合成研究

霜柱の成長について

日本住宅建築史の研究

萬年會資金ニ依ルモノ

會員

南	山	柴	木	野	小	黑	坂	朝	棟	藤	藤	菅	兒	三	藤	荳	慶	近	佐	太
英	口	田	村	口	田	田	口	井	方	原	原	原	潭	玉	石	野	松	藤	伯	田
與	與	雄	健	喜	和	謹	謹	博	彰	彰	三	重	國	國	三	松	幾	榮	靜	六
一	平	次	郎	也	夫	夫	一	久	夫	夫	郎	郎	彦	美	巖	枝	多	ほ	子	六

筋肉蛋白質に關する研究

矢野生命保險記念資金ニ依ルモノ

李朝時代戶口の統計的研究

アニリン膀胱腫瘍に關する實驗的研究

昭和十七年度

一般資金ニ依ルモノ

東洋諸民族の心身特徴に關する比較研究

日本精神史に於ける「き」(氣)並に「かたき」(形氣、氣質)なる語の歴史的比較的研究

日本に於ける佛蘭西語學史の研究

本邦農耕儀禮の特殊研究

津田眞道遺著の整理解説及出版

黃道光の寫眞測定

人工放射能

鳥類及哺乳類に於ける羽毛の季節的變化に關する研究

學術研究費補助及研究事項

神	四	佐	田	田	田	田	藤	古	大	津	竹	崎	宮	岡	竹	八
立	方	外	井	中	東	野	東	野	久	田	内	本	本	協	田	田
誠	有	三	正	寬	一	清	一	清	保	道	時	根	根	田	田	田
博	名	吉	一	一	郎	人	郎	人	治	治	男	吉	樓	要	潔	二

學術研究費補助及研究事項

- 廿世紀梨の柚膚に關する研究
- ナマコ類に關する研究
- フリーテルクラフツ反應アルキル化の研究
- 日本に於ける柑橘瘡痂病に關する研究
- 日本白堊系産菊石類化石の研究
- 植物生長點の細胞生理學的研究
- 大根に於ける半不稔性特に染色體變異の發現に關する研究
- 屋久島に於ける森林土壤型の研究
- 梅の育種學的研究 (I) 太宰府神社神苑梅樹の細胞學的研究
- 日本西南部に於ける蕁苔類の分類學及生態學的研究
- 吸蟲類の排泄系の研究
- 菊科植物に關する細胞學的研究
- 白鼠を材料とする發生機構學的研究
- 兩棲類に於ける倍數性的研究
- 日本の無機酸性水域に於ける植物群落の生態學的研究
- 化學藥品特にマンガン化合物の兩棲類の性決定に及ぼす影響の研究
- 甘藷苗増産に關する研究主として甘藷塊根に於ける生長素の萌芽抑制の機轉に就て
- 球根植物の細胞學的研究

- 寺見廣彦
- 山内圭一
- 穴戸圭一
- 常谷幸雄
- 松本達郎
- 小島均
- 福島榮二
- 福島榮二
- 永松土巳郎
- 堀川芳雄
- 岩政定治
- 尾崎佳正
- 下斗米直昌
- 平岩馨邦
- 川村智治郎
- 根來健一郎
- 堀江秀光
- 青木常盤
- 唐澤光太郎

- 作物の三原雜種に關する細胞遺傳學的並に育種學的研究
- 本邦産紅藻に於ける囊果形成に關する研究
- 甲殼類に於ける血液凝固作用の研究
- 菊の雜種の細胞遺傳學的生理學的研究
- 新堀仙臺間の精密水準線路再測に依る陸地變形の研究

松方資金ニ依ルモノ

- 支那兒童の教育心理的研究
- 我國近世民事裁判の研究
- 現代日本農業經濟學史の研究
- 海底群聚の定量的研究
- 精子發生時に於ける絲粒體分裂とゴルヂ體分裂に關する研究
- 金龜子類の生態學的研究
- 北日本牧野の植物學的研究
- 日本産マツタケ科の研究
- 林木種子發芽機轉に關する研究
- 本邦鐵泉に棲息する植物の研究
- 羊齒植物の細胞學的研究

會員

- 中島吾一
- 瀨川宗吉
- 沼野井春雄
- 飯沼康雄
- 今村彌之助
- 大塚
- 久保良英
- 小早川欣吾
- 我妻東策
- 宮地傳三郎
- 佐藤井岐雄
- 神谷一男
- 館脇操
- 今井三子
- 山口千之助
- 江本義一
- 米田弘幸
- 廣瀬
- 湯淺

菊芋の栽培並に品種の調査に関する研究

小池資金ニ依ルモノ

食品防疫に関する研究

新血液型に関する研究

フオスファターゼに関する組織化學的研究

化學物質の癌原性作用に関する實驗的研究

古籬篇資金ニ依ルモノ

唐を中心とする支那樂器の歴史的研究

鈴木資金ニ依ルモノ

ヂベンツオインドリチン誘導體の合成研究

リゾプス屬の酸酸酵に関する研究

クロウメドキシ樹皮成分の研究

難溶性燐酸鹽の構造及肥效に関する研究

遊離基及原子の關與する反應

膜電極の研究

本邦に於ける稀産元素資源に関する地球化學的研究

煙霧質に関する研究

植物生長ホルモンの合成

除蟲菊花中に含まるゝ結晶性樹脂成分に関する研究

スチルベン誘導體の合成的研究

製紙廢液及廢糖蜜を原料とする各種酸酵試驗

メタノールの接觸分解

鹿島資金ニ依ルモノ

現世及化石珊瑚並に珊瑚礁の研究

學術研究費補助及研究事項

小坂博

遠山祐三

古井信榮

吉正尚夫

高久英雄

保井久雄

吉保英三

中里正三

岸邊成雄

菅澤重彦

菅澤美彦

坂口宣郎

井方博一

國二

藤原彰夫

漆原義之

山口村

木村與平

南村喜三

野口實和

黒田勤三

鮫島利治

玉利勤三

田村道一

高岡勝夫

伊藤光治

横田彌治

會員

矢部長克



日本住宅建築史の研究  
平安時代建築の研究  
霜柱の生長に就て

アルミニウム-マグネシウム系合金の研究

萬年資金ニ依ルモノ

筋肉蛋白質に關する研究

矢野生命保險記念資金ニ依ルモノ

人文科學の一部門としての統計學の本邦に於ける濫觴及發展  
マラリヤ蚊に關する研究

會員

北支那人腦特に腦幹及脊髄の組織學的研究

カラザール傳播經路の實驗的研究

太田靜六  
角田文次  
藤田榮子  
佐藤伯榮  
三ヶ島秀雄  
神立誠

高野岩三郎  
石井信太郎  
鈴木木直精  
照井木直精  
大野中直精  
徐野中直精  
高野中直精  
五高野中直精  
久保野中直精  
神野中直精  
揚野中直精

第二十九

有栖川宮記念獎學資金受領者トシテ

高松宮へ推薦ノ補助研究事項(自昭和二年略之至同十四年)

高松宮ニ於テ有栖川宮記念トシテ學術獎勵資金ヲ設ケラレ學術上有益ナル研究並ニ其ノ發表ヲ補助スル爲メ獎學資金ヲ毎年一月十五日及七月五日ノ二回ニ分チ御授與アラセラルル趣ヲ以テ大正十五年十月右資金受領候補者ノ選定方ヲ本院ニ御依頼アリタルモノナリ其ノ要項左ノ如シ

- 一、研究題目ハ日本若クハ東洋ノ文化ニ關スルモノヲ主トスルコト
  - 二、發表並ニ授與ハ高松宮ニ於テ行ハルヘキコト
- 本院ノ推薦ニ依リ昭和十五年度及昭和十六年度ニ右獎勵金ヲ受ケタル研究事項左ノ如シ

昭和十五年度

- 日本傳説童話の蒐集整理研究及出版
- 古文書記録に見たる成語の史的研究
- 附古文書記録辭典の編纂
- 本邦農村に於ける祭祀組織と祭禮
- 滿洲國及び北支那に於ける佛教禮拜像の圖像學的研究及び出版
- 日本典禮の研究
- 西周遺著の整理解説及出版

昭和十六年度

- 古文書記録に見えたる成語の史的研究
- 附古文書記録辭典の編纂
- 古事記校本の編纂
- 西周遺著の整理解説及出版
- 本邦農村に於ける祭祀組織と祭禮
- 日本典禮の研究

藤澤 衛彦  
 布施 秀治  
 原田 敏明  
 逸見 梅榮  
 福井 實久  
 日野 西資  
 大久保 利謙

布施 秀治  
 濱田 久敦  
 大久保 利謙  
 原田 敏明  
 福井 實久  
 日野 西資  
 孝英藏

第三十 東照宮三百年祭記念會へ推薦ノ補助

研究事項 (自大正五年略之至昭和十四年略之)

東照宮三百年祭記念會ヨリ毎年九月若クハ十月中ニ次年度ニ於ケル新規補助金額ヲ提示シ補助ヲ要スル學術研究事項ノ推薦方ヲ本院ニ依頼アリタルモノナリ  
 本院ノ推薦ニ依リ昭和十五年度、昭和十六年度及昭和十七年度ニ同會ヨリ補助ヲ受ケタル研究事項左ノ如シ

昭和十五年度

- 幕末露西亞派遣留學生歐文送別文集に關する洋學史的研究及び其の史料の出版
- 濫川春海の研究
- 英支關係の歴史的研究(特にフエートン號の航海日誌の研究を中心として)
- 皇室に於ける儒學御崇獎の御事蹟に關する研究
- エメチン及び類似化合物の合成研究

山岸 光宣  
 西内 雅  
 中江 健三  
 伊藤 千眞三  
 菅井 重彦

始良火山の研究

本邦産非海棲貝化石の總括的研究  
非醱酵性酵母菌に關する酵素學的研究  
熔接電弧と被覆棒の性質との關係に關する研究

昭和十六年度

皇室に於ける儒學御崇獎の御事蹟に關する研究  
海藻の特殊成分に關する研究

エメチン及び類似化合物の合成研究

本邦産非海棲貝北石の總括的研究

熔接電弧と被覆棒の性質との關係に關する研究

立體構造特に殻構造法に關する研究

徳川氏の城郭禁令の建築に及ぼした影響に關する研究

昭和十七年度

エメチン及類似化合物の合成研究

松本唯  
鈴木好一  
奥貫男  
河東卓四郎  
熊澤尙文

伊藤千眞  
白濱

菅井喜重  
菅井喜重

河上卓四郎  
今井尙文

坪井善勝  
藤岡通夫

菅井喜重  
菅井喜重

解熱劑としての地龍の成分研究

低酸素血状態の病態生理

本邦産非海棲貝化石の總括的研究

岩石の永久磁性に關する研究

第三十一 末延財團へ推薦ノ補助研究事項 (自昭和十四年略之)

末延財團ニ於テ國史ニ關係アル學術研究事項ニ對シ研究助成ノ爲昭和九年以降獎學資金ヲ補助スヘキ趣ヲ以テ同年五月之カ推薦方ヲ本院ニ依頼アリタルモノナリ  
本院ノ推薦ニ依リ昭和十四年度及昭和十五年度ニ同財團ヨリ補助ヲ受ケタルモノ左ノ如シ

田結 中方 時彦  
原笠 原源四郎 享  
江久 津源四郎 雄  
永木 石田 義輝 元夫  
白川 義輝 元夫  
鈴木 藤 藤 藤  
加藤 藤 藤 藤  
齋藤 藤 藤 藤

昭和十五年度

鎌倉室町時代に於ける産業の發達、特に纖維工業並に金屬工業に就て  
日本寺院經濟史研究（鎌倉室町時代）  
典籍より觀たる支那文化攝取の研究（室町時代に至る）

小野均  
竹内理三  
太田晶二郎

昭和十六年度

鎌倉幕府政治組織の研究  
審書調所の研究  
中世税制の研究、特に公事に就いて

佐藤進一  
原平三  
高柳光壽

第三十二 近藤記念海事財團へ推薦ノ補助研究事項

（自昭和十二年略之）  
（至同十四年略之）

近藤記念海事財團ニ於テ海事關係ノ學術研究事項ニ對シ補助金ヲ支出スヘキ趣ヲ以テ昭和十一年十二月之カ推薦方ヲ本院へ依頼アリタルモノナリ

本院ノ推薦ニ依リ昭和十五年度、昭和十六年度及昭和十七年度ニ同財

團ヨリ補助ヲ受ケタル研究事項左ノ如シ

昭和十五年度

英國海上保險制度に關する研究

加藤由作

昭和十六年度

徳川時代に於ける經濟思想及經濟史の研究及英文出版

本庄榮治郎

昭和十七年度

高速回轉用フルカン流動接手の實驗的研究  
ディーゼル機關の噴油器の研究

山本英夫  
山本次雄  
川田正秋

第三十三 財團法人海防義會へ推薦ノ補助研究事項

財團法人海防義會ヨリ學術研究助成ノ目的ヲ以テ昭和十六年ヨリ同十八年マテ三箇年ニ亘リ補助金ヲ支出スヘキ趣ヲ以テ昭和十五年十二月之カ推薦方ヲ本院ニ依頼アリタルモノナリ其ノ條件左ノ如シ  
一、帝國ノ海防ニ資スル特殊事項ノ基礎的研究ヲ助成獎勵スルコト

本院ノ推薦ニ依リ昭和十六年度及昭和十七年度ニ同會ヨリ補助ヲ受ケタルモノ左ノ如シ

昭和十六年度

高空に於ける飛行家の知覺變化とその対策  
幾何學の流體力學への應用  
航空機用揮發油の合成研究  
海流及び湖流の理論的研究

昭和十七年度

高空に於ける飛行家の知覺變化とその対策  
航空機用揮發油の合成研究  
海流及湖流の理論的研究  
操舵角及操舵力計の試作研究

淡路圓治郎  
蟹谷乘養  
日高孝次  
堤高孝次  
淡路圓治郎  
日高孝次  
近藤政市

第三十四

藤田男爵獎學費受賞者(自大正七年略之至昭和十四年略之)

昭和十五年度

探鑛冶金學及關係學科獎勵學費

東京帝國大學理學部學生

山口貴雄

昭和十六年度

羅馬法學獎學費

東京帝國大學法學部學生

赤土正眞

探鑛冶金學及關係學科獎勵學費

東京帝國大學理學部學生

渡邊和徳

第三十五

子爵夫人末松生子羅馬法獎勵獎學

品受品者

(自大正七年略之至昭和十四年略之)

昭和十五年度

東京帝國大學法學部學生

大野雄二郎

同選科學生

古川健次郎

京都帝國大學法學部學生

前田孝充郎

早稻田大學法學部學生

白川哲男

白崎正義

堀吉太郎

及川孝

土屋理人

子爵夫人末松生子羅馬法獎勵獎學品受品者

昭和十六年度

東京帝國大學法學部學生

赤土正眞

相坂治

林清一

京都帝國大學法學部學生

金田秀實

別役道久

高村羊治

早稻田大學法學部學生

鴨脚和夫

伊藤雅通

北尻豊彦

第三十六 事業

業

(本事業關係職員ハ第四十一委員事業擔當會員ノ項ヲ參看セラレタシ)

(一) 帝室制度史編纂

本年度ハ前年度ニ於テ編修ニ著手セル帝室制度史第五卷所收天皇編第三章神器ノ本文並ニ資料ノ編修ヲ完成シ、之ヲ第一節神器總說、第二節神器ノ奉安、第三節神器ノ崇敬ニ分チ、逐次印刷ニ付ス、然ル

ニ其ノ進捗意外ニ遅延シ、目下印刷中ナルモ、年内ニハ之ヲ刊行シ得ル豫定ナリ、其ノ原稿枚數ハ約一千六百五十枚、印刷頁數ハ五百頁ヲ超過スル見込ナリ。

次ニ第六卷ニ收ムル天皇編第四章稱號ノ本文並ニ資料ノ編修ハ、第五卷ノ編修並ニ印刷ト併行シテ之ヲ始メ、既ニ第一節帝號、第二節敬語及ビ書式ノ本文並ニ資料ノ編修ヲ了シ、其ノ他ニ付キテモ目下著々編修中ナリ。

(二) 萬國學士院聯合會トノ共同事業

インドネジャ慣習法辭典編纂

一、昭和十五年十二月以降ハ前年ニ引續キ原稿ヲ整理シ三月末日全部完了、印刷工場ニ回附シ、直チニ植字準備ニ著手シタルモ、特殊字母ノ鑄造ニ要スル資材ヲ獲ルニ時日ヲ要シ、七月ニ至ツテ校正ヲ開始スルノ運ビニ至リ、十月中第四校ヲ校了十一月ニ組版印刷出來セリ。現在製本中ナルモ職工不足ノタメ全部ノ納本及ビ關係

者へノ寄贈等ハ十二月末ニナル見込ナリ。

二、右高砂族慣習法語彙「アムステルダム學士院ノ編纂刊行セルインドネジャ慣習法辭典ヲ補充セントスル目的ニ成ル。コノ辭典編纂ノ議ハ大正九年(1920)第一回國際學士院聯合會議ニオランダ代表ガ之ヲ發案シ、翌年ノ會議ニ於テインドネジャ諸民族ニ領土關係ヲ有スル諸國學士院ノ協力ニヨリ之ヲ遂行スルコトニ議決セリ。シカルニ其後聯絡不備ノタメ各國學士院ノ協力モ十分ナラス、アムステルダム學士院ハ聯合會議ヨリ經費補助ヲ受ケテ單獨ニ調査編纂ヲ進メ、昭和九年(1934)右辭典ヲ刊行シタリ。其間本院ハ臺灣高砂族ノ慣習法用語ヲ調査採集シテコレニ協力スル方針ヲ定メ、昭和四年(1929)ニハ臺灣總督府ヨリノ寄附金ヲ聯合會議ニ提供シテ本辭典編纂刊行ノ經費ヲ補助シ、一方院内ノ聯合會議關係事業協力委員會ニ於テハ姉崎正治ヲ擔當會員トシテ高砂族慣習法用語ノ調査研究ニ從事セシメタリ。而シテ本調査事業進

行ノ途中ニスデニ前記辭典「アムステルダム」ヨリ單獨刊行ノ運ヒニ至リタルヲ以テ、本院ノ調査結果ハ他日ソノ別冊附卷トシテ歐文解説ヲ加ヘテ發刊スルコトニ聯合會議トノ間ニ協定シタリシカ、歐洲戰亂ノ勃發ニヨリ昭和十五年(1940)以降聯合會議モ中絶シ、各國トノ聯絡協力モ不能トナリシ爲メ、コレヲ一ト先ツ邦文解説ノマ、一卷トシテ編纂刊行シタルモノナリ。コノ調査編纂ノ方法及ヒ經過ニツイテハ右語彙ノ序言中ニソノ概要ヲ述ヘタリ。

三、カクテ本編纂事業ハ本年三月昭和十五年度末ヲモツテ終リ、昭和十六年度ハソノ組版校正ト殘務整理ニ費シタル次第ニシテ、事業殘務モ本月中ニ全部完了ノ手筈ナリ。

他方本事業ニツイテ完全ヲ期センニハ前記語彙ノ採集整理モ人員ト經費ノ關係上未タ周到ニ現地調査ヲ經ルニ至ラス、其間舊慣ノ様式分布、用語ノ構成意味等ニツイテ疑問ノ解決セサルモノ少ナカラス、コレヲハ他日「語彙」ノ増補改訂及ヒ解説ノ歐文翻譯

ニ際シテ本院トシテモ尙ホ研究ヲ繼續スヘキモノト信ス。ヨソ  
テ本事業ノ進行中ニ作成セル多數ノカード類(用語解説事項索引  
カード、蕃語對譯カード、類似語形對照カード等)及ヒ三回マテ書改  
メタル草稿等ハコレヲ本院ニ保管シテ他日ノ研究ニ資センコト  
ヲ希望スルモノナリ。

### (三) 帝國學士院六十年史編纂

本院六十年史ノ編纂ハ昨年度ニ報告セル如ク既ニ原稿ハ略々脱  
稿シ、姉崎會員ノ許ニ提出シ審査ヲ仰キタリシカ、引續キ本年度ニ於  
テハ一應全部ニ渉ル審査ヲ終了シ、六月十二日本院ニ於テ長岡院長、  
加藤幹事、小野塚第一部長、田中館第二部長、姉崎會員參集ノ上審査ノ  
結果ニ就キ協議會ヲ行ヒ更ニコレヲ邦文タイプライターニテ謄寫  
スルコトニ決議ヲ爲セリ。依ツテコノ協議ノ結果更ニ原稿ニ修正  
ヲ加ヘタル上ソノ謄寫ニ着手シ、全部完了ノ上再ヒ姉崎會員ノ許ニ  
提出セリ。

### (四) 東亞諸民族調査

#### 一、本事業ノ計畫並ニ組織

輓近國運ノ進展ニ伴ヒ、本邦周圍民族ノ政治的經濟的研究ト併行  
シテ、ソノ民族的生活文化的性格ノ研究ノ緊急事ニ屬スルハ論ヲ俟  
タサル所ナリ。然ルニ我カ學界ニアツテハ、從來コノ方面ニ於テ、歐  
米諸國ノ研究水準ニ比シ未タ遙カニ及バザルノ憾アリ。是豈獨リ  
學術上ノミナラズ、國策上ヨリモ亦遺憾ノ極ニ非ズヤ。

是ニ於テ從來、インドネジャ慣習法辭典編纂ニヨリ萬國學士院聯  
合會ニ國際的協力ヲ爲シ、多年コノ方面ノ民族學的研究ヲ行ハシメ  
タル本院ニ於テハ、更ニ東亞諸民族ノ文化相關ノ一層廣汎ナル視  
角ヨリ、既存ノ諸研究機關ト相協力提携シテ東亞諸民族ノ綜合的ナル  
民族學的調査研究ヲ達成セント欲シ、豫テ豫算ヲ請求中ノ所、昭和十  
五年一月、向フ三ヶ年大略三萬圓餘ノ豫算通過ヲ見タリ。  
カクテ昭和十五年三月例會ノ第一部會ニ於テ部長ヨリ準備委員



ヲ指名、同月二十七日準備委員會ヲ開キテ、小金井、白鳥、松本、姊崎、市村、山田、瀧、新村、足立、羽田、池内各委員ヨリ成ル東亞諸民族調査委員會ヲ成立セシムルコト、シ、出席委員ニ於テ山田委員ヲ委員長ニ互選セリ。

本委員會ハ其後概ネ毎月一回之ヲ開催シ、研究調査ノ範圍、項目、方法等ヲ討議シ來レルモ、尙具體的ニ實施方法ヲ協議シテ事業ノ進捗ヲ計ルタメ、十五年六月、姊崎、池内、新村、羽田ノ各委員ニ山田委員長ヲ加ヘテ、常任委員會ヲ組織シ、普通委員會ト共ニ逐次會合ヲ重ネテ、十六年十二月ニ至ルマテ各十一回ノ會合ヲ見タリ。

而シテ協議進行ノ結果、本調査事業ノ對象トシテ、差當リ日本民族ヲ除イテ、北ハシベリヤヨリ南ハインドネジャニ及ビ、東ハミクロネシヤノ東端ヨリ西ハ新疆西藏ニ互ル諸民族ヲ一、住地、人口、二、人類學的特徵、三、經濟、四、食物、飲料、其他ノ嗜好品、五、器具、技術、六、住居、其他ノ建造物、七、服飾、八、交通、九、社會形態、一〇、法的秩序、一一、爭鬪、一二、生死冠婚

等ニ關スル習俗、行事、一三、信仰及ヒ儀禮、一四、藝術、娛樂、一五、文學、一六、言語、一七、文字、一八、知識、智能、一九、各個民族ノ統合的性格等ノ各項目ヨリ觀察シツ、又民族ノ形成ニ於ケル人種言語文化、地域、政治等ノ相互關係ノ究明、東亞諸民族ノ分類、移動、系統ニ關スル從來ノ諸研究ノ整理等總括的研究ニ重キヲ置クコトトシ、ソノ方法トシテハ、親シク現地ニ赴イテ調査ヲ進ムベキコト論ヲ俟タスト雖ドモ、順序トシテ先ヅ從來ノ調査研究ノ大體ノ成果ヲ文獻ニ基イテ整理、按配シ、以テ本事業ノ爲メノ豫備的概觀タラシムルコトトナレリ。

敘上ノ方針ニ基キ、昭和十五年七月、前記委員會並ニ常任委員會ノ下ニ、宇野圓空博士ヲ主任トセル東亞諸民族調査室ヲ本院内ニ設置、同年九月ヨリ指導囑託トシテ體質ニ關スル事項ヲ東京帝國大學人類學教室長谷部教授ニ、言語ニ關スル事項ヲ同文學部言語學研究室小倉教授ニ、宗教ニ關スル事項ヲ同宗教學研究室石橋教授ニ、ソレゾレ依囑シテソノ協力ヲ乞フコトトセリ。一方調査室ニハ調査員石

田英一郎、野村正良、及川宏、小口偉一、調査囑託須田昭義、中野朝明ヲハジメ、事務關係要員ヲ整へ、圖書及ビ器具ノ備付ヲ進メテ調査事業ヲ進行シ來レリ。

二、事業内容

今日ニ至ル迄ノ事業ハ、從ツテ概ネ上記ノ豫備的概觀ノ爲メノモノニシテ、ソノ主タル内容ハ次ノ如シ。

(1) 東亞諸民族關係文獻カードノ作製整理。本院調査室ニ於テハ、先ツ各圖書館、文庫、研究室等ノ藏書、各國學術雜誌ノ論文等ニ就キ、參考文獻カードノ作製ニ着手、現在ソノ數二萬枚餘ニ達シ、之ヲ著者別、地域民族別及ヒ項目別ノ三種ニ分類シテ整備シツ、アリ。

(2) 東亞民族名彙ノ刊行  
須田囑託ノ手ニヨリ、東大人類學教室ニ於テ作製セラレタル民族名カードヲ基礎トシ、調査室ニ於テ編纂印刷ニ附シタルモノニシテ、十月初旬之カ刊行ヲ見タリ。

(3) 「東亞諸民族一覽」及ビ「東亞民族要誌」ノ編輯

東亞諸民族ノ區分及ヒ調査事項ノ細目ニ就キ委員會ノ審議ヲ經タル區分表及ヒ細目表ニ基キ、各民族ニ就キ簡單ナル解説ヲ附セル「東亞諸民族一覽(假稱)」、調査ノ成果ヲ要約セル「東亞民族要誌(假稱)」トノ編輯ニ着手セリ。

(4) 「東亞民族分布圖」及ヒ「擴大區分圖」ノ作成

「東亞民族分布圖」ハ諸氏ノ盡力ニヨリ去ル八月中ニ大體完了シ、調査室トシテハ未定稿トシテ更ニ修正ノ豫定ナリシモ、大政翼賛會東亞局ヨリ再三ソノ出版方懇願シ來レルニヨリ之ヲ承諾、程ナク印刷完了ノ見込ナリ。尙ソノ際當分布圖ハ調査室トシテハ試作中ナルコト、著作權ハ本院ニアルコト等ヲ言明シ置ケリ。調査室トシテハ、右分布圖ヲ本トシテ、更ニ一層學的精確ヲ期スルタメ、部分的ニ擴大セル區分圖集十四五枚ノモノ一冊ヲ作成スル豫定ニシテ、既ニ七枚ハ大略下圖出來、ナホ二三枚製作中ナリ。

(5) 樺太土着民ノ調査

各民族ニ就テノ實地調査ノ事業ハ、未ダ計畫的ニハ之ヲ實施シ得ザリシモ、七月中本調査室囑託タル東京帝國大學人類學教室須田講師ガ、日本學術振興會ノ補助ニヨリ樺太オロツコ族ノ調査ニ赴クニ際シ、調査員石田英一郎ヲ同行出張セシメ、約三週間樺太ニ於ケルオロツコ、ギリヤーク、アイヌ等ノ生活習俗ヲ調査シ、ソノ結果ヲ報告セメシタリ。

(6) 専門家ノ報告會ト同記録ノ印刷

各方面ノ専門學者ヲ聘シテ院内ニ報告講演會ヲ開クコト十回、主トシテ支那、蒙古、樺太、南洋群島、佛印、比律賓等ノ諸民族ノ文化、習俗、言語並ビニ一般的基础理論ニ就キ聽講討議シタリ。ソノ速記又ハ講演原稿ハ報告會記録トシテ逐次印刷ニ付スルコトトシ、既ニ左記四冊ノ刊行ヲ見テ關係各方面ニ配布セリ。  
比律賓ノ民族文化ノ系統  
棚瀬襄爾

(昭和十五年十二月十六日報告會)

東亞遊牧民ノ一典型トシテノ蒙古民族 江上渡夫

(昭和十六年三月十三日報告會)

現代語ノ研究ト土耳其諸方言 服部四郎

(昭和十六年四月十四日報告會)

ミクロネジャノ文化概説 杉浦健一

(昭和十六年五月十四日報告會)

以上ノ外、記録未刊行ノ報告講演ハ左ノ如シ

現代ノ民族學ト民族調査 岡正雄

(昭和十六年四月十三日)

印度支那諸民族ノ民族學的研究ニ關スル現狀

(昭和十六年六月十三日)

支那ノ宗族 山本達郎  
牧野巽

(昭和十六年七月十一日)

樺太調査旅行報告

石田英一郎

(昭和十六年十月十日)

東亞先史學ノ一問題

八幡一郎

(昭和十六年十一月十一日)

民族接觸ノ問題

小山榮三

(昭和十六年十二月十一日)

(五)「宸翰英華」編纂

紀元二千六百年奉祝會ノ委託ニ依テ、本院ニ於テ實施スル「宸翰英華」ノ編纂出版事業ハ、三箇年ノ繼續トシテ本年度ヨリ開始サレタ。此事業ノ爲メニ左ノ委員ガ設ケラレタ。

委員長 瀧 精 一 常務委員 辻 善之助

委員 市村瓊次郎 狩野直喜

新村出 佐佐木信綱

(以上會員)

西田直二郎

山田孝雄

芝 葛 盛

岩崎小彌太

相田二郎 (以上院外)

外ニ編纂及ヒ事務ニ關シテ左ノ諸氏ヲ囑託シタ。

田山信郎

勝野隆信

是澤恭三

藤田經世

赤松俊秀

玉村竹二

村山修一

田井啓吾

田中慶二郎

中澤丞夫

本年二月以降委員會ヲ開クコト四回ニシテ、別ニ小委員會ヲ開クコト三回ニ及ンダ。

「宸翰英華」ハ天皇ノ御筆ヲ選集シ奉ルモノニシテ、其名稱ハ今後更ニ名案アラバ改ムルコトアルヲ條件トシテキル。内容ハ大體ニ於テ之ヲ本文ト圖録トニ分チ、本文中ニ一千種以上ノ宸筆ヲ説明シ、圖

録ニ於テ主トシテ大版コロタイプノ複製約五百ヲ收ムル豫定デア  
ル。書物トシテノ體裁等ハ未ダ確定シテキナイ。

本年度ノ事業ハ諸方ニ存在スル宸筆實物ノ拜觀ヲ主トシテ實施  
シ十二月初旬マデニ拜觀シタルモノ左ノ通りデアアル。

- 一、宮内省ニ於テハ侍從職及ヒ圖書寮ニ保管セララルモノ
- 一、高松宮、伏見宮、閑院宮、久邇宮等尊藏ノモノ

一、京都市ニ於テ大覺寺、仁和寺、青蓮院、京都市恩賜博物館、京都帝國  
大學、滋賀縣ニ於テ延曆寺所藏ノモノ

右ニ於テ拜觀シタルモノ、數ハ甚ダ多數ニ上リ、其中寫真ノ撮影ヲ  
ナシタルモノ半切版四枚カビネ等、大小總計三百八十三點ニ達シタ。  
右ノ内大覺寺藏ノ

嵯峨天皇

後光嚴天皇

後花園天皇

後奈良天皇

正親町天皇

光格天皇

ノ宸筆般若心經ハ勅封デアアル。又延曆寺藏ノ  
天皇宸筆光定戒牒

モ勅封デアアル。故ニ是等ハ從來拜觀シタル者モ尠カッタノデアアル。  
然ルニ今回ハ畏クモ特別ノ思召ヲ以テ勅使ヲ參向セシメ開披セラ  
レタノデ委員以下一同拜觀ノ光榮ニ浴シタノデアアル。

今日マデニ原本ヲ拜觀シタルハ以上ノ通りデアアル。尙ホ東山御  
文庫、陽明文庫等ノ藏品ニシテ既ニ寫真ノ存在スルモノハ、之ニ依テ  
一應ノ調査ヲナシタガ他日更ニ原本ヲ拜觀スル筈デアアル。

右ノ如ク本年度ハ主トシテ編纂資料ノ調査ヲ實施シタノデアアル  
ガ又別ニ夫々擔當ノ委員及囑託等ノ手デ解説ノ執筆ニモ著手シタ。

(六) 明治前日本科學史編纂

明治前日本科學史編纂事業ハ本年一月ノ本院例會ニ於テ田中館第二部長ヨリ準備委員會ヲ設ケテ協議スル事トナリタル旨總會ニテ報告相成タルガ爾來準備委員會ハ次デ故長與會員ヲ委員長トスル委員會設ケラレ委員會ニテ會員タル委員會院外ノ委員トカラ組織サレテ居リマシテ本事業ハ右委員並ニ編纂囑託等ノ手ニ依リテ着々ト進捗致シテ居リマス。今日御報告申上ル事モ概ネ長與前委員長時代ノ經過デアリマス。

本科學史ハ最初ハ數學、物理ヲ主トシタルモノデアリマシタガ漸次規模ヲ大ニシ完成期間ヲ三年ヨリ五年ニ延長シ殆ド自然科學ノ全部門ニ亘ル事トナリ、又豫算モ最初ノ五萬圓ガ間モナク十萬圓トナリマシタガスクモ範圍ガ廣メラル、ニ連レテ更ニ豫算ノ増額モ必要ト認メラレ、大體必要ノ額ヲ得ラル、見込ガ立チマシタノデ現在ソノ方針デ進行致シテ居リマス。編纂上ノ極大キナ方針ヲ申上

マスト

- 一、後節編纂要目ノ決定
- 二、本編纂ハ維新前ヲ主トシ、維新後ノ記述ハ現代トノ聯關ヲ明カニスル範圍ニ於テ全體ノ一割乃至ハ一章程度トスルコト
- 三、分類冊數次表ノ通り

工	醫	藥	博	人類學史	先史學	史
	醫學史	藥物史	博物學史	史	史	史
	九冊	二冊	二冊	一冊	七冊	七冊
數	天	物	醫	藥	博	人類學史
學	文	理	學	物	物	學
史	學	學	史	學	學	史
三冊	二冊	三冊	九冊	四冊	二冊	二冊

建築史	一冊
土木史	一冊
應用化學史	二冊
採鑛冶金地質鑛石史	一冊
造船、兵器、機械史	二冊
農學史	五冊
序論	一冊
計	三十冊

以上ニ對スルソレゾレノ目次モ大部分ハ出來テ居リマス  
一冊ハ菊判五百頁ガ標準

尙一昨日ノ第四回委員會ニテ編纂ノ心構ヘトシテハ明年及明後年ノ二ケ年ニ其ノ大體ノ骨子ヲ仕上ゲル考ヘニテ今後ノ進行ヲ圖ルコトヲ申合セ致シマシタ。  
委員會ハ今日迄擔當委員ノミノ委員會ト全委員ノ委員會ト何レ

モ數回宛開キマシタ。

終リニ故長與委員長カ非常ニ本事業ニ熱誠以テ當ラレマシタ事ヲ御報告申上マス。現ニ已ニ不起ヲ自覺サレテカラ特ニ私ノ(中村清二委員)來談ヲ求メラレテ種々御話アリタル中ニ此ノ事モアリマシタ次第デ御座キマス。  
之テ私ノ報告ヲ終リマス。

「日本科學史編纂要目」

(一) 編纂ノ趣旨

紀元二千六百年ヲ記念スル目的ヲ以テ日本科學ノ淵源ヲ探リ先人ノ遺業ヲ顯揚シ皇國固有ノ科學文化ニ對スル國民的自覺ヲ深メ更ニ將來ノ日本科學ノ發展ニ資スルタメニ編纂スルモノトス

(二) 編纂ノ方針

一、日本科學史ヲ左記各部門ニ分類編纂シ別ニ總論ヲ附スルコト  
第一 數 學 史

第二 天文學史

第三 物理學・化學史

第四 醫學・本草學・博物學史

第五 農學史

第六 工學史

一、科學ノ各部門ニ付キノ發展ノ跡ヲ省ミルト共ニ科學全體ノ相互聯關ヲ明ラカニスルコト

一、單ニ科學ノ發展史ヲ敘述スルニ止マラズソノ根據及ソノ意義ヲ明ラカニスルコト

一、常ニ化學發展ノ狀態ヲ明ラカニシ日本科學ノ獨自性ヲ顯現スルコト

一、本書ハ昭和二十年十二月末日迄ニ編纂ヲ終了スルコト

(三) 出版

本書ハ編纂完了ノ順ニヨリ逐次紀元二千六百年奉祝會ニ於テ出

版スルコト

決定事項 (拔萃)

(一) 委員會ノ主要任務

(イ) 本事業ニ關スル重要事項ノ審議

(ロ) 各部門間ノ連絡

(ハ) 各部門編纂進行狀態ノ報告

(ニ) 各部門間資料ノ交換供給

(二) 職員ノ名稱

編纂委員、編纂囑託、編纂補助囑託

(三) 執筆上ノ注意

(イ) 内容ハ維新前ヲ主トシ、維新後ノ記述ハ現代トノ聯關ヲ明カニスル範圍ニ於テ全體ノ一割乃至ハ一章程度ヲ之ニ當テルコト(但一冊ノ大キサハ菊判五百頁トス)

(ロ) 各編毎ニ執筆者ノ氏名ヲ明ラカニスルコト



- (一) 資料出典ヲ明ラカニスルコト(註等ニ於テ)
- (二) 文體ハ口語體假名ハ平假名、數學史ヲ除イテハ縦書
- (四) 職員推薦上ノ注意  
氏名・現職名住所並ニ本院ニ於ケル委嘱職名ヲ文書ヲ以テ提出スルコト
- (五) 原稿用紙ハ本院ニ調製シアリ。必要ノ向ハ自由ニ申出ラルコト

(注意以上各事業報告ハ昭和十六年十二月現在)

### 第三十七 役員

昭和十四年三月十二日	院 長	理學博士	長岡半太郎
昭和十四年七月一日	幹 事	法學博士	加藤 正 治
昭和十一年五月十四日	第一部々長	法學博士	小野塚 喜平次
昭和十一年七月一日			
昭和十四年七月一日			
昭和十一年七月十二日			
昭和十四年七月一日			

昭和十五年一月十二日

第二部々長

理學博士 田中館愛橘

### 第三十八 會 員

#### 一 會 員

明治三十五年十二月十四日	第二部	醫學博士	小金井良精
明治三十九年九月十四日	第二部	理學博士	田中館愛橘
同	第二部	醫學博士	三浦謹之助
同	第二部	理學博士	長岡半太郎
同	第一部	法學博士 男爵	一木喜徳郎
同	第一部	醫學博士	佐藤 三 吉
明治四十二年六月二十二日	第二部	理學博士	平 山 信
同	第二部	理學博士	美濃部 達 吉
明治四十四年一月十一日	第一部	法學博士	高楠順次郎
明治四十五年二月二十七日	第一部	文學博士	高楠順次郎

大正二年五月二十九日	第一部	法學博士	山崎覺次郎
大正六年十二月二十六日	第一部	法學博士	小野塚喜平次
大正七年六月二十五日	第二部	理學博士	水野敏之丞
同	第一部	法學博士	織田萬
大正八年十二月五日	第一部	文學博士	松本文三郎
大正九年五月一日	第一部	法學博士	春木一郎
同	第一部	法學博士	立作太郎
大正十年一月二十四日	第一部	文學博士	松本亦太郎
大正十一年十二月二十六日	第二部	理學博士	本多光太郎
大正十二年五月三日	第二部	醫學博士	宮入慶之助
同	第一部	文學博士	姊崎正治
大正十四年四月八日	第一部	文學博士	市村瓊次郎
大正十四年六月二十七日	第一部	文學博士	德富猪一郎
同	第二部	工學博士	伊東忠太

同	第一部	文學博士	狩野直喜
同	第二部	農學博士	吉川祐輝
同	第二部	理學博士	丘淺次郎
同	第二部	理學博士	中村清二
同	第二部	理學博士	今村明恒
同	第二部	理學博士	木村榮
同	第一部	法學博士	山田三良
同	第一部	法學博士	加藤正治
同	第一部	法學博士	高野岩三郎
同	第二部	工學博士	俵國一
同	第一部	文學博士	吉田靜致
同	第一部	文學博士	瀧精一
同	第二部	農學博士	鈴木梅太郎
同	第一部	文學博士	桑木嚴翼



同	六月一日	第一部	法學博士	高岡熊雄
同	七月三十一日	第一部	文學博士	佐佐木信綱
同	昭和十年七月五日	第二部	理學博士	掛谷宗一
同	十月二十五日	第二部	農學博士	安藤廣太郎
同	昭和十一年一月三十一日	第一部	法學博士	河津暹
同	七月十日	第一部	文學博士	林毅
同	八月十四日	第一部	理學博士	羽田亨
同	十一月二十八日	第二部	法學博士	谷津直秀
同	昭和十二年三月二十三日	第一部	理學博士	牧野英一
同	同 十二年五月八日	第二部	文學博士	加藤武夫
同	五月二十九日	第一部	理學博士	西川正治
同	七月十日	第二部	法學博士	藤原積重
同	七月三十日	第二部	理學博士	藤原咲平

同	十二月一日	第二部	理學博士	片山正夫
同	十二月二十四日	第一部	文學博士	池內宏
同	昭和十三年三月一日	第二部	工學博士	澁澤元治
同	五月六日	第二部	工學博士	田中芳雄
同	十一月二十二日	第二部	農學博士	麻生慶次郎
同	昭和十四年一月三十日	第一部	文學博士	鈴木虎雄
同	同	第二部	醫學博士	佐々木隆興
同	同	第一部	法學博士	杉山直治郎
同	三月二十五日	第二部	醫學博士	林春雄
同	五月二十七日	第二部	理學博士	柴田桂太
同	昭和十四年七月一日	第一部	文學博士	市河三喜
同	七月二十八日	第二部	理學博士	藤井健次郎
同	十二月六日	第一部	法學博士	佐々木惣一
同	昭和十六年五月十日	第一部	法學博士	田中耕太郎